

成和西小学校他3校（成和西小学校・三訪小学校・成和東小学校・神戸小学校） 新給食センター—配送校給食室改修工事（令和1年夏工事）設計図

伊 賀 市

＜図面リスト＞											
NUMBER	DRAWING	SCALE	NUMBER	DRAWING	SCALE	NUMBER	DRAWING	SCALE	NUMBER	DRAWING	SCALE
SCALEはA2サイズ打ち出し時の縮尺 (A3サイズでの打ち出し時は71%縮小)											
＜建築主体＞											
＜共通＞			＜成和西小学校＞			＜三訪小学校＞					
A-01	改修特記仕様書(1)	NS	A-07	配置図	1/500	A-12	全体配置図	1/400	A-22	外構改修計画図	1/250
A-02	改修特記仕様書(2)	NS	A-08	改修前・改修後平面図	1/150	A-13	現況部分配置図	1/150	A-23	仮設計画図	1/250
A-03	改修特記仕様書(3)	NS	A-09	プラットフォーム計画図	1/50 1/30	A-14	改修前・改修後平面図	1/200			
A-04	改修特記仕様書(4)	NS	A-10	建具改修計画図	1/100 1/60	A-15	プラットフォーム計画図(1)	1/30			
A-05	改修特記仕様書(5)	NS	A-11	仮設計画図	1/150	A-16	プラットフォーム計画図(2)	1/30			
A-06	解体特記仕様書	NS				A-17	プラットフォーム計画図(3)	1/30			
						A-18	プラットフォームシェルター参考図	1/50 1/10			
						A-19	建具改修計画図	1/100 1/60			
						A-20	搬入用スロープ計画図	1/100 1/50			
						A-21	プレキャストL型擁壁構造図	1/100 1/20			
＜図面リスト＞											
NUMBER	DRAWING	SCALE	NUMBER	DRAWING	SCALE	NUMBER	DRAWING	SCALE	NUMBER	DRAWING	SCALE
SCALEはA2サイズ打ち出し時の縮尺 (A3サイズでの打ち出し時は71%縮小)											
＜建築主体＞			＜成和東小学校＞			＜神戸小学校＞					
			A-24	配置図	1/500	A-32	全体配置図	1/500			
			A-25	改修前・改修後平面図	1/200	A-33	現況部分配置図	1/100			
			A-26	プラットフォーム計画図(1)	1/50	A-34	改修前・改修後平面図	1/150			
			A-27	プラットフォーム計画図(2)	1/50	A-35	プラットフォーム計画図(1)	1/40			
			A-28	プラットフォーム計画図(3)	1/30	A-36	プラットフォーム計画図(2)	1/40			
			A-29	プラットフォームシェルター参考図	1/50 1/10	A-37	プラットフォーム計画図(3)	1/30			
			A-30	建具改修計画図	1/100 1/50	A-38	プラットフォームシェルター参考図	1/50 1/10			
			A-31	仮設計画図	1/150	A-39	建具改修計画図	1/100 1/50			
						A-40	仮設計画図	1/150			

改修工事特記仕様書		
1. 共通仕様	(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」「公共建築改修工事標準仕様書」(各平成28年版) (以下「標仕」という。)による。	
2. 特記仕様	(1) 項目は、○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の(別)は、(5.3.7)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。	
部分完成	・無 ○有 (各校厨房内部)	
部分引渡し	・無 ○有 (上記箇所について令和元年8月27日までは発注者の仮検査を受けること)	
1. 保険及び保証	・建築工事保険 (保険証の写しを提出) ・請負業者賠償責任保険 (保険証の写しを提出) (・管理財物担保特約に加入のこと) ・法定外労災保証制度 (加入証明書の写しを提出)	
2. 建設共済等	・建設業退職金共済制度 当初請負金額が500万円以上の場合、掛金収納書を提出すること。また、増額の契約変更があった場合についても、その分を提出すること。共済証紙購入額 契約金額の1.7/1000以上 なお、他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は、理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする ※資材の購入及び下請け業者の選定に際しての留意事項 資材の購入及び工事の一部を下請け業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、出来る限り市内業者を優先させること。	

章	項目	特記事項
1章 一般 共通 事項	①適用基準等	※建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版) ※工事写真の撮り方(平成24年版)建築編 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
	②工事実績情報の登録	※請負金額が500万以上は登録の手続きを行うこと。(1.1.4)
	③品質計画	※建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。(1.2.2) 風速 (Vo)=34 m毎秒 地表面粗度 ※Ⅲ (Zb=5 Zg=450 α=0.20) ・Ⅱ (Zb=5 Zg=350 α=0.15) 積雪区分 ・30 cm ○40 cm
	④電気保安技術者	・適用する ○適用しない (1.3.3) 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする 一般電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者とする
	⑤施工条件	・工事用車両の駐車場及び資機材置場 ※敷地内 ・敷地外 (1.3.5) ・施工に際しては、工程及び施工内容について施設管理者と綿密な調整を行った上で、施設の運営に支障をきたさないように協力すること。 ・工事期間中は、施設利用者の安全に努めること。 ・資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。 ・大型車両通行時には、誘導員等を配置し、安全確保に努めること。 ・振動、騒音、ほこりのでる作業やその他について、事前に施設管理者及び近隣と調整を行うこと ・サッシ改修およびそれに伴う厨房内部の工事期間は 7/19~8/27 とし、期間中に全て完了させること
	⑥発生材の処理等	・引渡しを要するもの () (1.3.11) ・特定建設資材の搬出 再資源化等を行う (再資源化が困難な場合には縮減) ・特定建設資材以外の搬出 構外搬出適切処理 ・特別管理産業廃棄物 (・無 ・有) 処理方法 () ※ 廃棄物管理票 (マニフェスト) 確認表を作成し、監督職員にA票及びE票の確認を受けるものとする。ただし、電子情報処理組織に登録 (電子マニフェスト) により確認を行う場合は、この限りではない。

⑦交通安全管理	交通誘導員 ※配置する 1名以上 (大型車両等の出入時) ・配置しない (1.3.8)
⑧建築材料等	※本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図面に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 ・品質及び性能を試験により証明する材料は以下の物とする。(1.4.5) () 本工事に使用する建築材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、パーティクルボード、MDF、その他木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗料は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンキシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 5) 1)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品
⑨化学物質を発生する建築材料等	標仕に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
⑩特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
⑪技能士	※適用する ・適用しない (1.5.2) ※鉄筋施工 ※型枠施工 ・鉄工 ・石材施工 ・ALCパネル施工 ※防水施工 ・タイル張り ・建築大工 ・建築板金 ・左官 ※塗装 ・建具製作 ※サッシ施工 ※内装仕上げ施工 ・造園
⑫施工の立ち会い等	下記事項は監督職員の立会検査を受けなければならない。(1.5.7) ・杭打作業中 ・鉄骨製品検査 ・鉄骨溶接、高力ボルト締め完了時 ○基礎及び各階コンクリート打設時 ○基礎及び各階配筋完了時 ・防水層の施工 ・組積の時 ○仕上検査 (監督職員の指示による) ○材料検査 (監督職員の指示による) ○完成確認 (中間完成を含む) ○製品検査 (監督職員の指示による) ○ベンチマーク ○竣工後の検査が困難な工事については随時監督職員の立会検査を受ける。
13 化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン (1.5.9)パラジクロロベンゼン、スチレンの濃度を測定し報告すること。 測定は、パンプ型採集機器により行う。 着工前測定 ・行う (改修部分のみ) ○行わない 測定対象室 ・図示 ・内部改修を行う室 測定箇所数 ・図示 ・箇所 採取方法 ・文部科学省の定めるところによる。 ・ 報告書の様式 濃度測定記録表の記載事項は、次のとおり 1. 工事名 2. 測定年月日 3. 天候 4. 測定前の換気及び閉鎖時間 5. 測定時間 6. 室名と測定時間 7. 測定器具 8. 化学物質採取方法 9. 分析装置

⑭完成図等	○作成する ・作成しない (1.7.1~3) (表1.7.1) 種類 ※標仕 表1.7.1による ・ ・配置図及び案内図 ・各階平面図 ・各立面図 ・断面図 ・仕上表 ・施工図 ・施工計画書 ・ ※CADデータの提出 ※提出する ・提出しない ・保全に関する資料 提出部数 ※2部 ・	
⑮記録	工事記録については下記による。(A4版) ※以下一式 (工事写真の撮り方 建築編 に準拠する) ※工事着工前 1部 ※工程写真 各工程毎 1部 ※竣工写真 ・手札版 ()部 ・カラーキャビネ版 ()部 ・専門家撮影、アルバム編集の上提出 ()部 ※工事の各記録写真については、デジタル画像にて整備編集を行うように努めること。 ・電子データとし、CD-Rにて提出 ()部 ・監督職員の指示による ※工事日報・納品伝票等の写しは、監督職員が提出を求めた場合は提出こと。	
⑯現況復旧	工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げとも在来にならい補修する。	
⑰設備工事との取合い	設備機器の位置、取り合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 施工範囲 ・図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の型枠及びそれらの補強 ・図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・	
⑱設計GL	※図示のベンチマーク (B. M) mm (現状地盤はB. M mm) ※工事着手前に監督職員の確認を必ず行うこと。	
⑲社内検査報告書	工事完成(部分完成を含む)時には、社内検査を実施し、その報告書を監督職員に提出する。	
⑳完成引渡し後の点検	・瑕疵期間は、別に定めた特約 (責任施工による保証期間など)を除き、伊賀市工事請負契約書に準拠する。 ・工事完成引渡し後、必要に応じて一年又は二年を越えない範囲の適当な時期に、双方立ち会いで工事目的物の瑕疵点検を実施する。	
㉑随時検査	発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受検すること。	
㉒施工体制台帳の提出	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めにより、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、警備業者についても記載すべき下請負人の範囲に含むものとする。	
土 工 事	①災害及び公害の防止	※「低騒音型・低振動型建設機械指定要領」に基づき指定された建設機械を使用する。(3.1.3)
	②根切り	工事に先立ち必要と思われる埋設物等の調査を行う。(3.2.1)
	③埋め戻し及び盛土	種別 (3.2.3) (表3.2.1.) ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 建設発生土受け入れ量 m³ 発生場所 ()
	④建設発生土の処理	※構外搬出適切処理 (3.2.5) ・構内指示の場所に敷き均し ・構内指示の場所にたい積 () ・構外指示の場所に処分 搬出調査等を提出する。 受入れ施設名・場所 () 仮置場所 () ※建設発生土 (50m³以上)を搬出する場合は、書面に処分地の報告 (位置図等)を行うこと。 また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。

特記事項	変更事項	日付	名称	図番	図名	図尺	図種
・	・	19.05.07	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事 (令和1年夏工事)		共通 改修特記仕様書 (1)		A-01
・	・						
・	・						
・	・						
・	・						

2章 仮設工事	①足場その他	内部足場 種別 ⊗脚立、足場板等 ・ 移動式足場 [2.2.1] 外部足場 種別 ⊗くさび緊結式（手すり先行工法） ・ [2.2.1] 防護シートによる養生 ・ 行わない ⊙行う 材料、撤去材等の運搬 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 [2.2.1][表2.2.1] 既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] 固定家具等の移動 ※行わない ・ 行う（図示）
	②養生その他	
	③仮設間仕切り	(a)設置箇所 ※図示 [2.3.2][表2.3.1] 種別 下地 仕上材（厚さmm） 充てん材 塗装 ・A種 ※軽量鉄骨 ・合板（※9.0 ） ※無し ・B種 ・木下地 ※せつこうボード（※9.5 ） 厚さ mm ・片面 ・C種 単管下地 防炎シート 仮設扉 ※木製扉 ・合板張り程度 ※無し ・鋼製扉 ・片面フラッシュ程度 ・有り
	④監督職員事務所	・設ける 規模等は以下による ・既存施設の一部を使用する ※設けない [2.4.1] （ ・規模 m ² 程度 ・仕上げ：床 、壁 、天井 程度）
	⑤工事用水	構内既存の施設 ※利用できる ⊙有償 ・無償） ・利用できない
	⑥工事用電力	構内既存の施設 ※利用できる ⊙有償 ・無償） ・利用できない
	⑦工事用便所	構内既存の施設 ・利用できる（ ・有償 ・無償） ※利用できない
3章 防水改修工事	1 既存下地の補修及び処置	※図示による [3.2.6] 既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 ・する ・しない
	2 アスファルト防水	[3.3.2~3][表3.1.1][表3.3.3~3.3.10] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 アスファルトの種類 ※3種 ・ 押え金物 ※アルミニウム製（L-30x15x2.0程度） 脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量（ ）箇所 改修用ドレン ※設ける（ 箇所）※鋼製 ・鉛製 ・設けない [3.2.5] 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材 材質 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキ層付き） ・A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b（スキあり） 厚さ（mm） ※35 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 材質 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号 厚さ（mm） ※35 乾式保護材 製造所の仕様による ・ 防水保護のれんがの種類 ※市販品のレンガ又は市販品のレンガ形コンクリートブロック 仕上塗装（P2A、M3D、POD、PODI、M3DI、M4DI、工法） ※種類および使用量は製造所の仕様による 施工標識 ※設ける ・設けない
	3 改質アスファルトシート防水	[表3.1.1][3.4.2~3][表3.4.1~3] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類（厚さmm） 仕上げ塗料等 仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・ 脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量（ ）箇所 露出防水絶縁断熱工法に用いる断熱材 ・製造所の指定する製品 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 施工標識 ※設ける ・設けない
	4 合成高分子系ルーフィングシート防水	[表3.1.1][3.5.2~3][表3.5.1~2] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類（厚さmm） 仕上げ塗料等 仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・ 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ・ [3.5.2] 脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量（ ）箇所 機械固定工法に用いる断熱材 ※次のいずれかによる ・ ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2種 ・押出法ポリスチレンフォーム断熱材の1種b、2種b又は3種b ・A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号 ・A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 接着工法に用いる断熱材 ※次のいずれかによる ・ 上記断熱材のほか ・ポリエチレンフォーム保温材 ・A種ポリエチレンフォーム保温材 改修用ドレン ※設ける（ 箇所） ・設けない ※製造所の指定する製品 ・鋼製 ・鉛製 施工標識 ※設ける ・設けない

5 塗膜防水	[表3.1.1][3.6.2~3][表3.6.1] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 仕上げ塗料等 仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・ 既存塗膜防水層表面の仕上塗料の除去（L4X工法） ・除去する [3.2.6] 脱気装置（S4S工法及びS3S工法） ・設けない ・設ける 施工標識 ※設ける ・設けない
	6 保証期間 防水の保証期間は原則、10年とする。ただし、既存の劣化等の状況により保証ができない場合は、保証できない理由を明確にし、監督職員と協議を行うこと。
	⑦シーリング ⊙シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 [3.1.4][表3.1.2] ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 [3.7.2][表3.7.1] ※下表以外は、改修標仕表 3.7.1を標準とする 施工箇所 シーリング材の種類（記号） 建具廻り MS-2 水廻り SR-1 シーリングの試験 ※行わない ・行う（※簡易接着性試験 ・引張接着性試験）
	⑧樋 材質 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ⊙硬質ポリ塩化カーボン管（VP） [3.8.2(a)] とい受け金物 ※SUS製 ・亜鉛メッキ製 ルーフトレン ※改修標仕表 3.8.2を標準とする ・図示による [3.8.2(b)][表3.8.2] [3.9.2] 表面処理 ・A-1種 ※B-1種
4章 外壁改修工事	1 施工数量調査 調査範囲 ・既存モルタル面 ・躯体コンクリート面 ・図示の範囲 [1.5.2] 調査内容 ひび割れ（0.2mm以上）の長さを表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタルの浮き部分を表示する。また、モルタルの欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。 調査報告書の部数 ※1部 [4.1.4~5]
	②改修工法の種類 外壁の種類 種類 改修工法 ・コンクリート ・ひび割れ部 ※樹脂注入工法・Uカットシール材充填工法・シール工法 打放し仕上げ ・欠損部 ※充填工法 ・モルタル塗り ・ひび割れ部 ※樹脂注入工法・Uカットシール材充填工法・シール工法 仕上げ ・欠損部 ・充填工法 ・モルタル塗替工法 ・浮き部 ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・目地 ・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮目地改修工法 ⊙塗り仕上げ ・薄付け仕上塗材塗り ⊙可とう形改修用仕上塗材塗り ・厚付け仕上塗材塗り ・各種塗料塗り ・複層仕上塗材塗り ・マチック塗材塗り
	3 ひび割れ部改修工法 ・樹脂注入工法（ ・モルタル面 ・躯体コンクリート面） [4.1.4][4.3.4] 注入工法の種類 ひび割れ幅（mm） 注入間隔（mm） 注入量（cc/m） 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0未満 ※200~300 ※ ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.3未満 ※50~100 ※40 0.3以上~0.5未満 ※100~200 ※70 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上~1.0未満 ※150~250 ※130 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形） 検査（コア抜き） ※行わない ・行う（抜き部の補修方法： ） ・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] シール材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂

4 欠損部改修工法	※充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] 充填材料 ・ポリマーセメントモルタル（ ・モルタル面 ・コンクリート面 ・C/B面） ・エポキシ樹脂モルタル（ ） ・モルタル塗替工法（改修標仕4.2.2(g)による）
	5 浮き部改修工法 [4.1.4][4.4.10~4.4.15][表4.4.3][表4.4.4] 改修工法の種類 アンカーピンの本数（本/m ² ） 注入口の箇所数（箇所/m ² ） 充てん量（モルタルを撤去しない場合） 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※16 ※25 ※25ml ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ・25ml ※50ml ・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml ※狭幅部におけるアンカーピン本数は、幅中央に5本/mとする アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径6mm
⑥既存塗膜等の除去及び地下処理	既存塗膜劣化部の除去及び地下処理の工法 [4.6.3][表4.6.1~4.6.5] 工法 処理範囲 下地面の補修 ・サンダー工法 ※既存仕上面全体 ・ ひび割れ部改修工法 ⊙高圧水洗工法 ※既存仕上面全体 ・ 浮き部改修工法 ・塗膜はく離工法 ※既存仕上面全体 ・ 欠損部改修工法 ・水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 地下調整材 [4.2.2][4.6.3] ※地下調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上げ塗材主材を使用
	⑦仕上げ塗り材仕上げ 種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4~5] 種類 呼び名 仕上げの形状 ・薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材E ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・防水形外装薄塗材E ・ゆず肌状 ・凹凸状 ・複層仕上塗材 ・複層塗材CE ・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状 ・可とう形複層塗材CE 上塗材 ・複層塗材E ・水系アクリル ・複層塗材RE ・水系アクリルシリコン ・防水形複層塗材CE 外観 ※つやあり ・つやなし ・防水形複層塗材E ・メタリック ・防水形複層塗材RS 防水形の増塗材 ・行う ⊙軒天用軽量骨材 仕上塗材 ⊙吹付用軽量塗材 ⊙砂壁用 ・平坦状
8 設計数量	外壁部位 種類 工法 数量 備考 ・コンクリート打放し面 ・ひび割れ ※Uカットシール材充填工法 m ・欠損部 ※エポキシ樹脂モルタル充填工法 箇所 ・モルタル塗り仕上げ面 ・ひび割れ ※Uカットシール材充填工法 m ・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 m ・欠損部 ※充填工法 m ・浮き部 ※アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 m ² ※上記数量については、現場調査を行い報告書を作成し、提出する。 尚、数量の10%を越える増減が生じた場合は協議の上、契約変更を行う事ができる。

特記事項	変更事項	日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事（令和1年夏工事）	図面番号	A-02
		検印		備考	共通	縮尺	検印
		担当		改修特記仕様書（2）			

19) せっこうボード
その他ボード張り

Table with columns: 種類, JISの記号, 厚さ (mm), 規格等. Lists various board types like 硬質木毛セメント板, 普通木毛セメント板, etc.

20) せっこうボードの
目地処理

目地処理の種類等 [6.13.3][表6.13.5]
目地処理工法 施工場所 (塗装下地) ※ベベル目地処理
・突付け工法 施工場所 (天井 (化粧石膏ボード))
・目透し工法 施工場所 (素地仕上 (石膏ボード)、天井 (ケイカル板))

21) 壁紙張り

Table with columns: 施工箇所, 壁紙の種類, 防火性能, 備考. Lists wall paper types and fire ratings.

22) 磁器器質タイル張り

Table with columns: 施工箇所, 形状寸法 (mm), 用途による区分, 耐凍害性, 色調, うわぐすり, 役物. Lists tile types and specifications.

23) セルフレベリング

セルフレベリング材の種類 ・せっこう系 ※セメント系 [6.17.1][表6.17.1]
※厚み (10 mm程度)

24) 断熱材

Table with columns: 種類, 施工箇所, 厚さ (mm), 品質等. Lists insulation materials like 押出法ポリスチレンフォーム, etc.

25) 可動間仕切

Table with columns: 構造形式, ハネ部の総厚さ (mm), 表面材種 厚さ (mm), 表面仕上げ. Lists movable partition types and materials.

26) フリーアクセス
フロア

Table with columns: 施工箇所, 仕上り高, 耐震性能, 耐荷重性能, 表面仕上げ材. Lists free access floor specifications.

27) 移動間仕切り

製造所 (標20.2.4)
パネル表面材 (・) 遮音性 (・)
パネル及び圧着装置の操作方法 (・)

28) トイレブース

パネル表面材 (・)
脚部 ・幅木タイプ ・脚金物タイプ (標20.2.5)

29) 階段滑り止め

材種 ・ステンレス製ビニルタイヤ入り (標20.2.6)
寸法 ・幅 35mm ・取付け工法 ・接着工法 ・埋込み工法

30) 黒板及び
ホワイトボード

黒板 (暗線入工場製作品) (標20.2.8)
種類 ・ホーロー黒板 ・焼付け鋼製黒板 ・ホーロー白板 (暗線入り)

31) ブラインド

Table with columns: 形式, 種類, スラットの材種・幅 (mm), 施工箇所. Lists blind types and materials.

32) カーテン

Table with columns: 施工箇所, 名称・品質, ひだの種類, 形式. Lists curtain types and specifications.

33) 点検口

天井点検口 ※アルミニウム製 (・額縁タイプ ・目地タイプ)
床点検口 ※アルミニウム製 ・受け枠 (・)

34) 流し台ユニット

Table with columns: 種類, 寸法, 適用内容, 規格・品質等. Lists sink unit specifications.

7章 塗装改修工事

1) 材料一般

・屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。()
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 [7.1.3]
※規制対象外 ・第三種

2) 下地調整

Table with columns: 下地面の種類, 下地調整の種類別, 備考. Lists underlayment adjustment types and materials.

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修
・行わない ・行う (補修範囲及び補修方法は図示) [表7.2.4~表7.2.6]

3) 錆止め塗料塗り

塗料種別 [表7.3.1]
屋外 (※A種 () ・B種) 屋内 (※A種 ・B種 ・C種)
鉄鋼面E-P-Gの場合 (・A種 ※B種)
塗り工法 [表7.3.3][表7.3.4]
鉄鋼面塗り替えの場合の種類 ・A種 ・B種 ※C種
亜鉛めっき面の塗りの種類 ・A種 ・B種 ※C種
亜鉛めっき面E-P-G塗り替えの場合の種類 ・A種 ・B種 ※C種
新規鉄鋼面、亜鉛めっき面の塗りの種類 ※標仕18.3.3による

4) 合成樹脂調合
ペイント塗り (SOP)

Table with columns: 下地の種類, 塗料種類, 塗り工法. Lists synthetic resin coating types and methods.

5) フタル酸樹脂
エナメル塗り (FE)

木部 種類 (・A種 ※B種 ・C種) [7.6.2][表7.6.1]
鉄鋼面、亜鉛めっき面 種類 (・A種 ※B種 ・C種) [7.6.3][表7.6.2]

6) アクリル樹脂系非水
分散形塗料 (NAD)

塗替えの場合の下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 [7.2.5][7.2.6]
塗り工法の種類 ・A種 ※B種 [7.7.2][表7.7.1]

7) 耐候性塗料塗り (DP)

塗替えの場合の下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 [7.2.2][表7.2.1] ~ [7.2.7][表7.2.7]
○鉄鋼面 工法は、表7.8.1 種別は新規はA種、塗替はB種 (7.8.2)(表7.8.1)
・亜鉛めっき面 工法は、表7.8.2 種別は新規はA種、塗替はB種 (7.8.3)(表7.8.2)
上塗種別
・ JISK5659 (1級) ふっ素系樹脂塗料
・ JISK5659 (2級) シリコン系樹脂塗料
○ JISK5659 (3級) ポリウレタン系樹脂塗料
○コンクリート面、押出成型セメント板面
工法は、表7.8.3 種別は(・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2 ○C-1種 ・C-2種) (7.8.4)(表7.8.3)
上塗種別
・ JISK5658 主要原料 ふっ素樹脂(1級)
・ JISK5658 主要原料 シリコン樹脂(2級)
○ JISK5658 主要原料 ポリウレタン樹脂(3級)

8) つや有合成樹脂
エマルジョン
ペイント塗り (EP-G)

Table with columns: 下地の種類, 塗り工法. Lists glossy synthetic resin emulsion coating types and methods.

9) 合成樹脂エマルジョン
ペイント塗り (EP)

塗り工法の種類 ・A種 ・B種 ・C種 [7.10.2][表7.10.1]

10) 合成樹脂エマルジョン模様
塗料塗り (EP-T)

Table with columns: 既存塗膜, 下地調整, 種別. Lists synthetic resin emulsion pattern coating types and methods.

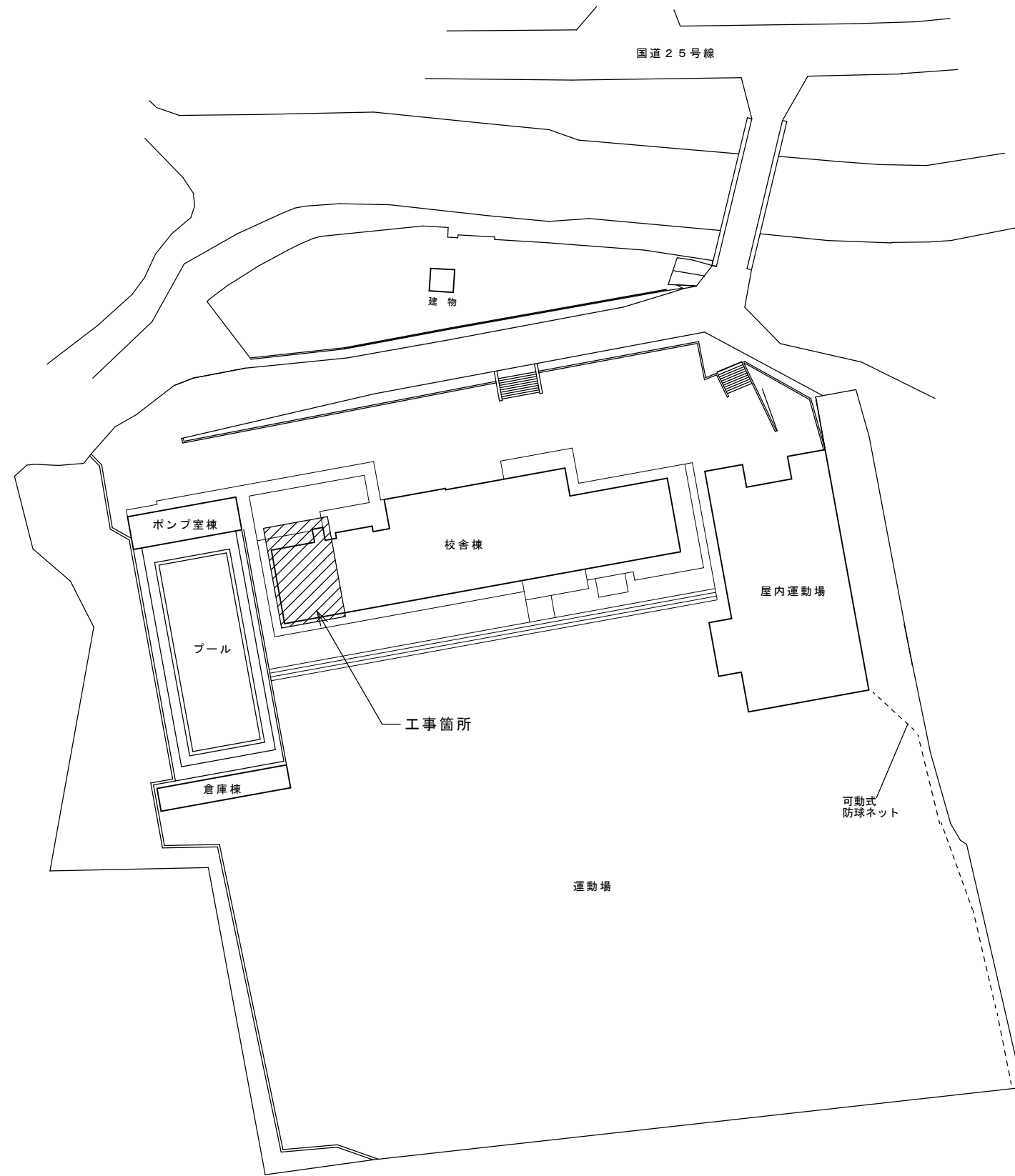
11) ウレタン樹脂
ワニス塗り (UC)

塗り工法の種類 ・A種 ・B種 [7.12.2][表7.12.1]
塗料の種類 ・1液形 ・2液形

12) 木材保護塗料塗り
(WP)

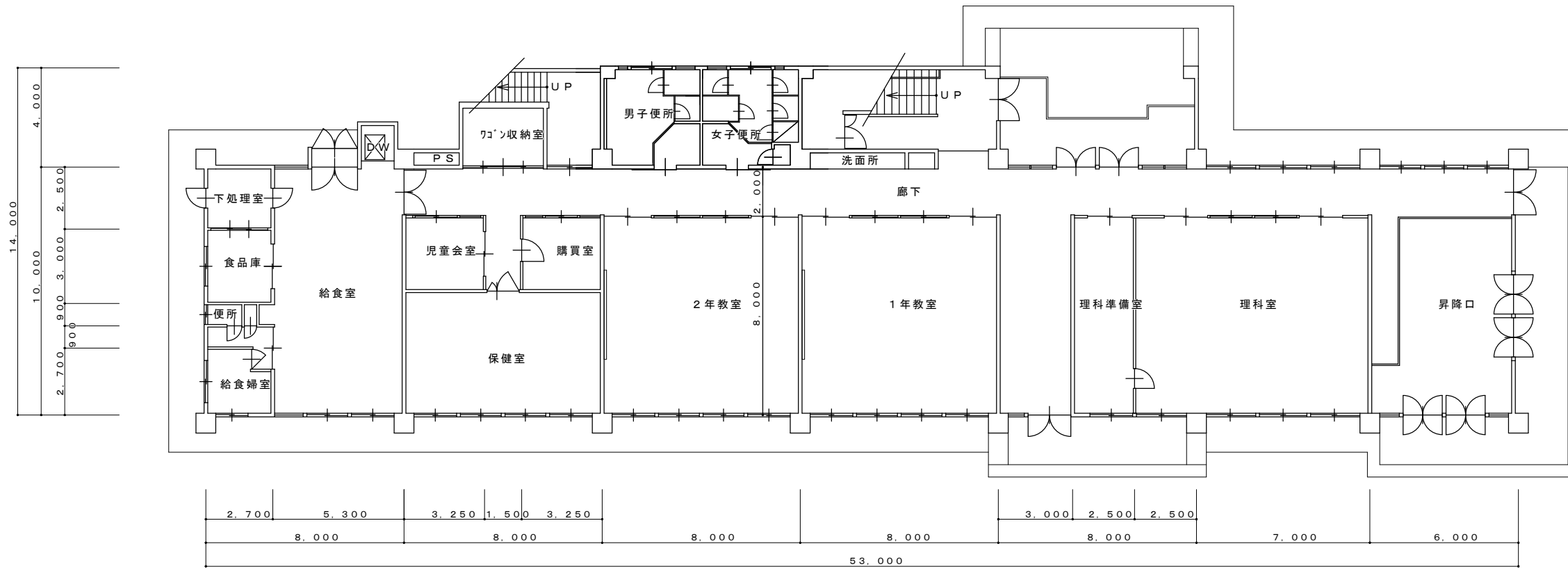
工法 ・A種 ・B種 [7.15.2][表7.15.1]

9章 環境配慮 改修工事	① 一般事項	労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針 ・アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。		除去工法 吹付主剤、下地調整材(吹付仕上)の除去 ・集じん装置付高圧水洗工法 ・集じん装置付超高圧水洗工法 ・超音波ケレン工法 ・剥離材併用高圧水洗工法 ・剥離材併用超高圧水洗工法 ・剥離材併用手工具ケレン工法 ・剥離材併用超音波ケレン工法 ・集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法 上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。 下地調整材(ローラー仕上)の除去工法についてはレベル3(アスベスト含有成形板)の除去工法と同等とする。	⑥ 路盤の構成及び仕上がり ⑦ アスファルト舗装	・標仕22.3.2(G)は適用しない (22.3.2)(表22.3.2) 構成及び厚さ ①車道部の基層なし 基層 ー 表層 50mm (22.4.2) ・車道部の基層有り 基層 50mm 表層 30mm ・歩道部 基層 ー 表層 30mm 配合その他 (22.4.4) 加熱アスファルト混合物等の種類 (表22.4.6) 基層 ・粗粒度アスファルト混合物(20) 表層 ※粗粒度アスファルト混合物(13)又は密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13)又は細粒度ギャップアスファルト混合物(13F) 試験練り ・行う ※行わない シールコート ・行う ※行わない (22.4.5) 切り取り試験 ・行う ※行わない (22.4.6) 平坦性 ※通行に支障となる水たまりを生じない程度 アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ○行わない	
	2 アスベスト含有建材の処理工事	アスベスト含有吹付け材の封じ込み処理 ・行う ・行わない [9.1.1] アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理 ・行う ・行わない アスベスト含有建材除去後の仕上げ ・行う ・行わない 施工箇所及び工法 ※図示		除去工法の試験施工 ※行う ・行わない 作業場の隔離及び養生 ※「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による ・隔離養生不要 ・その他 ()	⑧ コンクリート舗装	構成及び厚さ ※表22.5.1による ・図示による (22.5.2)(表22.5.1) コンクリート ※表22.5.2による ・図示による (22.5.3)(表22.5.2) 注入目地材 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (表22.5.3) 厚さの試験 ・行う ※行わない (22.5.6) 平坦性 ※通行に支障となる水たまりを生じない程度	
	3 アスベストの含有調査	分析による確認 ・行う(下表による) ・行わない 材料名 調査方法 1材料あたりの試料数 ※定性分析(3・) ※定量分析(※3・) ※定性分析(3・) ※定量分析(※3・) ※定性分析(3・) ※定量分析(※3・) ※定性分析(3・) ※定量分析(※3・)		官公署等への届出 労働安全衛生法に基づく届出 ・行う ・行わない 石綿障害予防規則に基づく届出 ・行う ・行わない 大気汚染防止法に基づく届出 ・行う ・行わない 外壁補修作業の内、Uカット工法以外は労働安全衛生法及び石綿障害予防規則に基づく届出は不要とする。 アスベスト粉じん濃度測定 ※行う(試験施工時) ・行わない [9.1.3] 表9.1.1 アスベスト粉じん濃度測定	9 カラー舗装	構成及び厚さ ※表22.6.1による ・ (22.6.2)(表22.6.1) 舗装の種類 ・加熱系(・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物) ・常温系(・ニート工法 ・塗布工法) 車道部の基層 ・有り ※無し	
	4 アスベスト含有吹付け材の除去	アスベスト含有吹付け材の有無 ・有 ・無 [9.1.3] 除去吹付け材()含有場所() 吹付けアスベストの施工数量調査 ※行う アスベスト粉じん濃度測定 ※行う 表9.1.1 アスベスト粉じん濃度測定		表9.1.1 アスベスト粉じん濃度測定	10 透水性アスファルト舗装	厚さ ※歩道部30mm ・ (22.7.2) 平坦性 ※著しい不陸がないもの アスファルト ・歩道部 ※ストレートアスファルト (22.7.3)(表22.7.1) 試験練り ・行う ※行わない (22.7.4) 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない (22.7.6)	
		測定時期 測定名称 測定場所 測定点(各施工箇所ごと) 備考 処理作業前 測定1 処理作業室内 各2点又は3点 (注)1 測定2 施行区画周辺又は、敷地境界 計2点 大気 処理作業中 測定3 処理作業室内 各2点又は3点 (注)1 測定4 セキュリティーゾーン入口 1点 空気の流れを確認 測定5 負圧・除じん装置の排出吹出し口(処理作業室外の場合) 1点 (注)2 測定6 施行区画周辺又は、敷地境界 4方向各1点 - 処理作業後(隔離シート撤去前) 測定7 処理作業室内 各2点又は3点 (注)1 測定8 施行区画周辺又は、敷地境界 4方向各1点 大気		試験施工時 測定1 ※施行区画周辺又は、敷地境界 ・図示による 2方向各1点	11 ブロック系舗装	目地材 ※砂 ・モルタル (22.8.2) 舗石の基層 ※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装 平坦性 ※歩行に支障となる段差がない(3mm以下) 舗石の種類 ・形状 ・寸法 コンクリート平板の種類及び寸法 ・N300 (22.8.3) インターロッキングブロック 材質 形状 普通 t=60 クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 表面加工 種類 寸法	
		(注)1. 各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは2点、300㎡以下までは3点とする。 300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。 (注)2. 集じん・排気装置の性能確認 表9.1.2 アスベスト粉じん濃度測定方法		(注)1. 試験施工時に濃度測定を行い、結果を監督職員へ提出すること。 なお、アスベストの飛散が確認された場合は、除去工法及び養生方法を再検討し、監督職員と協議すること。 なお、工法の再選定する場合は、協議の上契約変更を行うことができる。	12 砂利敷き	材料 ・A種(通路) ・B種(建物周囲その他) (22.9.2)	
		測定3 測定1,2,4,6,7,8 測定5 計数機器 位相差顕微鏡 メンブレンフィルタの直径 25mm 47mm 試料の吸引流量 1l/min 5l/min 10l/min 試料の吸引時間 5min 120min 210min 試料の透明化 アセトン・トリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法 計数条件 総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野 計数アスベスト 直径3μm未満、長さ5μm以上、長さど直径比3:1以上 定量限界 50 f/l 0.5 f/l 0.3 f/l		アスベスト含有保温材の有無 ・有 ・無 [9.1.4] 除去保温材()含有場所() 作業場の隔離 ・行う ・行わない ・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する ・中間処理の場合は、都道府県知事等から処分許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う			
		表9.1.2 アスベスト粉じん濃度測定方法		アスベスト含有成形板の有無 ・有 ・無 [9.1.5] 除去成形板() 含有場所() 作業場の隔離 ・行う ・行わない 処分方法 ・埋立処分 ・アスベストの中間処理に適する溶融施設 ・認定を受けた無害化処理施設			
		作業場の隔離 ※行う ・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する ・中間処理の場合は、都道府県知事等から処分許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う ・粉じん飛散抑制剤については「建設技術審査証明書」の取得に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。		※本工事に配置管理させる者(有資格者) ※特定化学物質等作業主任者(H18.3.31以前の講習修了者) 又は石綿作業主任者(H18.4.1以降の講習修了者)			
	5 アスベスト含有仕上塗材の除去	アスベスト含有仕上塗材の除去(除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等)については、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。 アスベスト含有箇所 ・吹付主剤 ・下地調整材(吹付仕上) ・下地調整材(ローラー仕上) アスベスト含有仕上塗材の有無 ・有 ・無 除去仕上塗材()含有場所() 吹付主剤、下地調整材(吹付仕上)の除去及び養生はアスベスト含有吹付け材、下地調整材(ローラー仕上)はアスベスト含有成形板として扱う。 撤去の範囲 ・全面撤去 ・塗膜の劣化部及び外壁補修等作業箇所のみ撤去 ・図示による 外壁補修等作業はUカット工法、アンカーピニング工法、樹脂注入工法、モルタル充填工法 足場アンカー設置、コア抜き等軽微な作業を示す。	6 アスベスト含有保温材等の除去	アスベスト含有成形板の有無 ・有 ・無 [9.1.5] 除去成形板() 含有場所() 作業場の隔離 ・行う ・行わない 処分方法 ・埋立処分 ・アスベストの中間処理に適する溶融施設 ・認定を受けた無害化処理施設			
			7 アスベスト含有成形板の除去	アスベスト含有成形板の有無 ・有 ・無 [9.1.5] 除去成形板() 含有場所() 作業場の隔離 ・行う ・行わない 処分方法 ・埋立処分 ・アスベストの中間処理に適する溶融施設 ・認定を受けた無害化処理施設			
			8 特記事項	※本工事に配置管理させる者(有資格者) ※特定化学物質等作業主任者(H18.3.31以前の講習修了者) 又は石綿作業主任者(H18.4.1以降の講習修了者)			
			舗装工事	① 路床 ・遮断層 厚さ(mm) ・ 材料 ※川砂、海砂、良質な山砂 ・ (22.2.2) ・路床安定処理 厚さ(mm) ・ 添加材料の種類 ○盛土材料 種別 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)(表3.2.1) ・フィルター層 厚み ・車道150mm歩道50mm ・ (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.1) ・ジオテキスタイル 品質 (22.2.3) 2 路床土の支持力比試験 ・行う(・乱した土 ・乱さない土) ・行わない (22.2.5) 3 路床締固め度の試験 ○行わない ・行う (22.2.5) 4 砂の粒度試験 ○行わない ・行う ⑤ 路盤材料 路盤の厚さ 車道部(※150 ・)mm 歩道部(※100 ・)mm (22.3.2) 種別及び呼び名 ※クラッシュランC-40又はクラッシュランスラグCS-40 再生クラッシュランRC-40 締固め度の検査 ※行う (箇所) ○行わない			
特記事項	変更事項				日付 19.05.07 検査 担当	名称 成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和1年夏工事) 図名 共通 改修特記仕様書(5)	図面番号 A-05 検印

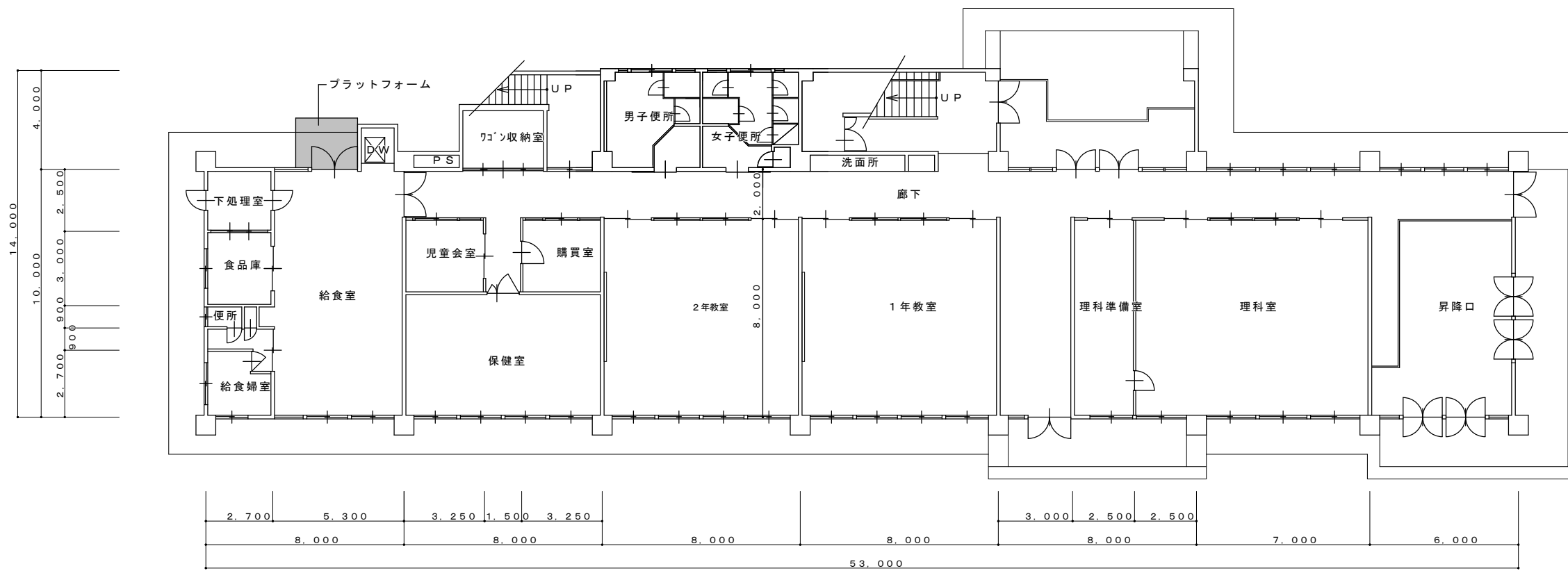


配置図 S=1/500

特記事項	変更事項		日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和1年夏工事)	図面番号	A-07
	日付		縮尺		原尺	成和西小学校 配置図	縮尺	A3版縮小 A2版1/500



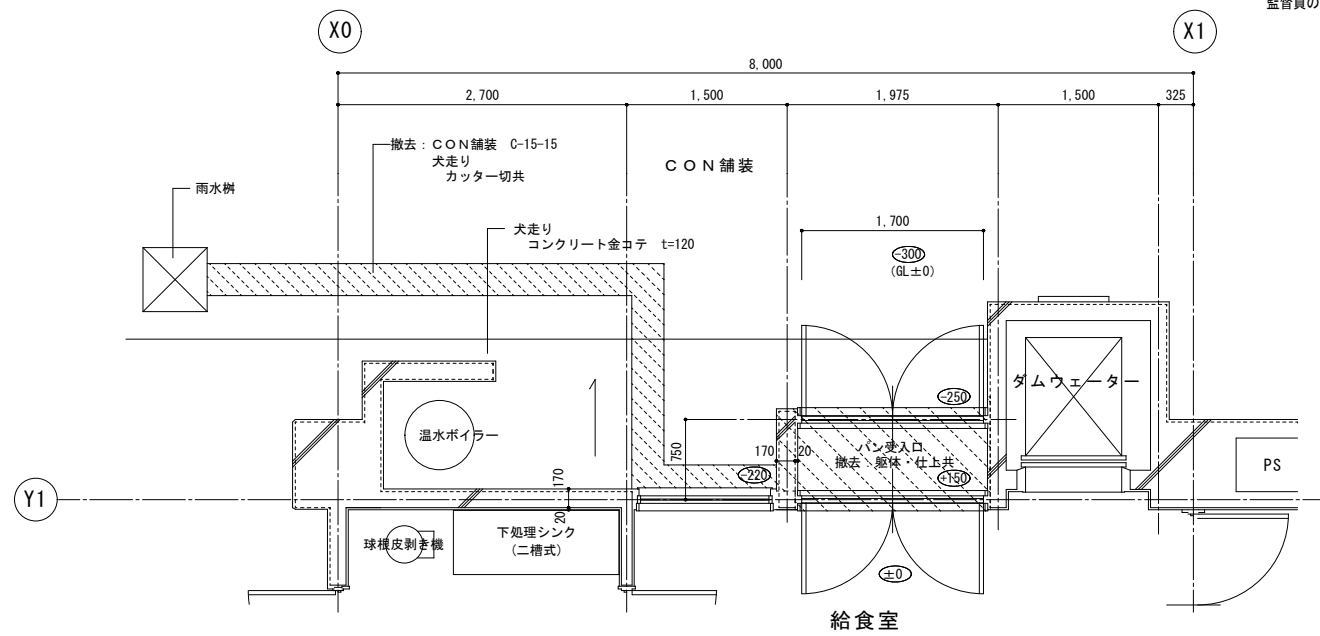
改修前 1階平面図 S=1/150



改修後 1階平面図 S=1/150

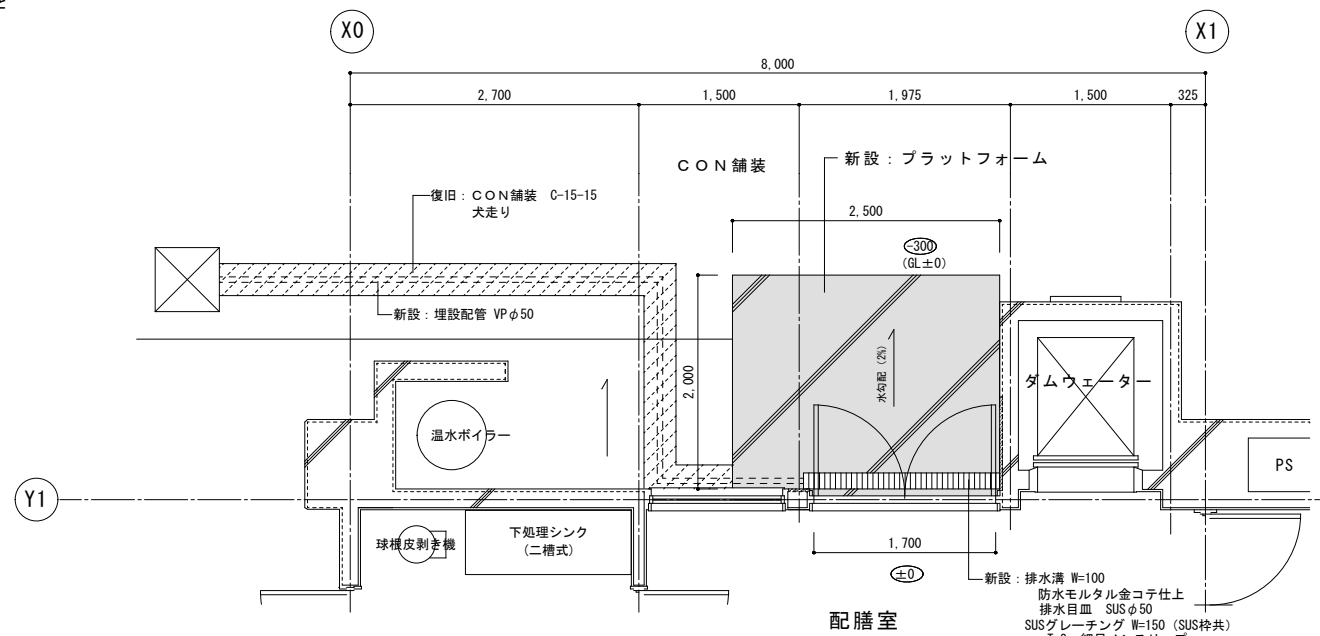
特記事項	変更事項	日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和1年夏工事)	図面番号	A-08
		棟名		図名	成和西小学校 改修前・改修後平面図	縮尺	A3版縮小 A2版1/150
		担当者					捺印
		日付					

工事着手前に、既設物の高さ関係を確認の上、仮ベンチマークを作成し、監督員の承認を得ること
 ※次回工事（令和2年春）の床仕上げ高さがFL±0となるので、監督員の現場立会いにて決定すること
 プラットフォームの位置、寸法、角度についても、現況確認の上、施工図を作成し、監督員の現場立会いにて承認を得ること



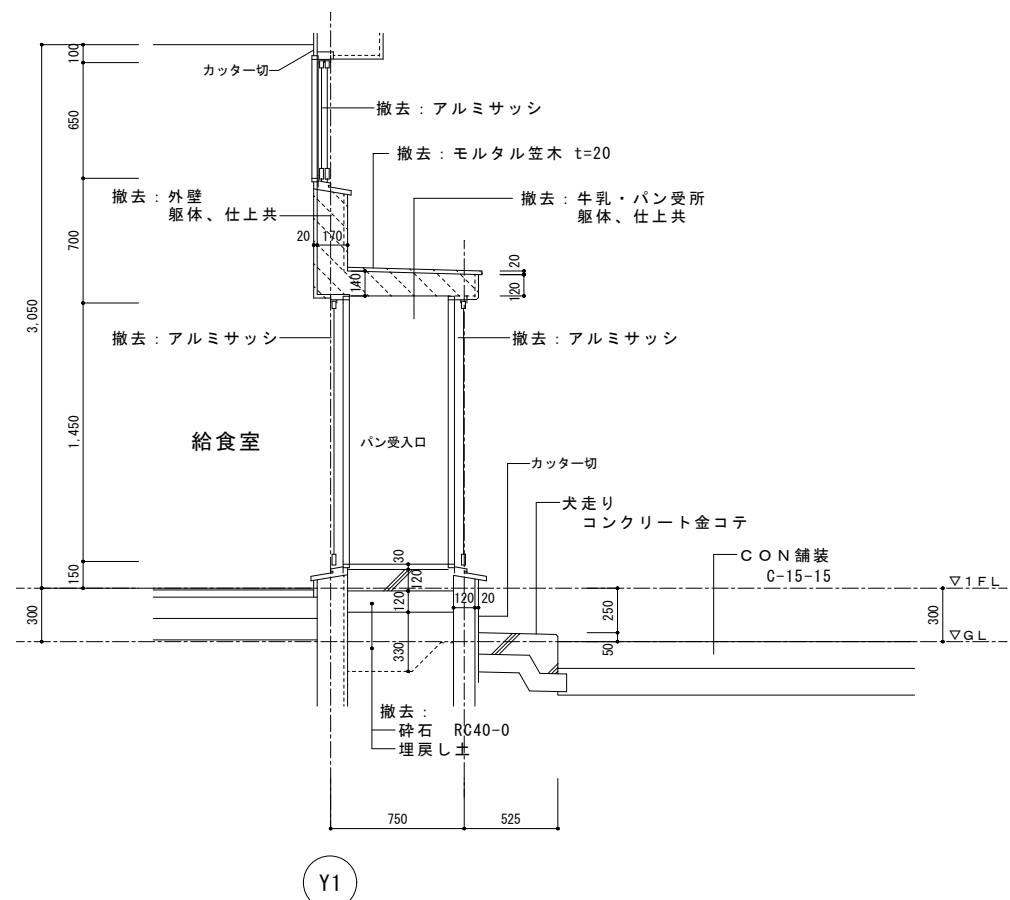
給食室 改修部 改修前仕上表		CH = 3.030
内部壁	RP塗	H = 100
外周壁 (開口改修部)	モルタル金コテ押え t=20	
内部巾木	25角モザイクタイル貼り	
外部壁	吹付タイル	
外部巾木	モルタル金コテ押え t=20	

改修前 1階平面図 S = 1/50



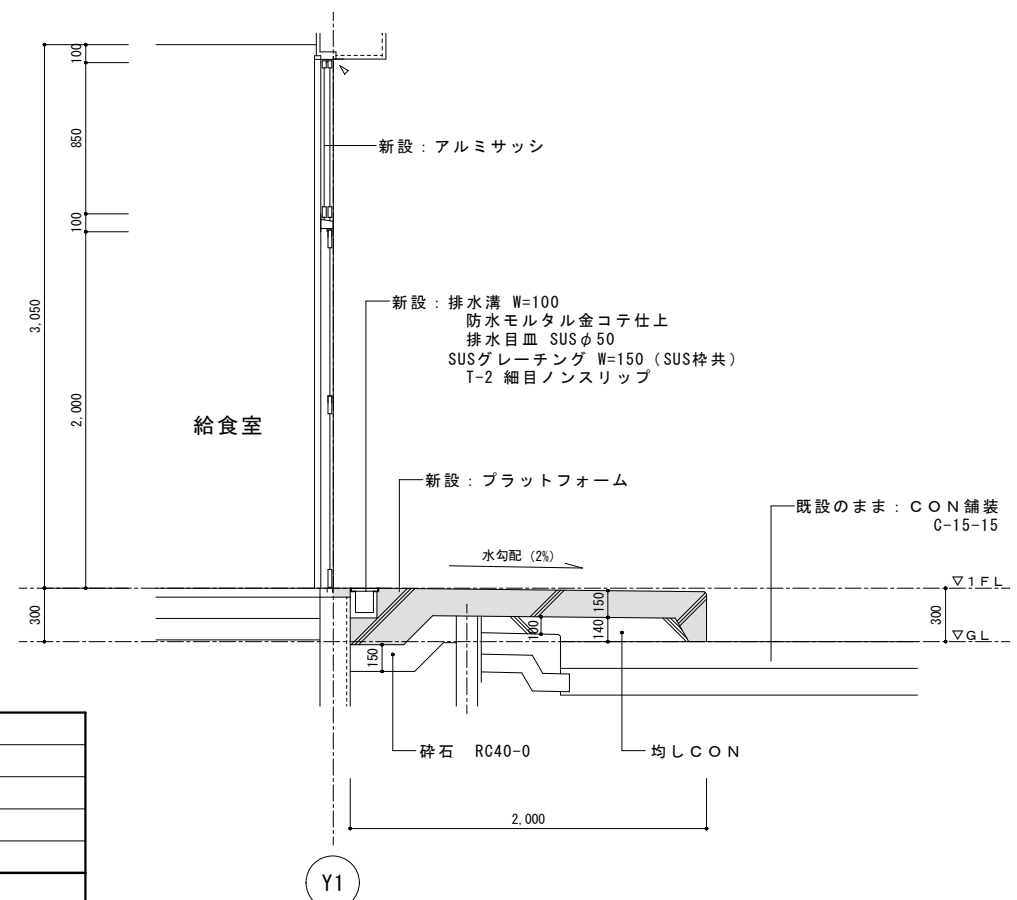
給食室 改修部 改修後仕上表		CH = 3.030
内部壁	EP-G塗	H = 100
外周壁 (開口改修部)	モルタル金コテ押え t=20	
内部巾木	EP-G塗	
外部壁	防水型複層塗材E (ゆず肌状 ローラー塗り)	
外部巾木	モルタル金コテ押え t=20	

改修後 1階平面図 S = 1/50

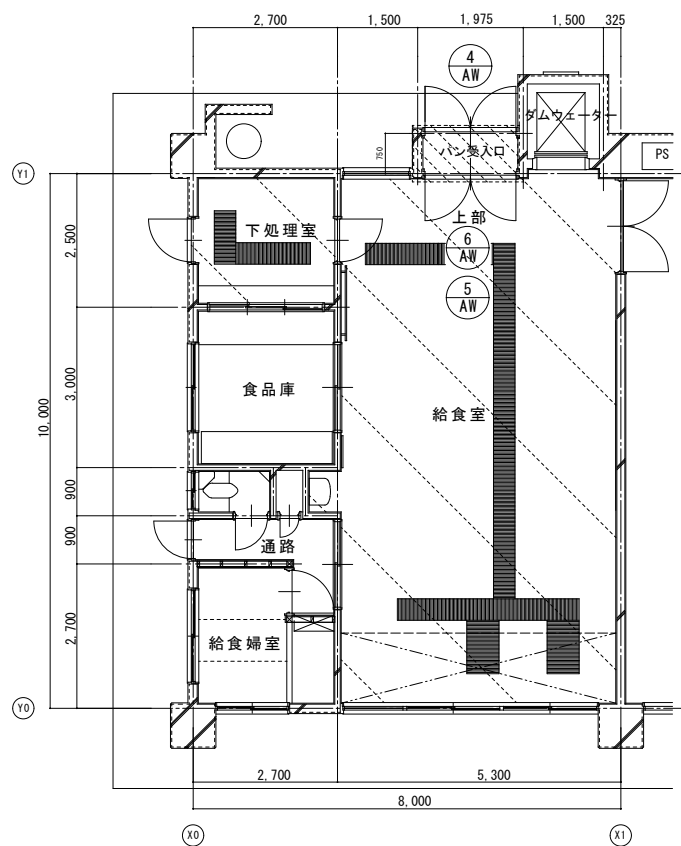


改修前 断面図 S = 1/30

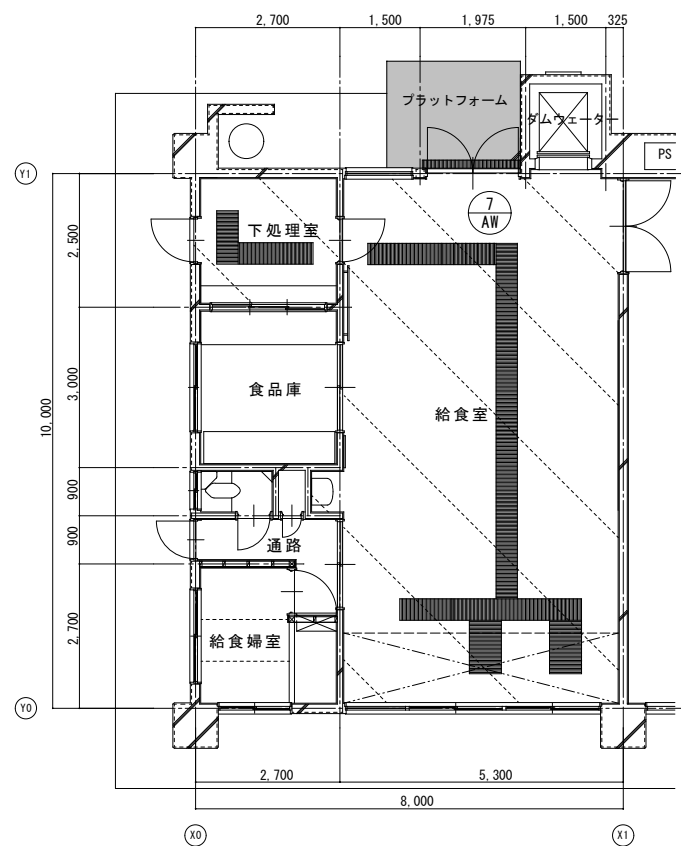
凡例	
	撤去範囲を示す
	復旧範囲 (既設同仕上) を示す
	新設プラットフォームを示す
	シーリング MS-2 15mm巾 を示す
各種仕様	
プラットフォーム	コンクリート: Fc27-15 (N) 金コテ押え 配筋: D13 @150 タテヨコ (シングル) 壁取り合い部 差し筋アンカー-D13@150
均しCON	コンクリート: Fc18-15 (N)
パン受入口仕上	床: モルタル金コテ t=20 壁: モルタル金コテ t=20



改修後 断面図 S = 1/30



改修前
建具指示図図 S=1:100

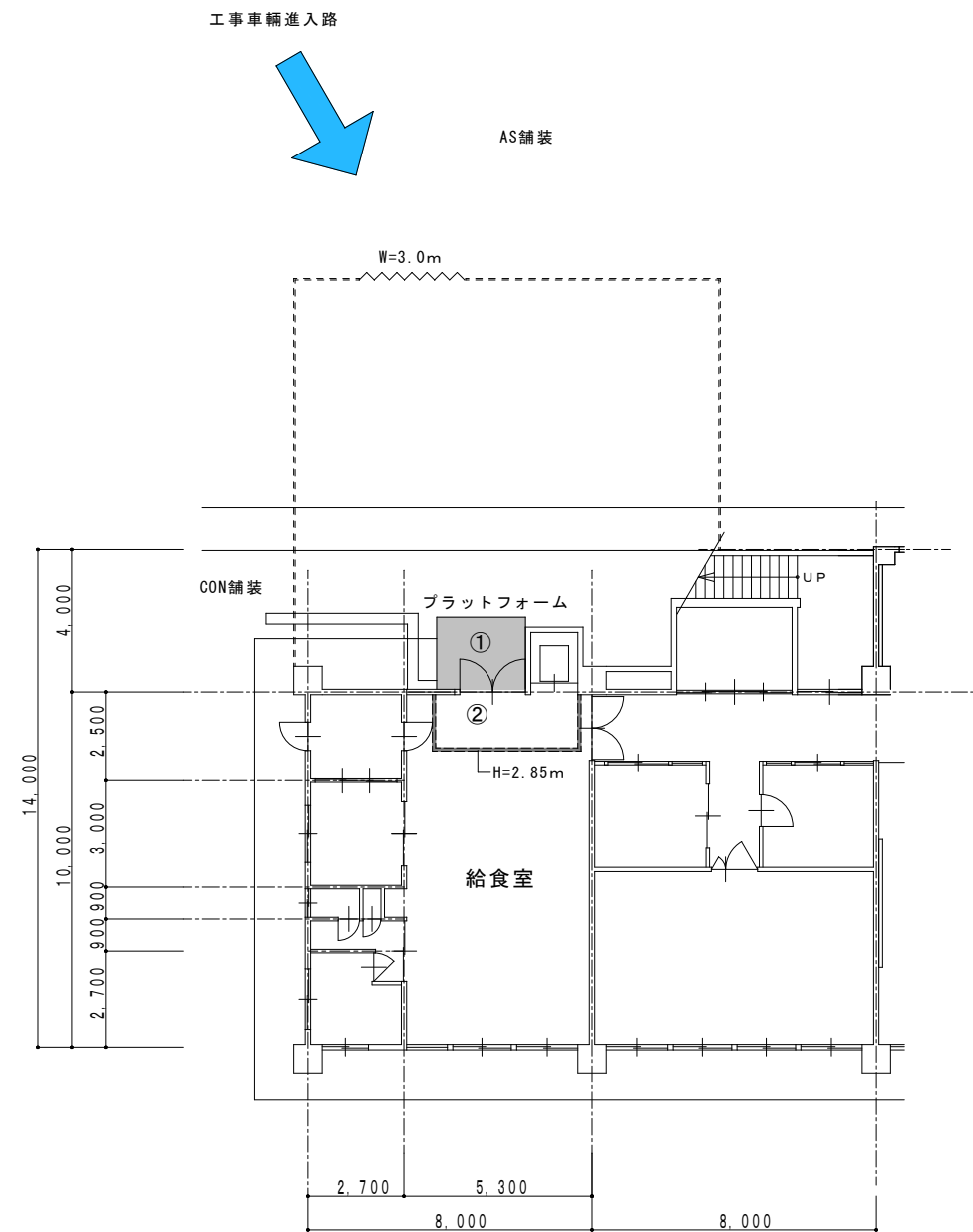


改修後
建具指示図図 S=1:100

記号	数量	場所	4 AW	1	パン受入口(外部側)	5 AW	1	パン受入口(内部側)	6 AW	1	パン受入口(内部側)	7 AW	1	配膳室
姿図 (内観図) 見込			〈撤去〉			〈撤去〉			〈撤去〉			〈新設〉		
	型式		両開きフラッシュ戸			両開き扉戸			2連引違い・FIX窓			ランマ付両開き扉戸		
	材質		アルミ材			アルミ押出型材			アルミ押出型材			アルミ押出型材		
	ガラス		アルミパネル t=3						透明ガラス t=3 アルミパネル t=3			欄間: 学校用強化ガラス(透明) t=4 扉: アルミパネル t=3		
	金物		覆り玉・アルミ水切・取付金物一式			覆り玉・アルミガラリ・アルミ懸縁・アルミ水切・取付金物一式			アルミパネル・アルミ水切・アルミ懸縁(内部)・取付金物一式			アルミ懸縁(内部)・SUS丁番・SUS留置・ドアローザー(2ヶ所) レバーハンドル・シリンドラ錠・自動フラッシュボルト・扉下部モヘア・SUS網戸(欄間)・取付金物一式		
備考		建具廻りシーリング			撤去 70	撤去 70		撤去 70			撤去 70			

特記事項	変更事項	

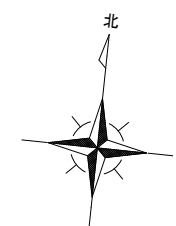
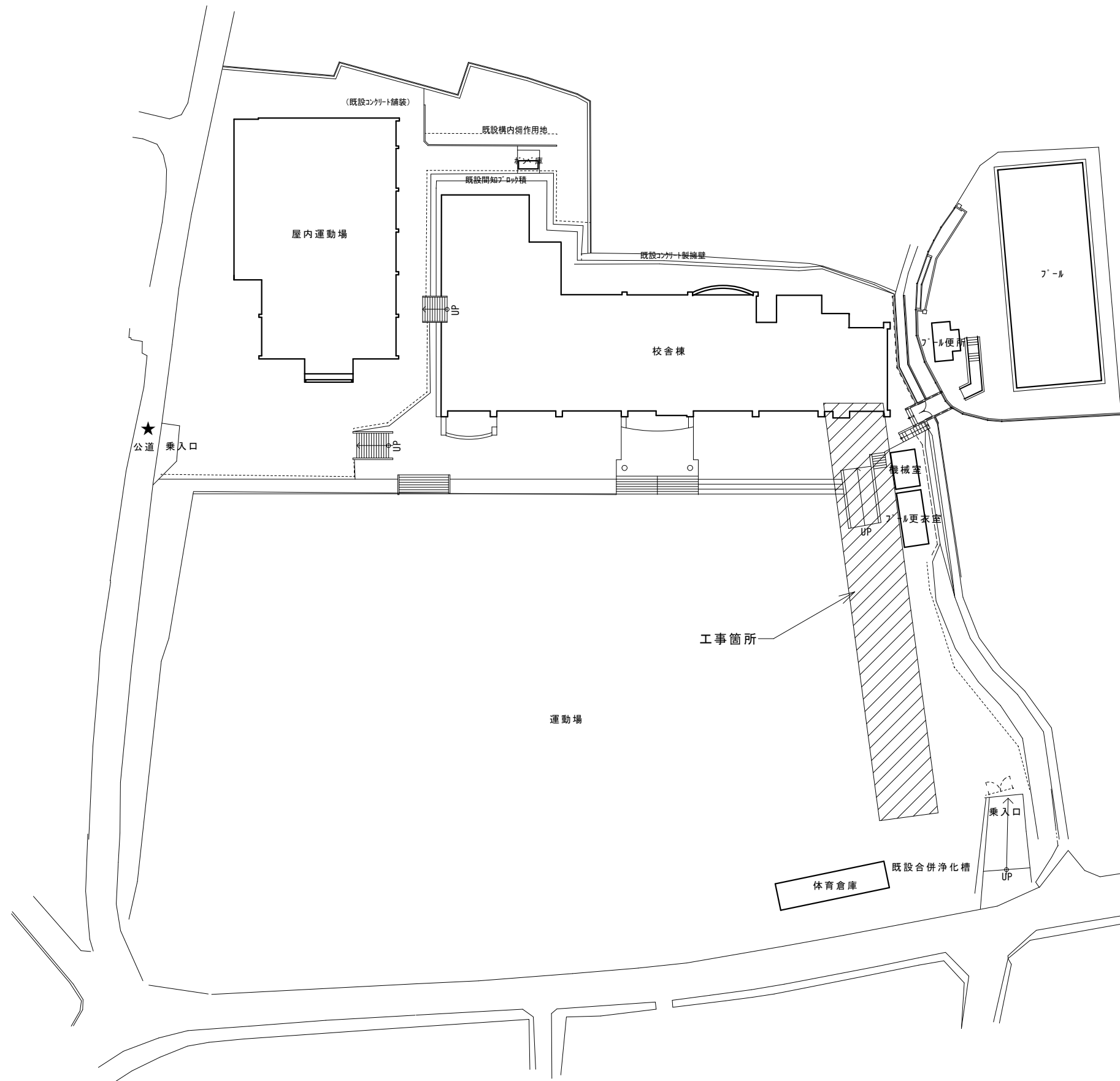
日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和1年夏工事)	図面番号	A-10
検印		図名	成和西小学校 建具改修計画図	縮尺	A3版縮小 A2版 1/100, 1/60
担当				検印	



工事内容 凡例	
①	プラットフォーム床新設
②	搬入口建具他撤去・新設
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	

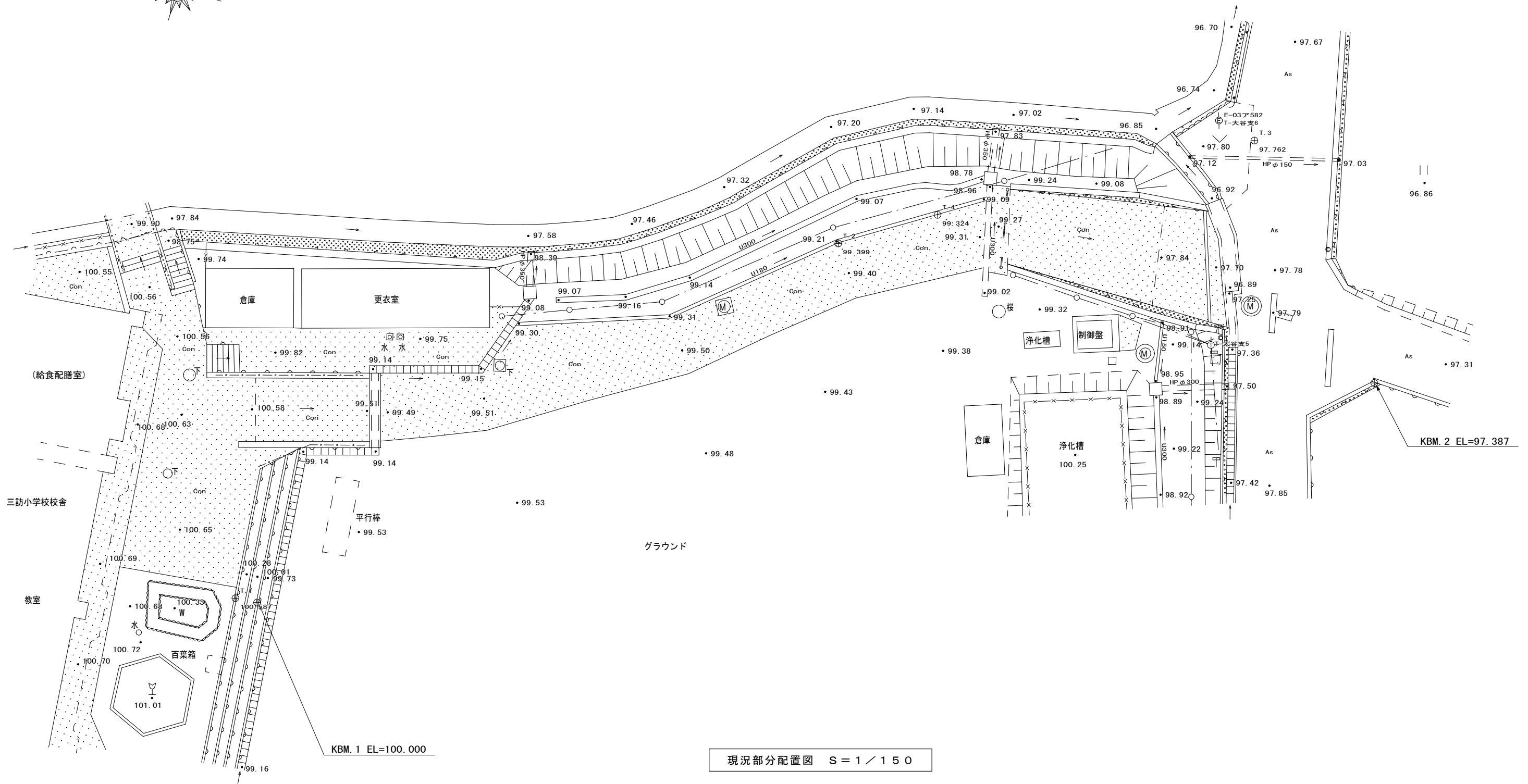
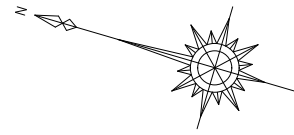
凡例		
-----	仮囲い シート張り H=2.0mを示す	30.8m
~~~~~	キャストゲート W=3.0m H=2.0m を表す	1ヶ所
=====	仮設間仕切 PB12.5 (片面) LGS65下地 を表す	

仮設計画図 (2020年春休み) S = 1 / 150



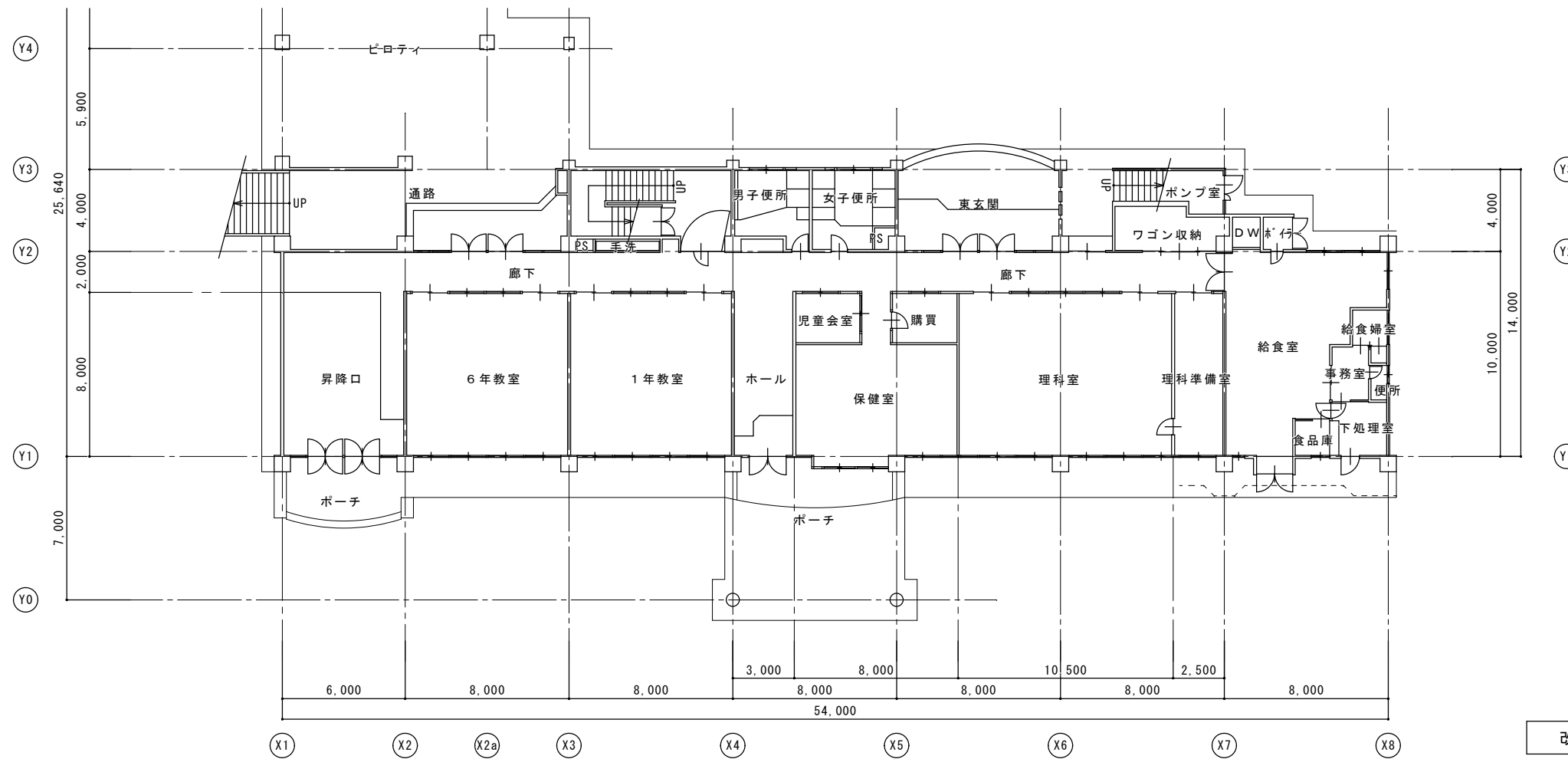
全体配置図 S=1/400

特記事項	変更事項		日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和1年夏工事)	図面番号	A-12
	日付		縮尺		原案	三訪小学校 全体配置図	縮尺	A3版縮小 A2版1/400

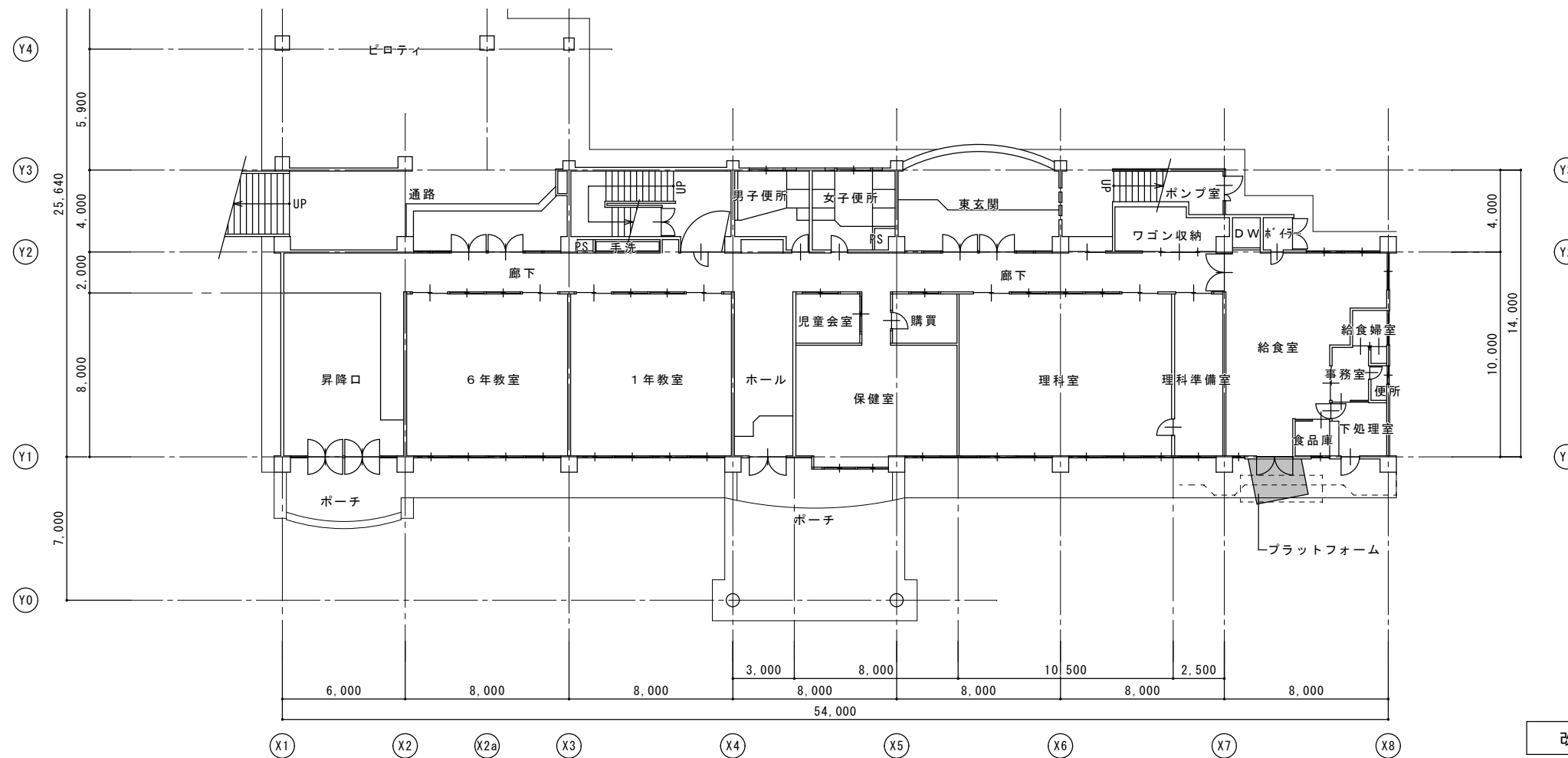


現況部分配置図 S = 1 / 150

特記事項 . . . .	変更事項		日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和1年夏工事)	図面番号	A-13
			検図		図名	三訪小学校 現況部分配置図	縮尺	A3版 NONE A2版 1/150
			報告					検印
	日付							



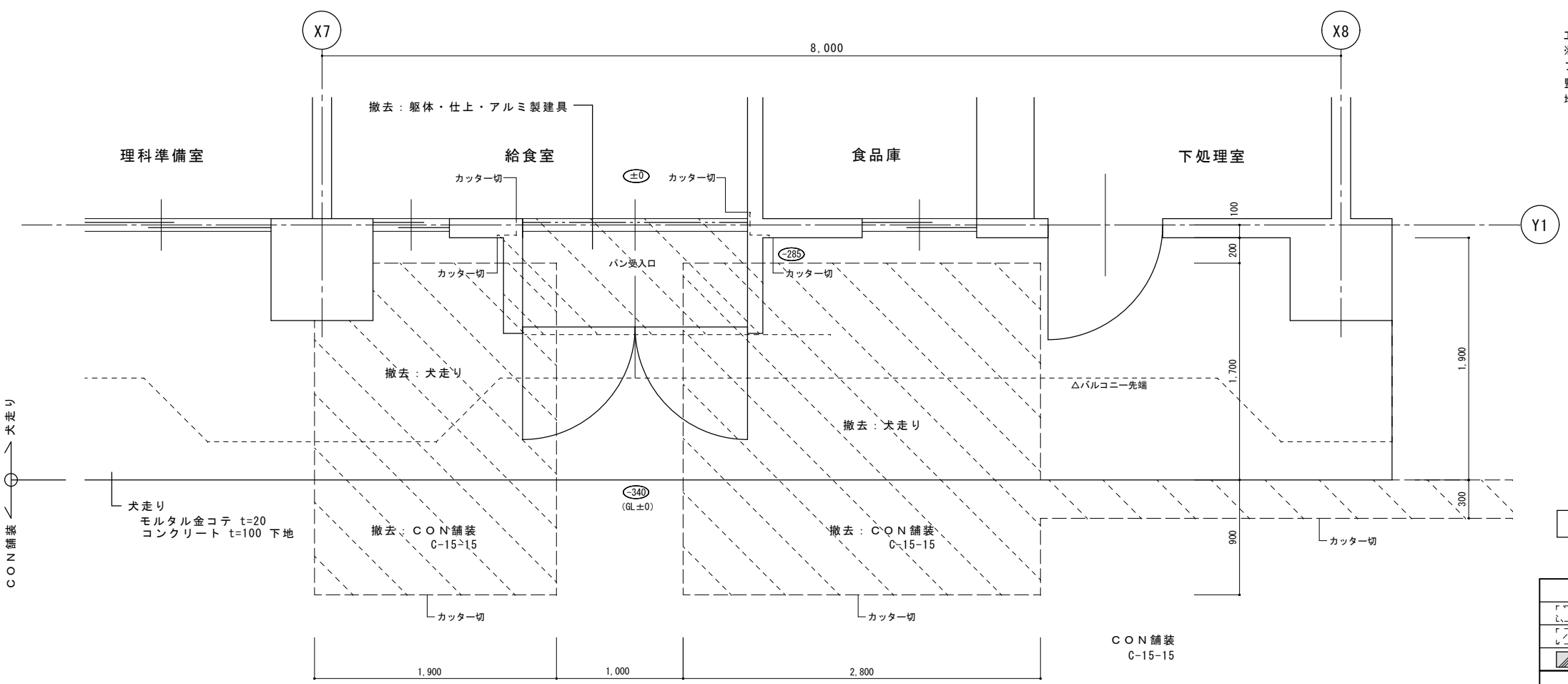
改修前 1階平面図 S=1/200



改修後 1階平面図 S=1/200

特記事項	変更事項	日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送給食室改修工事(令和1年夏工事)	図面番号	A-14
		検閲		図名	三訪小学校 改修前・改修後平面図	縮尺	A3版 縮小 A2版 1/200
		日付				積印	

工事着手前に、既設物の高さ関係を確認の上、仮ベンチマークを作成し、監督員の承認を得ること  
 ※次回工事（令和2年春）の床仕上げ高さがFL±0となるので、監督員の現場立会いにて決定すること  
 プラットフォームおよび上屋の位置、寸法、角度についても、現況確認の上、施工図を作成し  
 監督員の現場立会いにて承認を得ること  
 地中埋設物により位置変更が生じる場合も同様とする

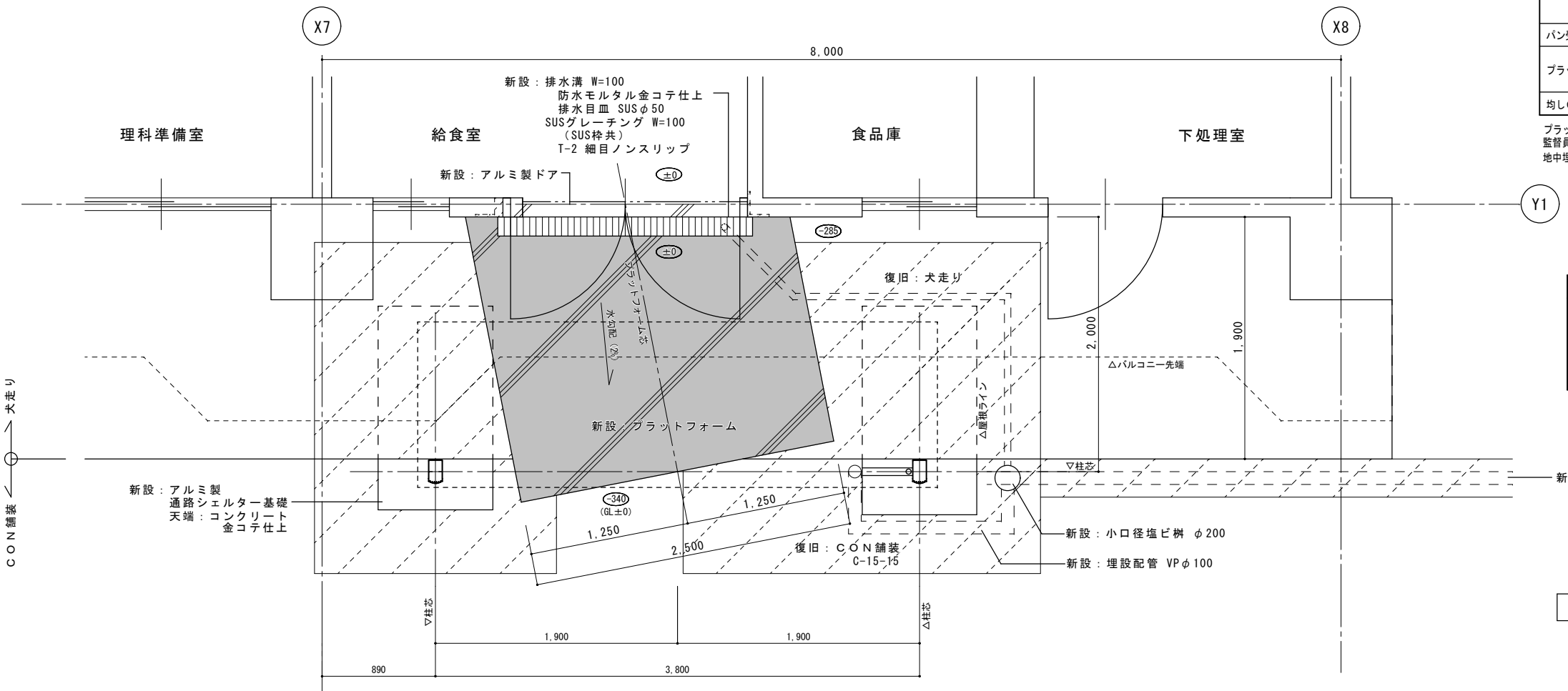


給食室 改修部 改修前仕上表		CH = 3,030
外周壁 (開口改修部)	内部壁	: 吹付タイル
	内部巾木	: モルタル金コテ押え t=20
	外部壁	: 吹付タイル
	外部巾木	: モルタル金コテ押え t=20

改修前 1階平面図 S=1/30

凡例	
[Symbol]	撤去範囲を示す
[Symbol]	復旧範囲（既設同仕上）を示す
[Symbol]	新設プラットフォームを示す
各種仕様	
CON舗装 犬走り土間	コンクリート: Fc24-8 (N) t=150
	配筋: 溶接金網 φ6-150×150
	路盤: RC40-0 t=150
パン受入口仕上	床: 磁器質25角タイル 壁・天井: SUS板 t=0.8 張り
プラットフォーム	コンクリート: Fc27-15 (N) 配筋: D13 #150 タテヨコ (シングル) 壁取り合い部 差し筋アンカー-D13#150
均しCON	コンクリート: Fc18-15 (N)

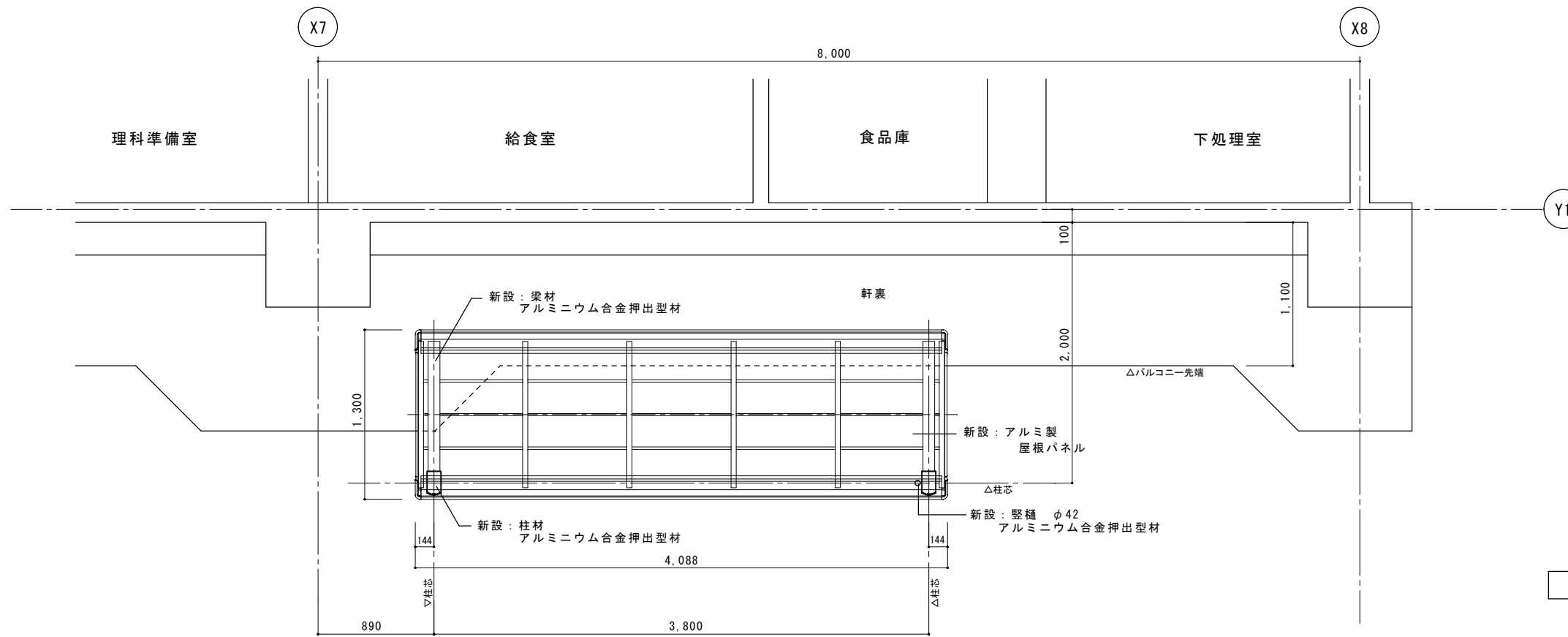
プラットフォームおよび上屋の位置、寸法、角度については、現況確認の上、施工図を作成し  
 監督員の現場立会いにて承認を得ること  
 地中埋設物により位置変更が出る場合も同様とする



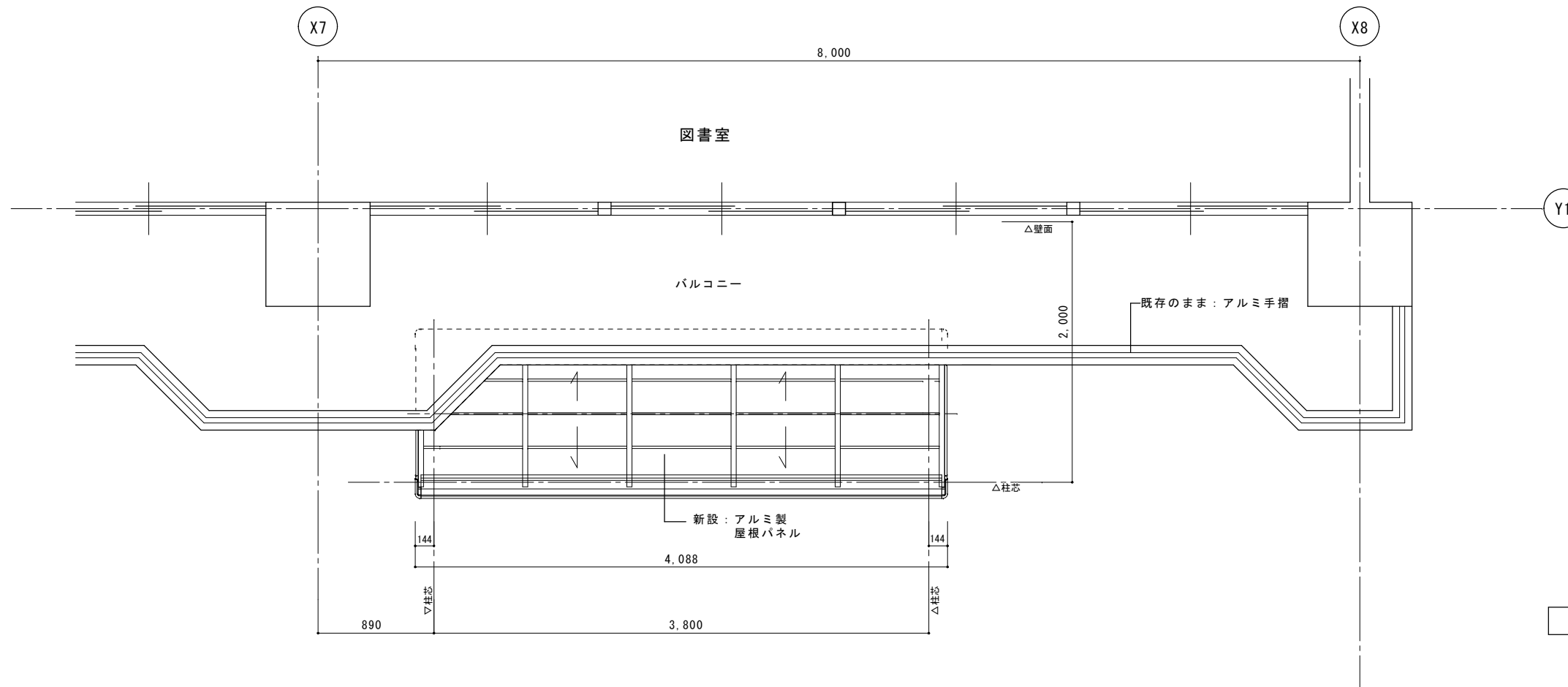
給食室 改修部 改修後仕上表		CH = 3,030
外周壁 (開口改修部)	内部壁	: EP-G塗
	内部巾木	: EP-G塗
	外部壁	: 防水型複層塗材E (ゆず肌状 ローラー塗り)
	外部巾木	: モルタル金コテ押え t=20

改修後 1階平面図 S=1/30



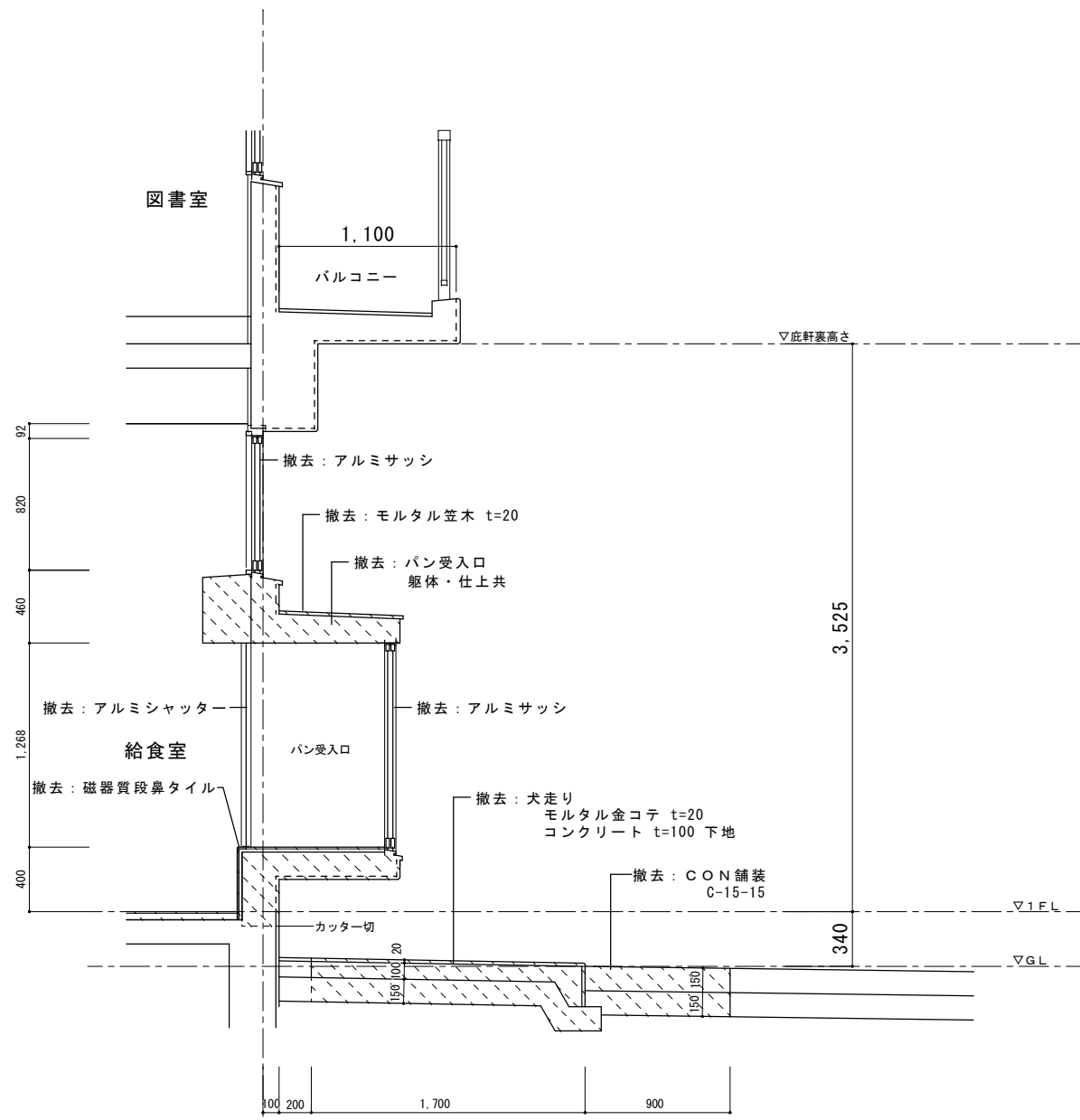


改修後 1階見上げ図 S=1/30

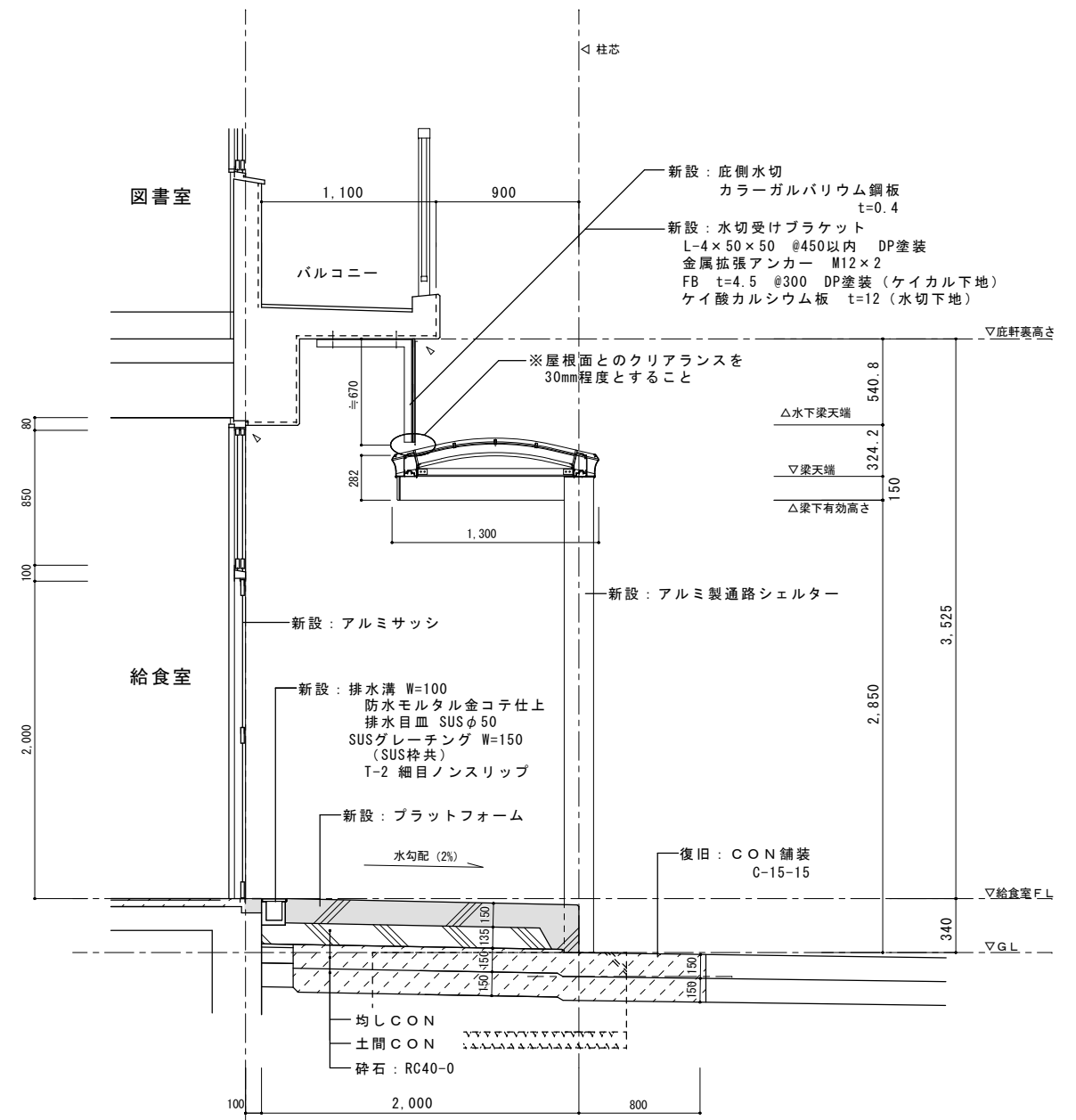


改修後 プラットフォーム屋根伏図 S=1/30

特記事項	変更事項		日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和1年夏工事)	図面番号	A-16
	日付		棟名		図名	三訪小学校 プラットフォーム計画図(2)	縮尺	A3版 縮小 A2版1/30



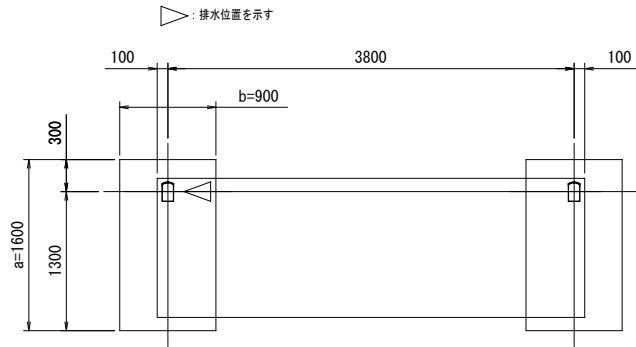
改修前 プラットフォーム断面図 S=1/30



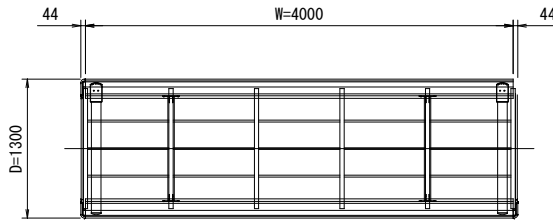
改修後 プラットフォーム断面図 S=1/30

凡例	
	撤去範囲を示す
	復旧範囲 (既設同仕上) を示す
	新設プラットフォームを示す
	シーリング MS-2 15mm巾 を示す
各種仕様	
CON舗装 犬走り土間	コンクリート：Fc24-8 (N) t=150
	配筋：溶接金網 φ6-150×150
	路盤：RC40-0 t=150
パン受入口仕上	床：磁器質25角タイル 壁・天井：SUS板 t=0.8 張り
プラットフォーム	コンクリート：Fc27-15 (N) 配筋：D13 @150 タテヨコ (シングル) 壁取り合い部 差し筋アンカーD13@150
均しCON	コンクリート：Fc18-15 (N)

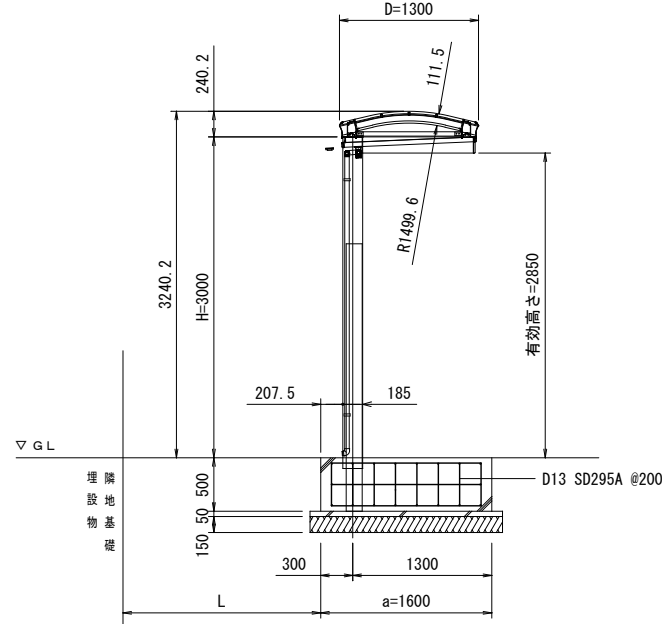
U柱・基礎位置図 (S=1/50)



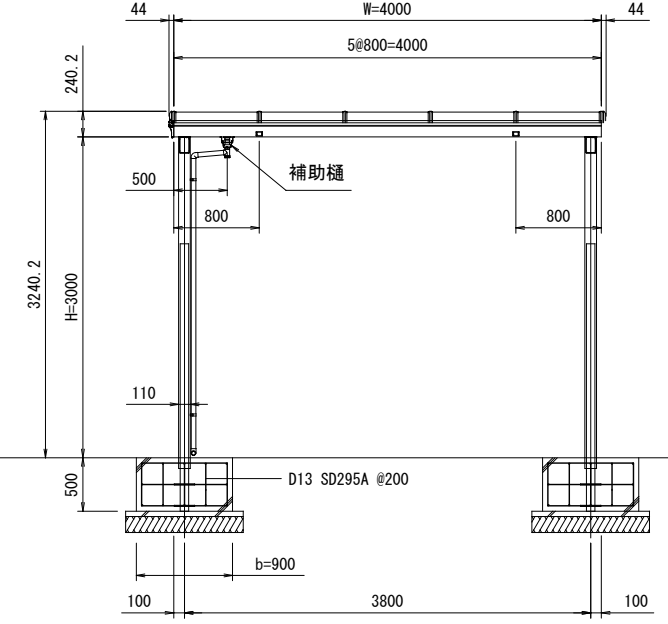
U平面図 (S=1/50)



U側面図 (S=1/50)

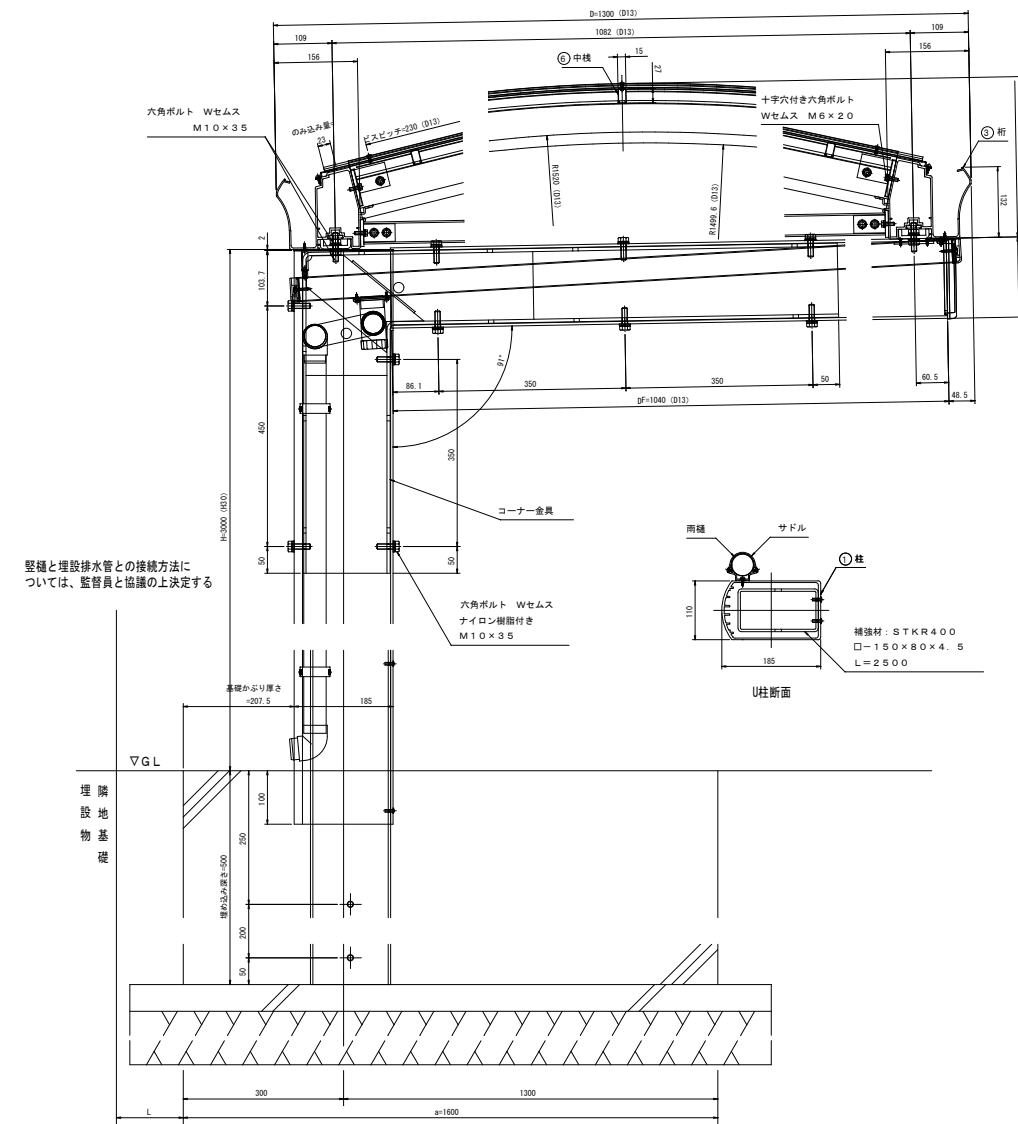


U立面図 (S=1/50)

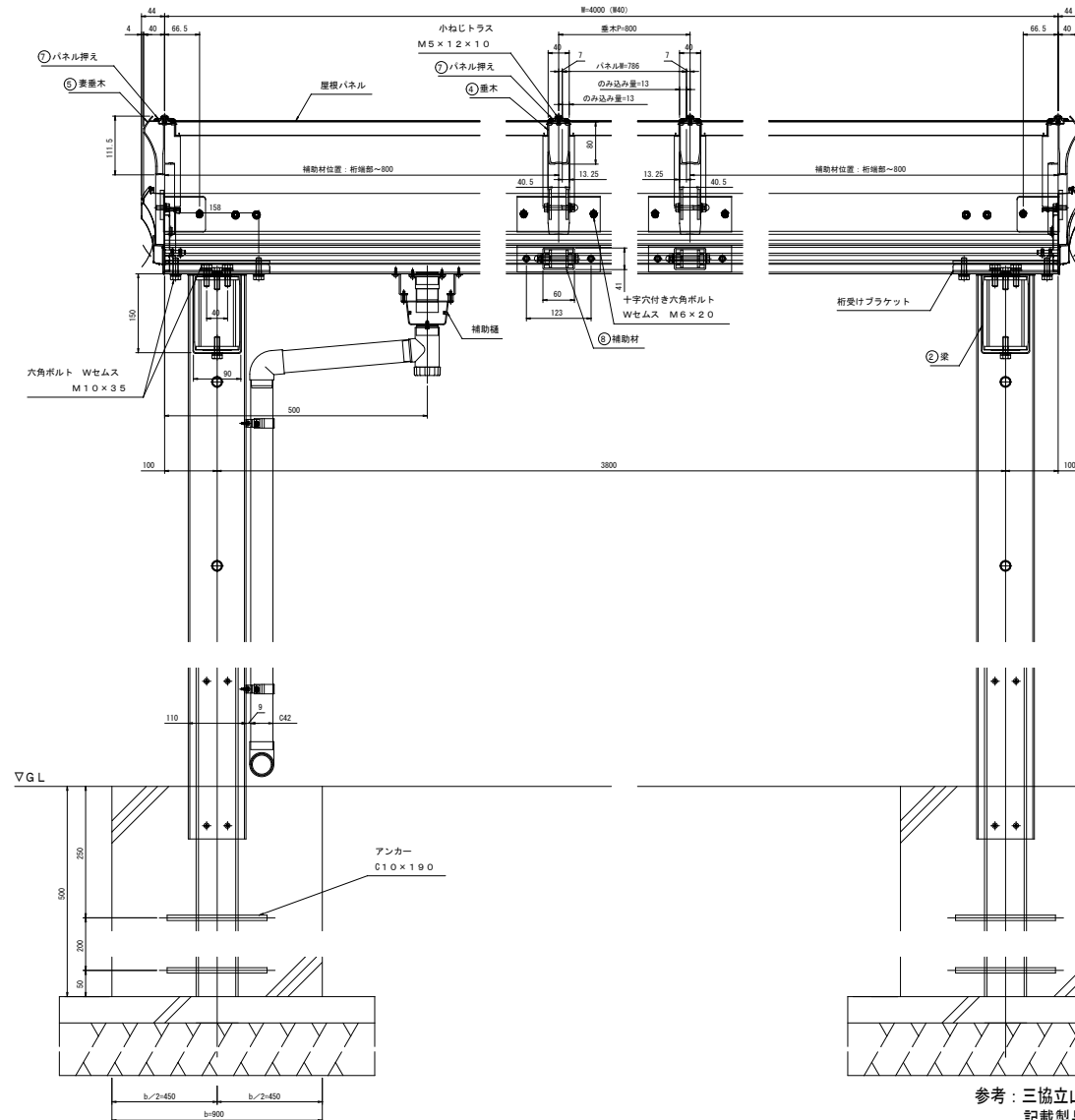


区分	S-2	数量	1	備考
シリーズ	通路シェルター ファインロードS			建築基準法適合商品 (国土交通省特許第408・409・410・607号特許商品)
本体	規格色			耐積雪質量: 1500
色	規格色			耐風圧力: 830
屋根パネル (材質)	アルミニウム板 t=1.0 (国土交通大臣認定番号: NM-8597)			積雪付着型 R屋根 一本柱タイプ (露出)
取付場所				
柱	アルミニウム合金部材 (補強材: 一般構造用角形鋼管製)			有効軸長比: 81.9 (H50) (補強材: 120.8)
主要構造材	アルミニウム合金部材			
筋	アルミニウム合金部材			
裏木	アルミニウム合金部材			

U間口詳細図 (S=1/10)



U奥行詳細図 (S=1/10)



材質仕様書

名称	材質	規格
① 柱	アルミニウム合金部材	A6063S-T6 JIS H4100
② 柱補強	一般構造用圧延鋼材	STKR400 JIS G3466
③ 梁	アルミニウム合金部材	A6063S-T6 JIS H4100
④ 桁	アルミニウム合金部材	A6063S-T6 JIS H4100
⑤ 裏木	アルミニウム合金部材	A6063S-T5 JIS H4100
⑥ 裏木	アルミニウム合金部材	A6063S-T5 JIS H4100
⑦ 中柱	アルミニウム合金部材	A6063S-T5 JIS H4100
⑧ パネル押え	アルミニウム合金部材	A6063S-T5 JIS H4100
⑨ 補助柱	アルミニウム合金部材	A6063S-T5 JIS H4100
屋根パネル	アルミニウム板 t=1.0	A1050P-H24 JIS H4000 (国土交通大臣認定番号: NM-8597)

名称	材質	規格
桁受けブラケット	一般構造用圧延鋼材	SS400 JIS G3101
コーナー金具	一般構造用圧延鋼材	SS400 JIS G3101
補助柱	アルミニウム合金部材	A6063S-T5 JIS H4100
雨樋	アルミニウム合金部材	A6063S-T5 JIS H4100
屋根キャップ	アルミニウム合金部材	AC3A JIS H5202
アンカー	一般構造用圧延鋼材	SS400 JIS G3101
ボルト等	ステンレス	

項目	内容
アルミニウム合金部材	複合皮膜 (陽極酸化皮膜+透明合成樹脂塗装)
桁受けブラケット	電気亜鉛めっき処理+積付塗装
コーナー金具	電気亜鉛めっき処理
アンカー	電気亜鉛めっき処理

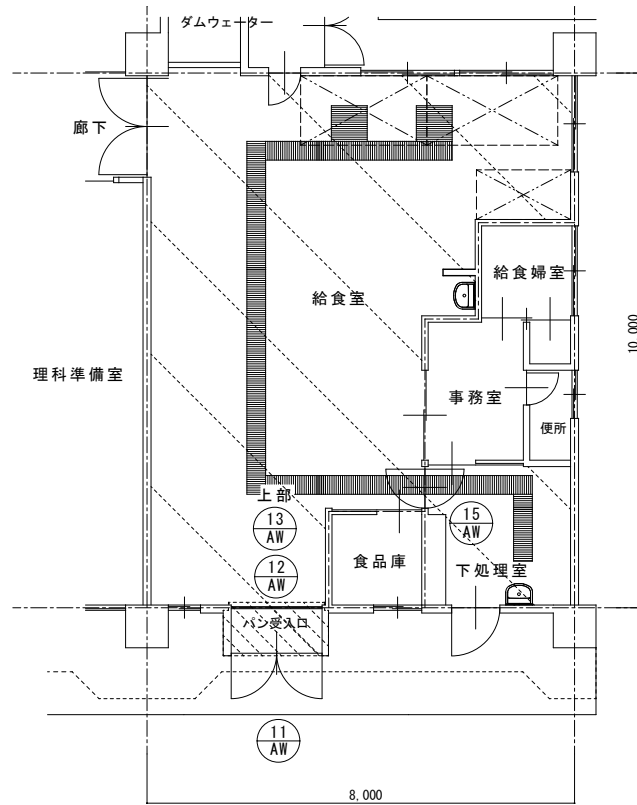
※アルミニウム合金部材表面処理: JIS H 8602 陽極酸化塗装複合皮膜 種類A1「SLC、UC、BD色 (白色は除く)」

主要部材一覧

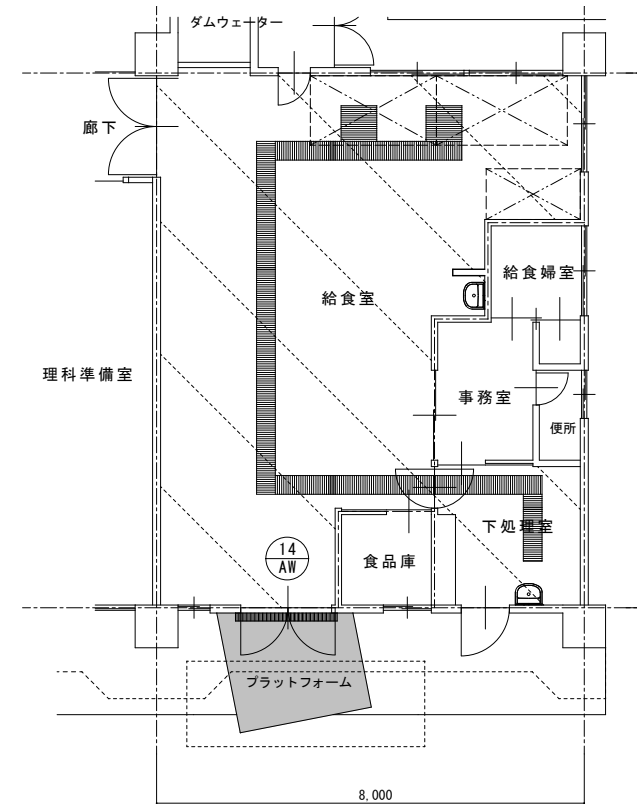
部材名	① 柱	② 梁	③ 桁	④ 裏木
柱補強				
裏木				
中柱				
パネル押え				
補助柱				

参考: 三協立山鋼三協アルミ社 通路シェルター『ファインロードS』一本柱タイプ 基本ユニット 積雪50cm 記載製品もしくは同等品を使用すること

特記事項	変更事項	日付	名称	図面番号
		19.05.07	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事 (令和1年夏工事)	A-18
			三訪小学校 プラットフォームシェルター参考図	縮尺 A3版 縮小 A2版 1/50, 1/10

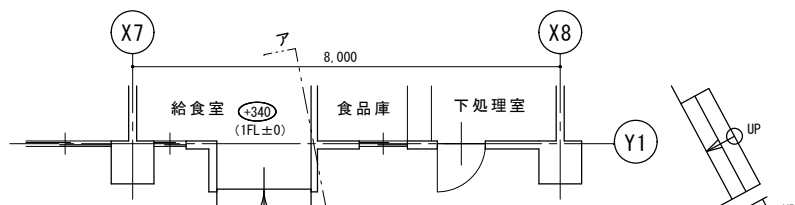


改修前  
建具指示図 S=1:100



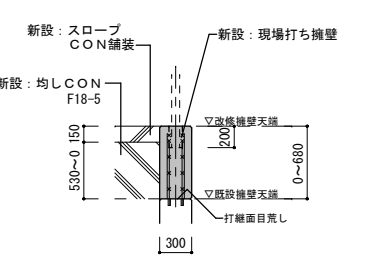
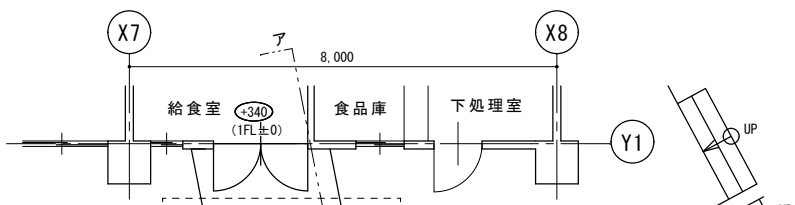
改修後  
建具指示図 S=1:100

記号	数量	場所	11 AW	1	パン受入口 (外部側)	12 AW	1	パン受入口 (内部側)	13 AW	1	パン受入口 (内部側)	14 AW	1	配膳室
姿図 (外觀図)			(撤去)			(撤去)			(撤去)			(新設)		
寸見込					撤去 70			撤去 70			撤去 70			復旧 70
型式			両開きフラッシュ戸			アルミ製軽量シャッター			引違い窓			ランマ付両開き框戸		
材質			アルミ材			アルミ材			アルミ押出型材			アルミ押出型材		
ガラス			アルミパネル t=3						型ガラス t=4			欄間: 学校用強化ガラス (透明) t=4 扉: アルミパネル t=3		
金物			握り玉・アルミガラリ・アルミ水切・取付金物一式			スチール製シャッターボックス・取付金物一式			アルミ水切・木隠縁 (内部)・取付金物一式			アルミ隠縁 (内部)・SUS丁番・SUS巻指・ドアクローザー (2ヶ所) レバーハンドル・シリンドー錠・自動フラッシュボルト・扉下部モヘア・SUS網戸 (欄間)・取付金物一式		
備考			建具廻りシーリング						アルミ隠縁 建具廻りシーリング			建具廻りシーリング		



凡例	
[Symbol]	撤去範囲を示す
[Symbol]	表層改良 100kg/m ³ t=500 範囲を示す 六価クロム試験を含む
[Symbol]	表層改良 100kg/m ³ H=1400 範囲を示す 六価クロム試験を含む
[Symbol]	エラストイト 選青質板 t=10 を示す
各種仕様	
スロープCON舗装	コンクリート: Fc27-15 (N) t=150 刷毛引き仕上 手摺支柱間 t=200 300×300 配筋: D13 #150 タテヨコ (シングル)
均しCON	コンクリート: Fc18-15 (N)
表層改良固化材は、粉塵低減型とする	

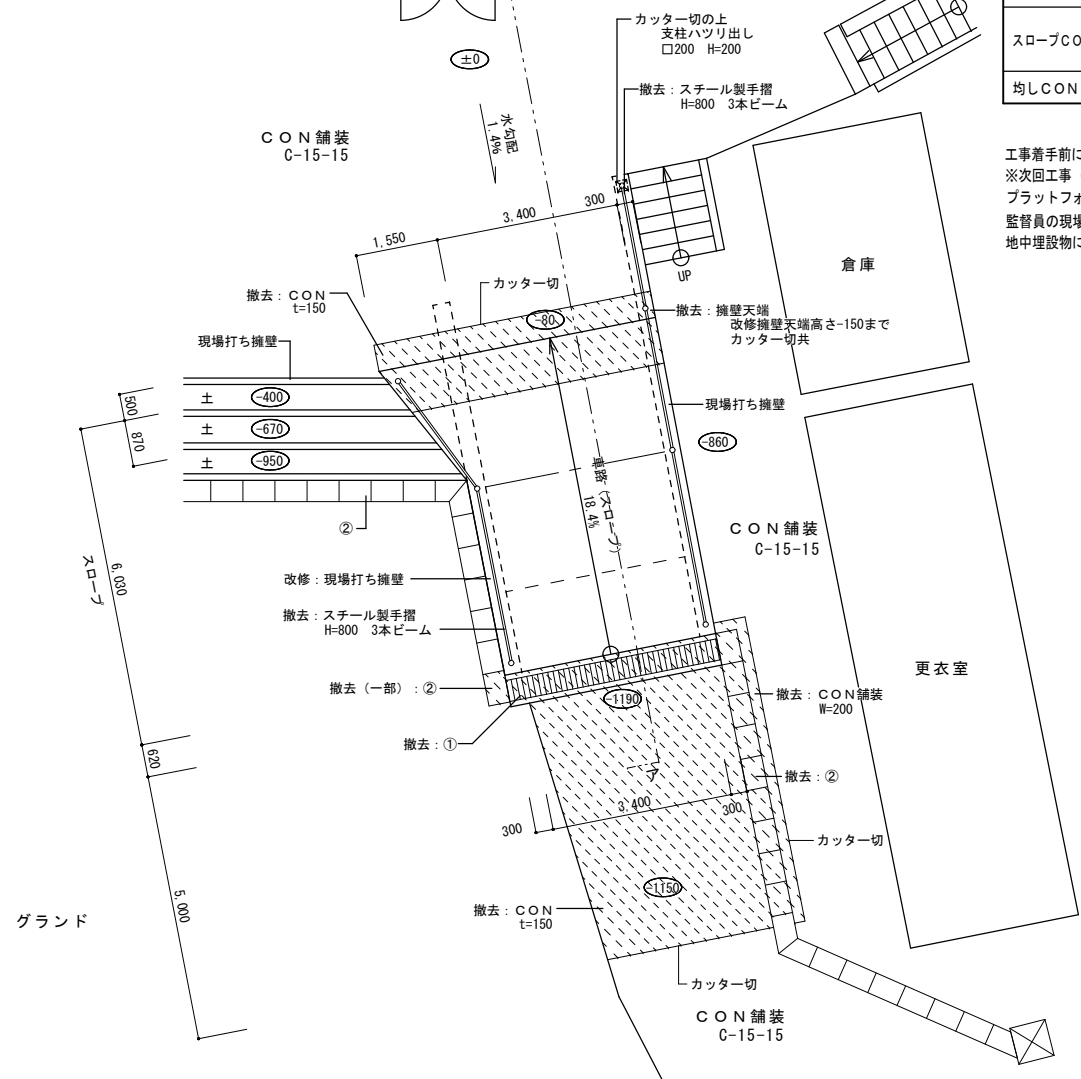
工事着手前に、既設物の高さ関係を確認の上、仮ベンチマークを作成し、監督員の承認を得ること  
 ※次回工事（令和2年春）の床仕上げ高さがFL±0となるので、監督員の現場立会いにて決定すること  
 プラットフォームおよび上屋の位置、寸法、角度についても、現況確認の上、施工図を作成し  
 監督員の現場立会いにて承認を得ること  
 地中埋設物により位置変更が生じる場合も同様とする



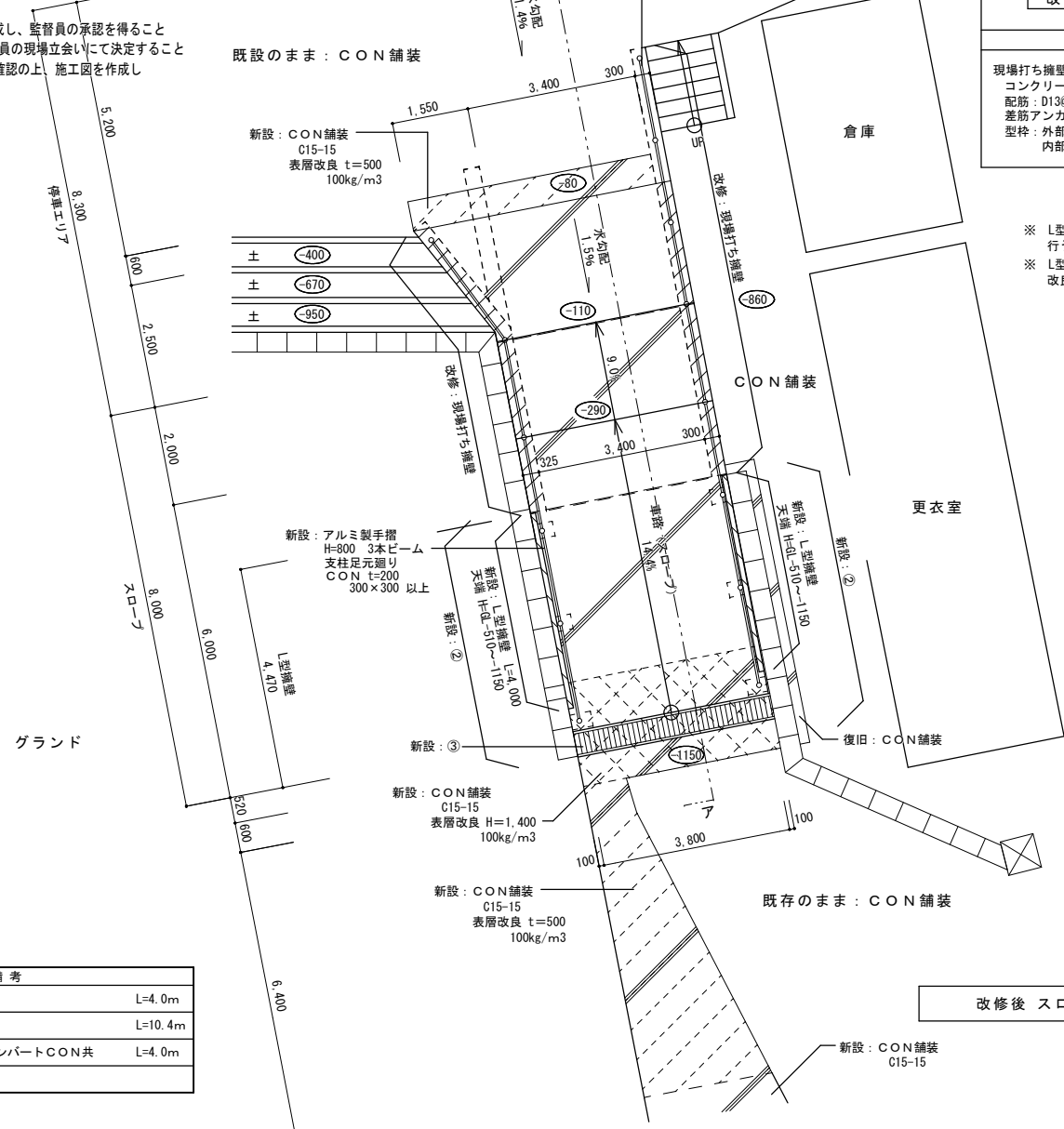
改修擁壁天端高さが既設擁壁天端より150mm未満の部分は  
 改修擁壁天端よりH=150の高さまで既設擁壁を削り取る  
 改修現場打ち擁壁断面図 1/50

各種仕様
現場打ち擁壁 コンクリート: Fc27-15 配筋: D13#150タテヨコ (ダブル) 差筋アンカー: 金属拡張式 D13#150 型枠: 外部側 打放し合板B種 内部側 普通合板

※ L型擁壁基礎下は地盤改良 100kg/m³ H=500 行うこと  
 ※ L型擁壁敷設後の戻土は、既設地盤面まで改良土 100kg/m³ で行い、十分に転圧すること

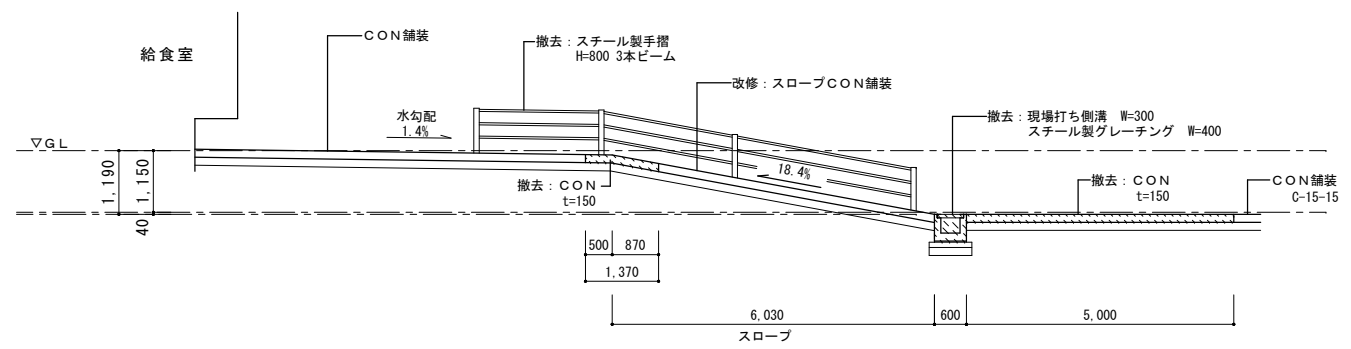


改修前 スロープ平面図 S=1/100

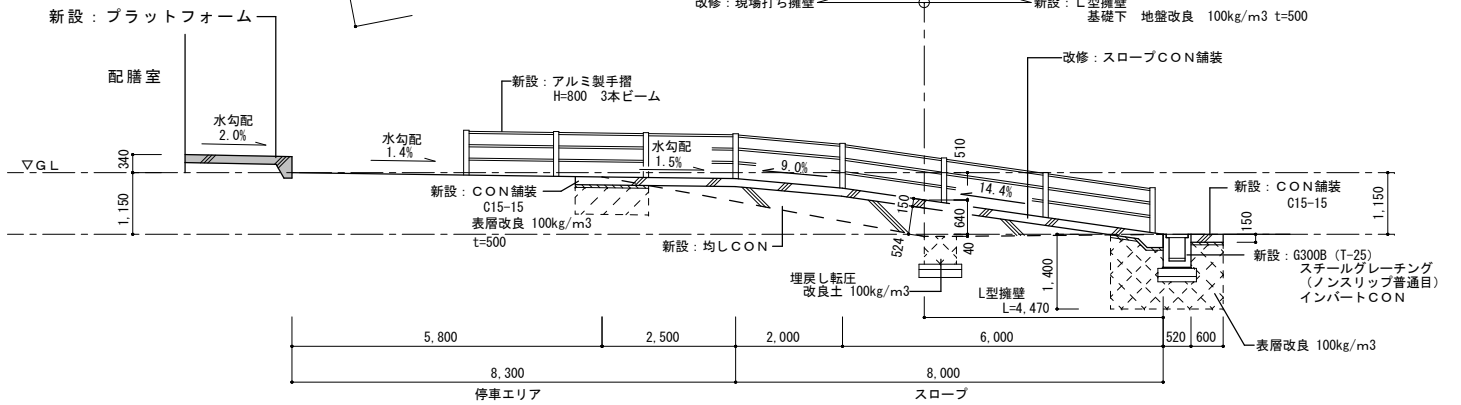


改修後 スロープ平面図 S=1/100

番号	品名	蓋・グレーチング	W・H	備考
①	現場打ち側溝	ST W=400	W=300 H=350	L=4.0m
②	U-300	CON蓋 (上蓋式)		L=10.4m
③	道路横断側溝 G300B	ST W=400 T-25 ノンスリップ 普通目	W=300 H=500	インパートCON共 L=4.0m

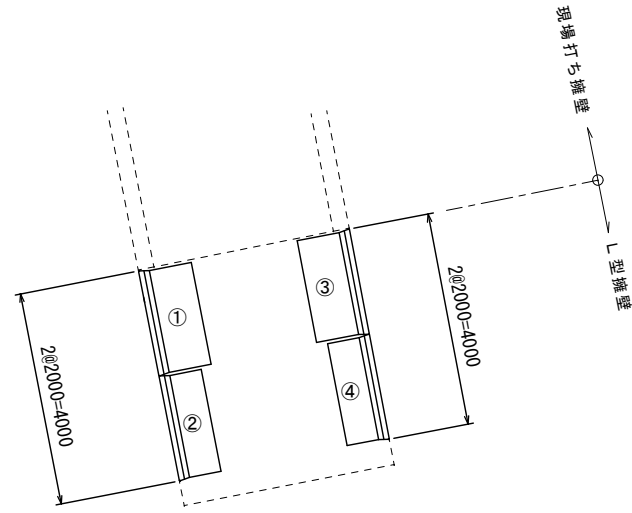


改修前 ア-ア 断面図 1/100

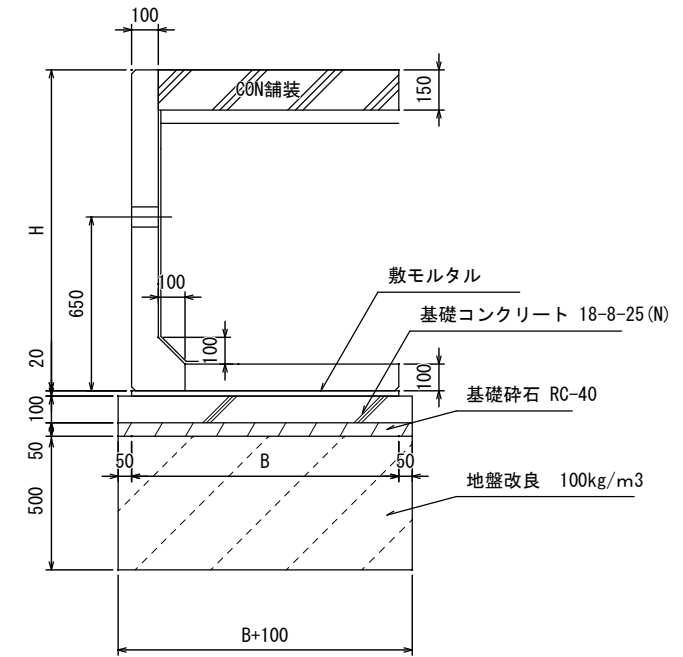


改修後 ア-ア 断面図 1/100

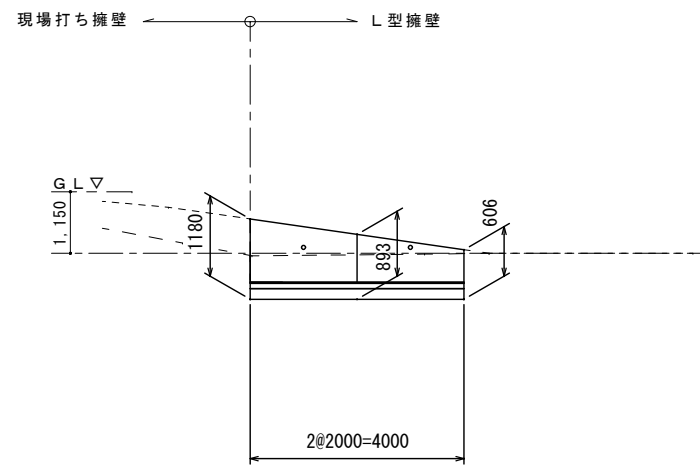
平面図 S=1/100



標準断面図 S=1/20

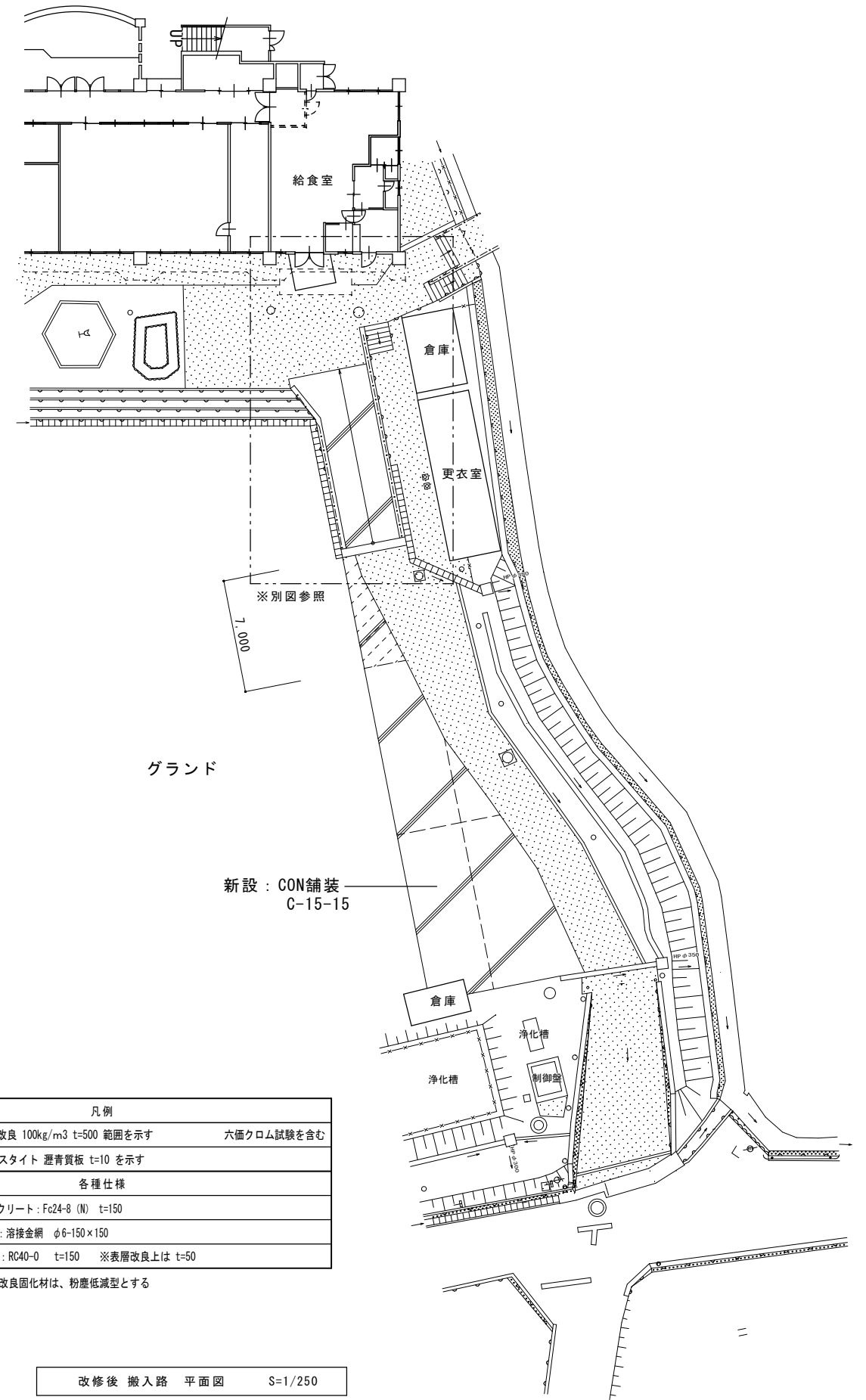
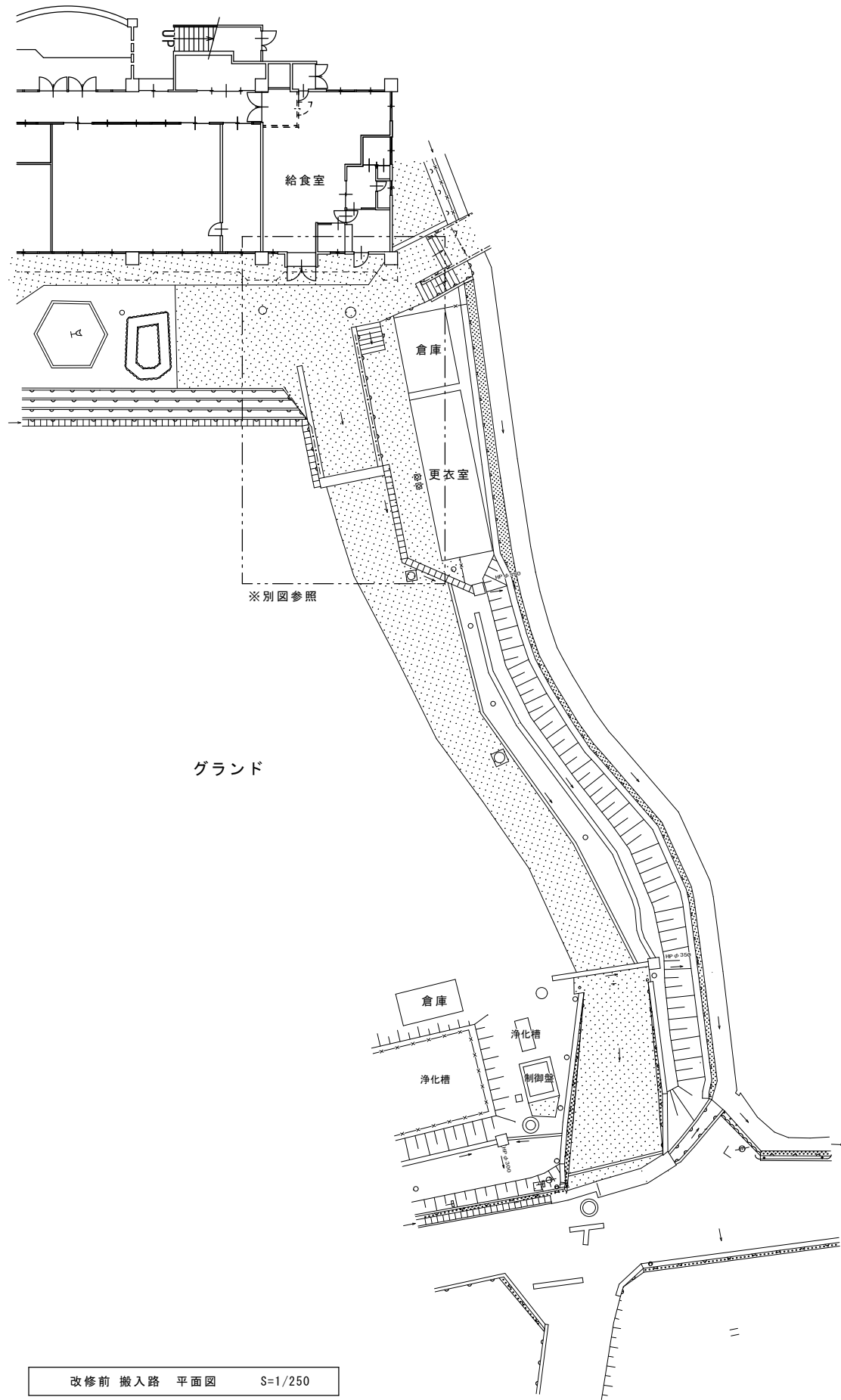


側面図 S=1/100

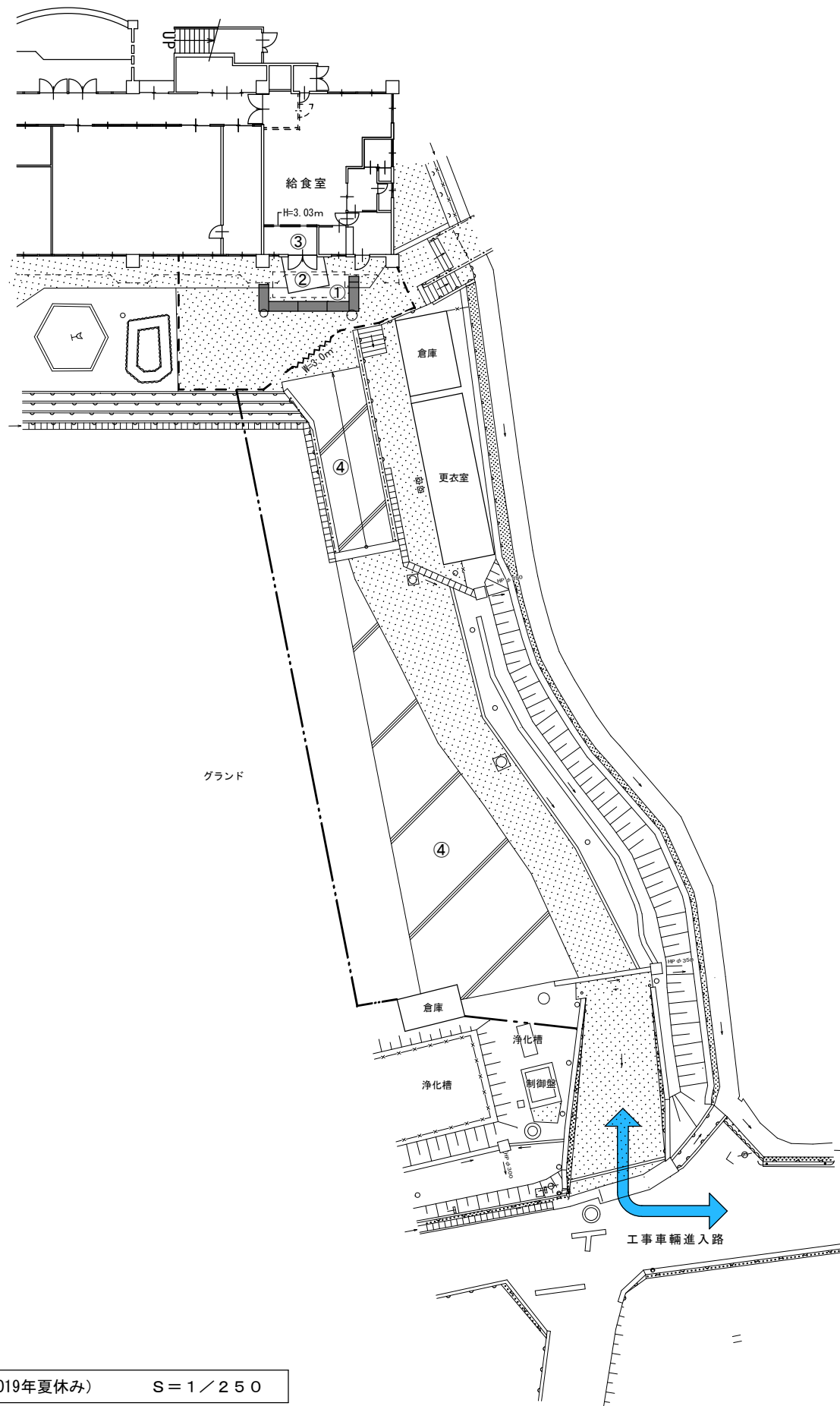


プレキャストL型擁壁 数量表

H (mm)	B (mm)	L (mm)	数量 (個)	割付番号	備考
1180/893	1000	1995	1	1	天端斜切
893/606	800	1995	1	2	天端斜切
893/1180	1000	1995	1	3	天端斜切
606/893	800	1995	1	4	天端斜切
		合計	4		



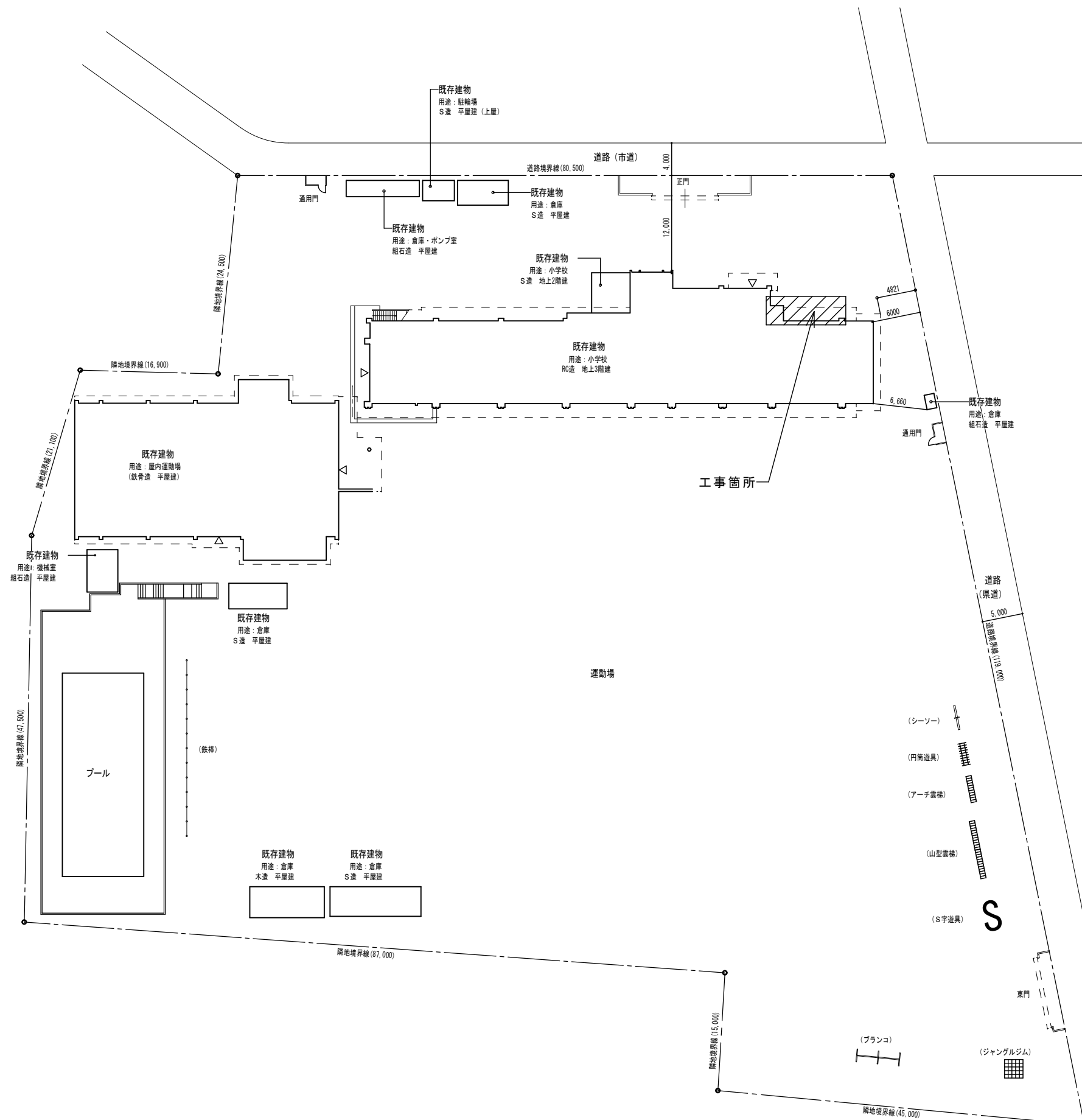
凡例		
	表層改良 100kg/m ³ t=500 範囲を示す	六価クロム試験を含む
	エラストイト 瀝青質板 t=10 を示す	
	各種仕様	
CON舗装	コンクリート: Fc24-8 (N) t=150	
	配筋: 溶接金網 φ6-150×150	
	路盤: RC40-0 t=150 ※表層改良上は t=50	
表層改良固化材は、粉塵低減型とする		



工事内容 凡例	
①	プラットフォーム上屋新設
②	プラットフォーム床新設
③	搬入口建具撤去・新設
④	外構・搬入路改修
⑤	
⑥	
⑦	

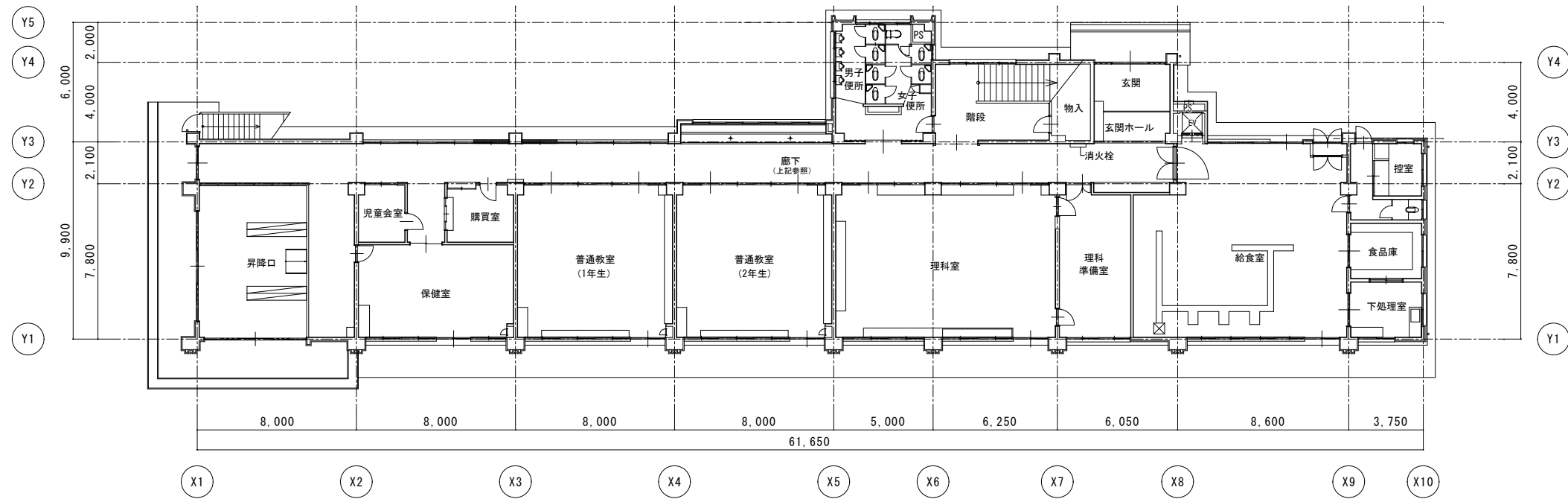
凡例	
---	仮囲い シート張り H=2.0mを示す 24.1m
~~~~~	キャスターゲート W=3.0m H=2.0m を表す 1ヶ所
---	単管バリケードを示す 46.8m
■	外部足場 (くさび緊結式足場) W=600 手摺先行型 (メッシュシート共) (参考)
---	仮設間仕切 PB12.5 (片面) LGS65下地 を表す

仮設計画図 (2019年夏休み) S = 1 / 250

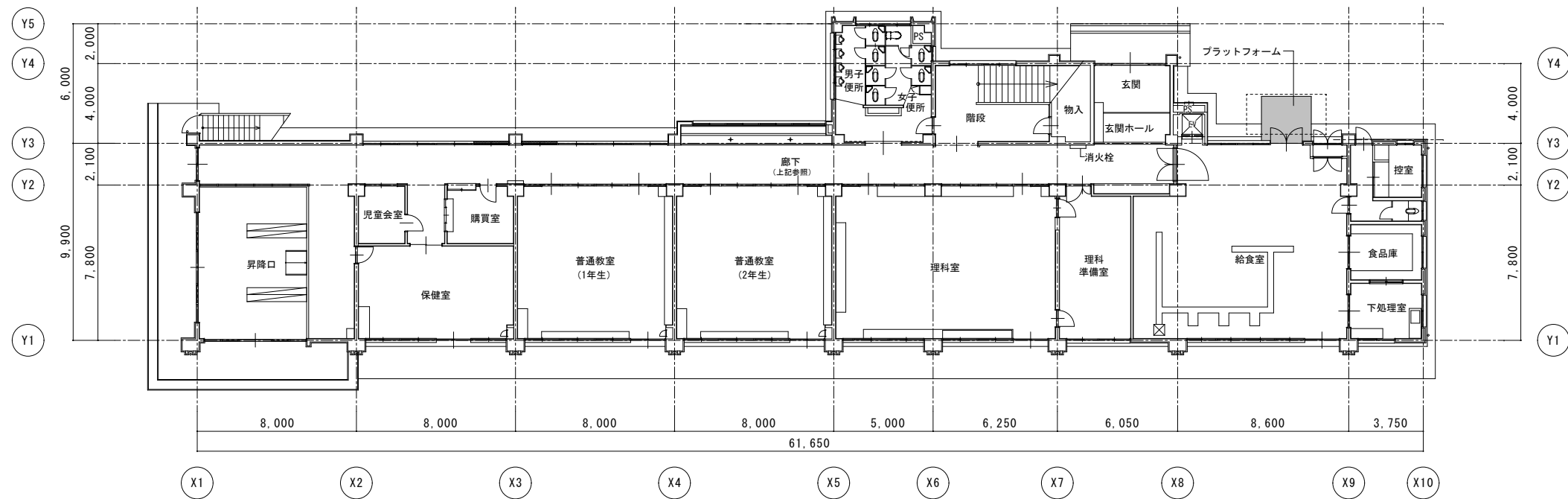


配置図 S = 1 / 500

特記事項	変更事項		日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和1年夏工事)	図面番号	A-24
			棟名		成和東小学校	縮尺	A3版 縮小 A2版 1/500	種別
			日付					

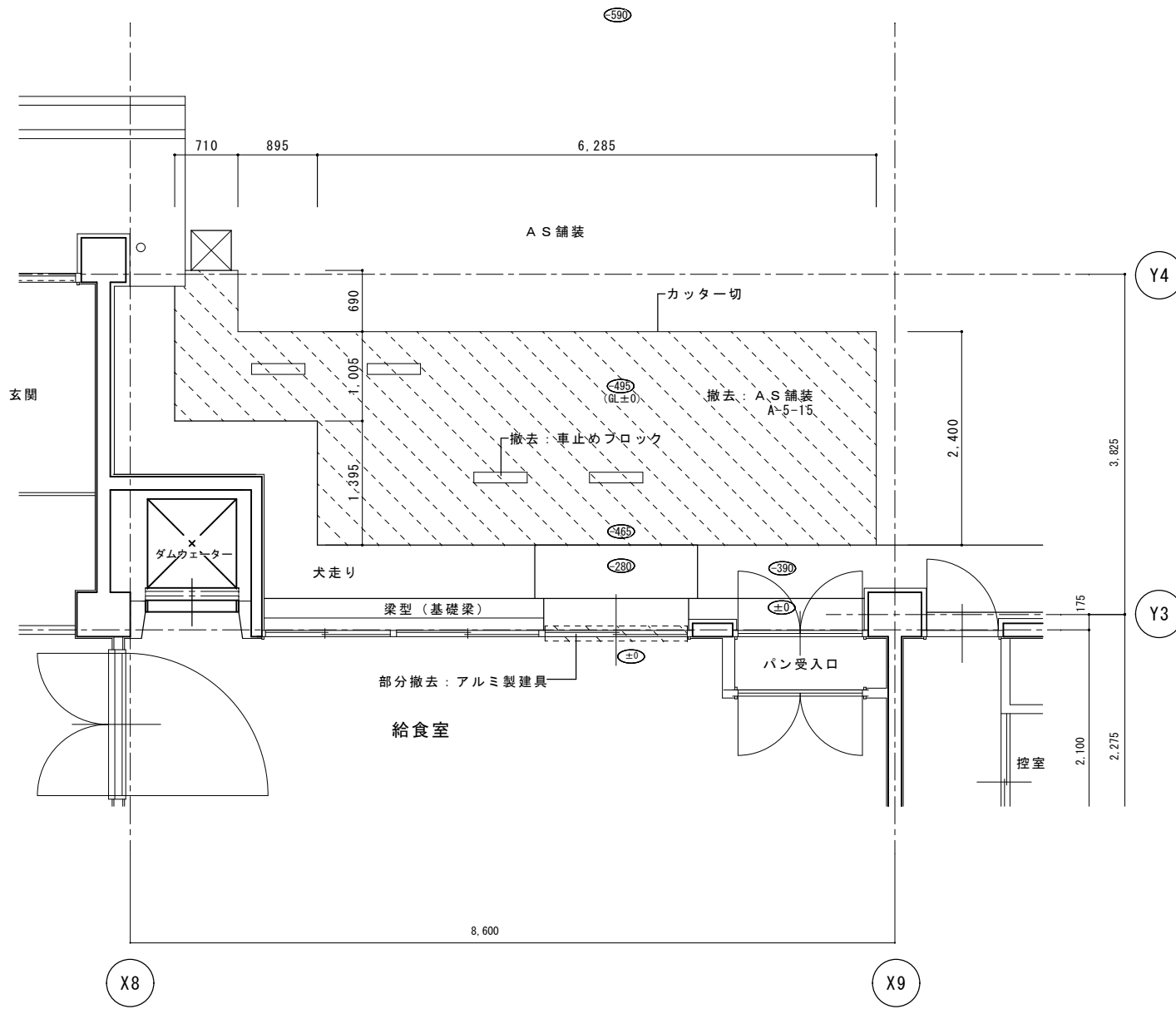


改修前 1階平面図 S = 1 / 200

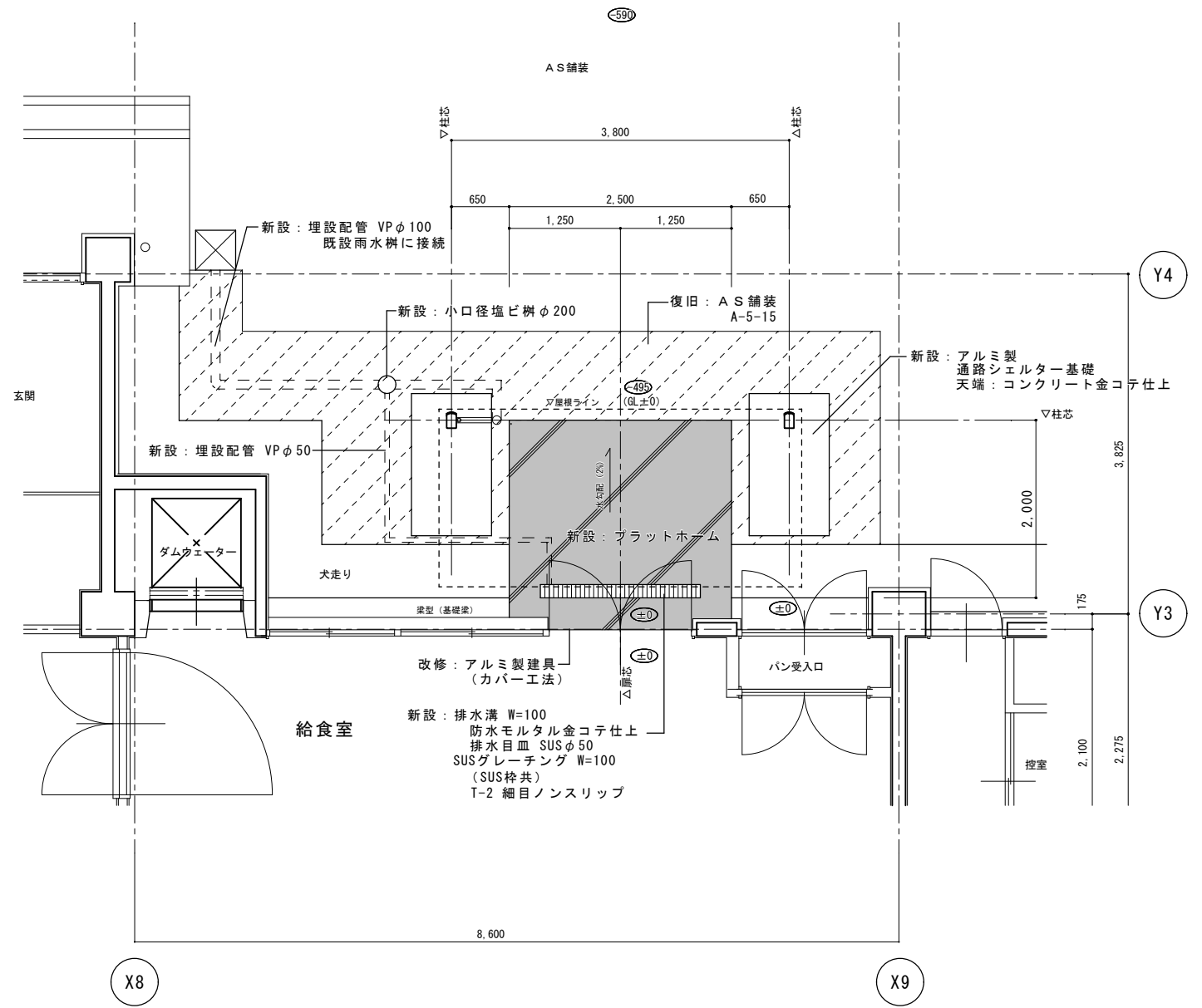


改修後 1階平面図 S = 1 / 200

特記事項	変更事項		日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和1年夏工事)	図面番号	A-25
			棟名		図名	成和東小学校 改修前・改修後平面図	縮尺	A3版縮小 A2版1/200
			担当者		棟印			



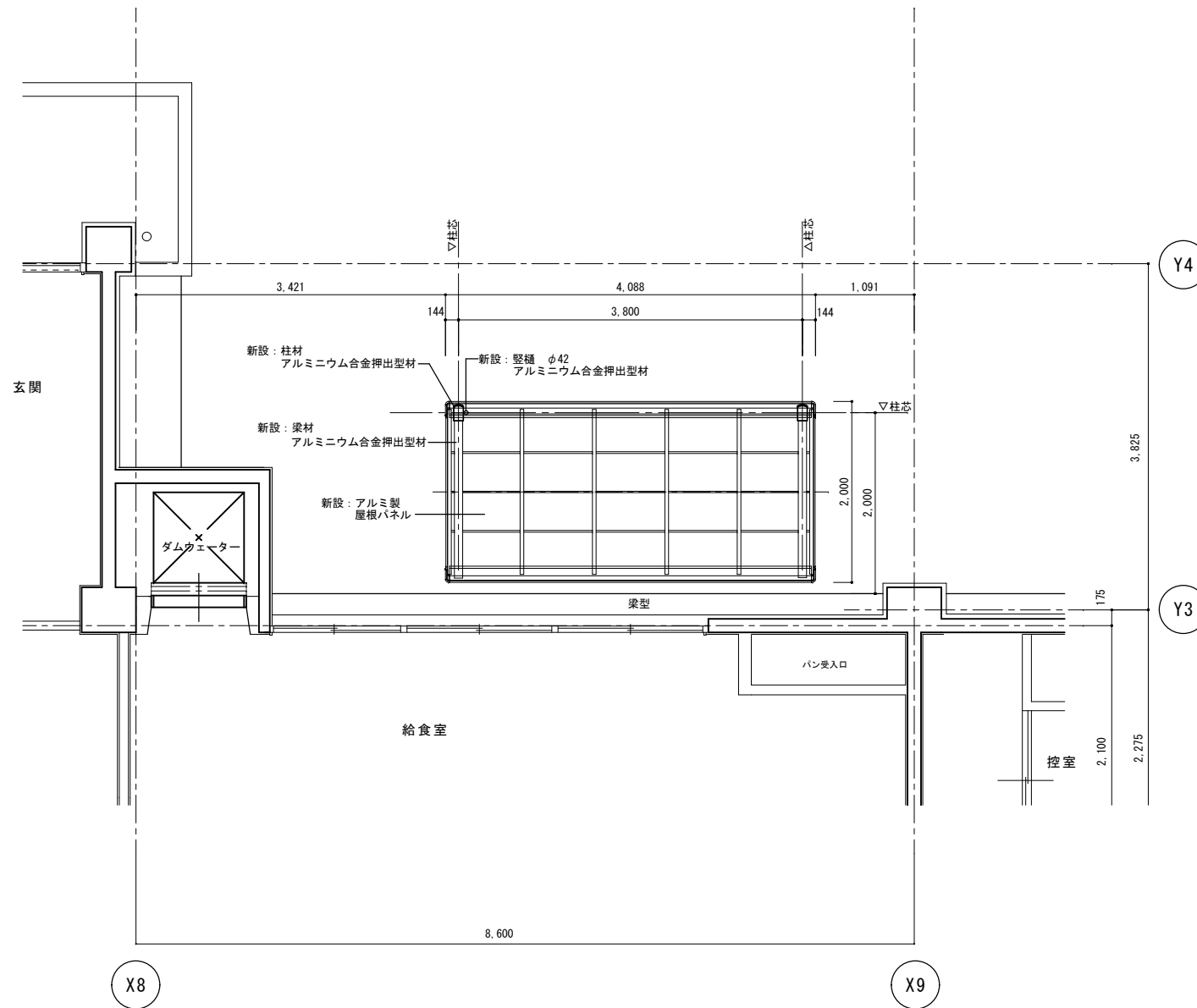
改修前 1階平面図 S = 1 / 50



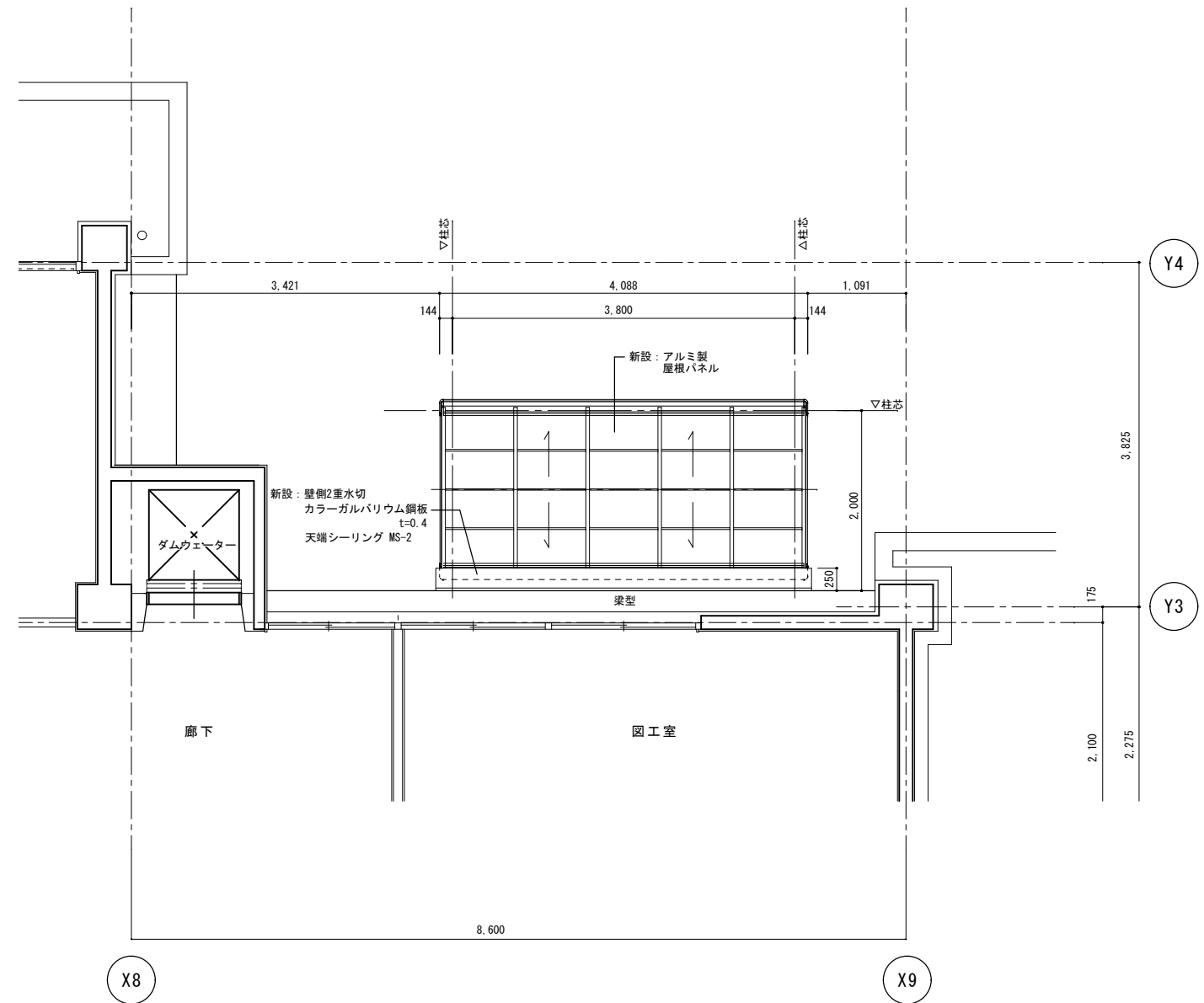
改修後 1階平面図 S = 1 / 50

凡例	
	撤去範囲を示す
	復旧範囲 (既設同仕上) を示す
	新設プラットフォームを示す
各種仕様	
プラットフォーム	コンクリート: Fc27-15 (N) 配筋: D13 @150 タテヨコ (シングル) 壁取り合い部 差し筋アンカー-D13@150
均しCON	コンクリート: Fc18-15 (N)

工事着手前に、既設物の高さ関係を確認の上、仮ベンチマークを作成し、監督員の承認を得ること
 ※次回工事 (令和2年春) の床仕上げ高さがFL±0となるので、監督員の現場立会いにて決定すること
 プラットフォームおよび上屋の位置、寸法、角度についても、現況確認の上、施工図を作成し
 監督員の現場立会いにて承認を得ること
 地中埋設物により位置変更が生じる場合も同様とする



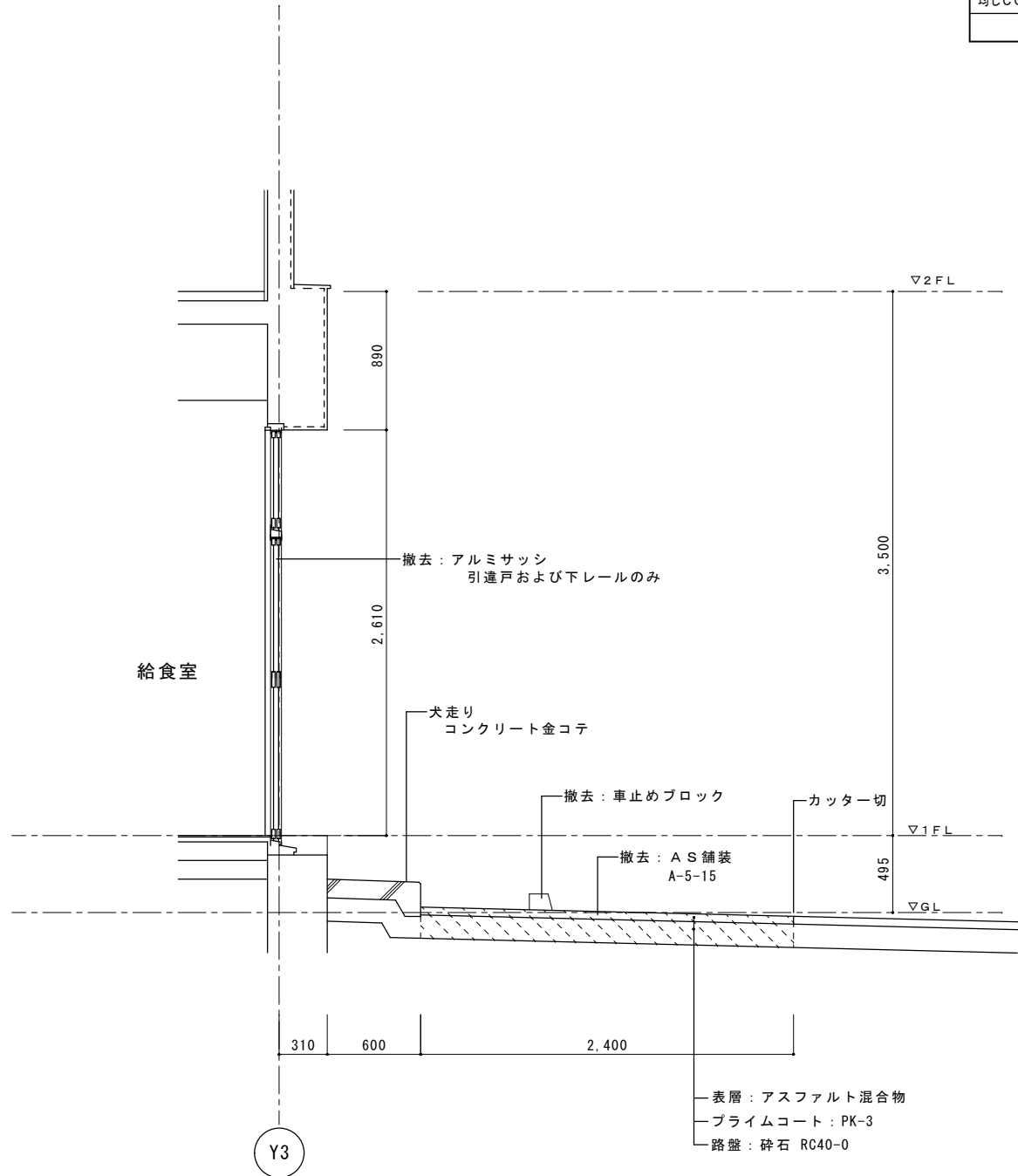
改修後 1階見上げ図 S=1/50



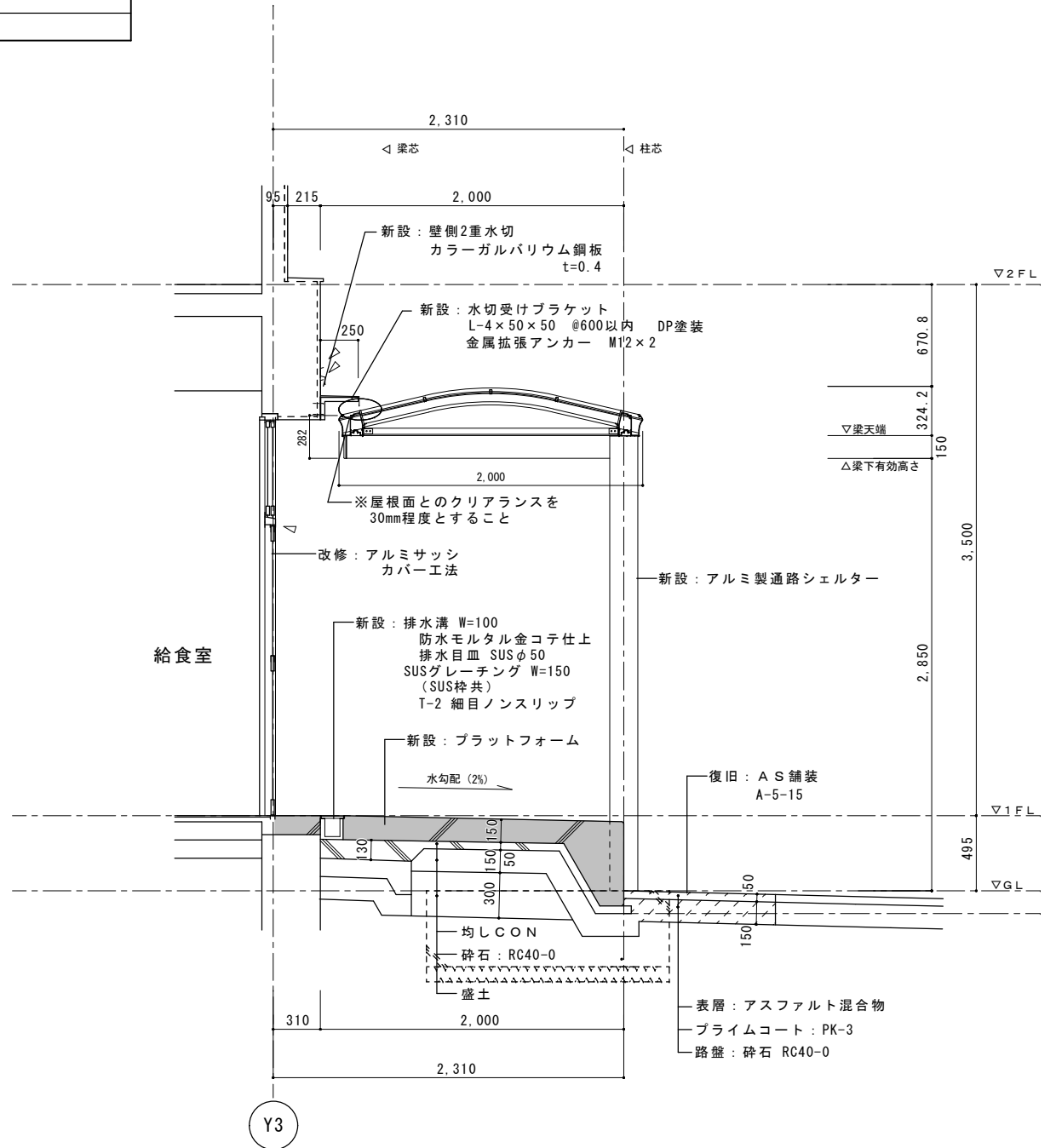
改修後 プラットフォーム屋根伏図 S=1/50

特記事項	変更事項	日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和1年夏工事)	図面番号	A-27
		検査		図名	成和東小学校 プラットフォーム計画図(2)	縮尺	A3版 縮小 A2版 1/50
		日付				検印	

凡例	
	撤去範囲を示す
	復旧範囲（既設同仕上）を示す
	新設プラットフォームを示す
	シーリング MS-2 15mm巾を示す
各種仕様	
プラットフォーム	コンクリート：Fc27-15 (N) 金コテ押え 配筋：D13 @150 タテヨコ (シングル) 壁取り合い部 差し筋アンカー-D13@150
均しCON	コンクリート：Fc18-15 (N)

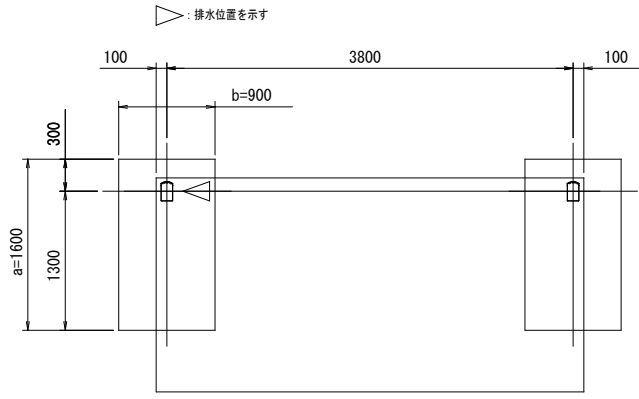


改修前 プラットフォーム断面図 S=1/30

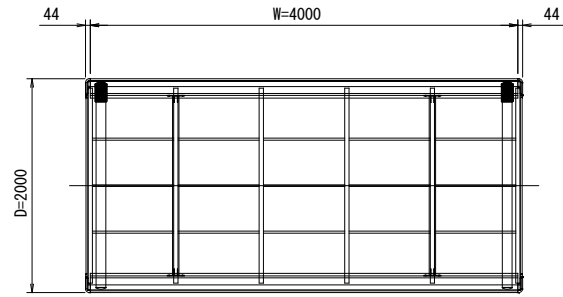


改修後 プラットフォーム断面図 S=1/30

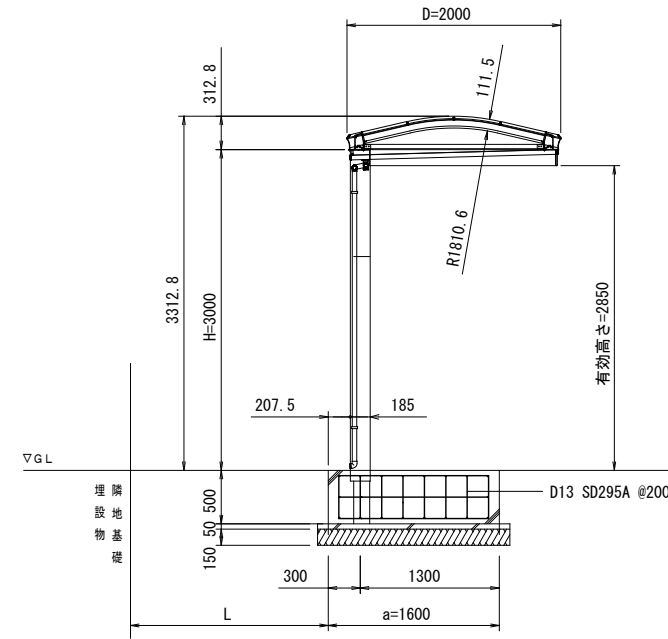
U柱・基礎位置図 (S=1/50)



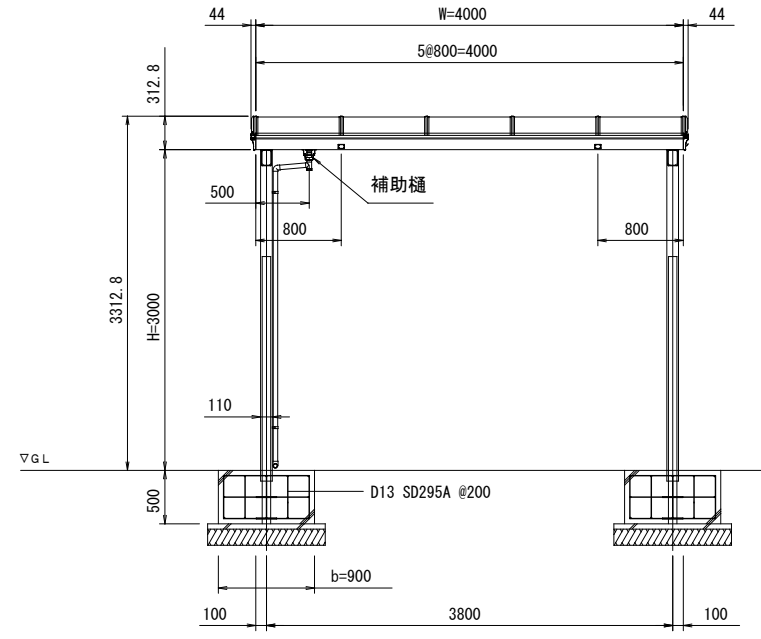
U平面図 (S=1/50)



U側面図 (S=1/50)

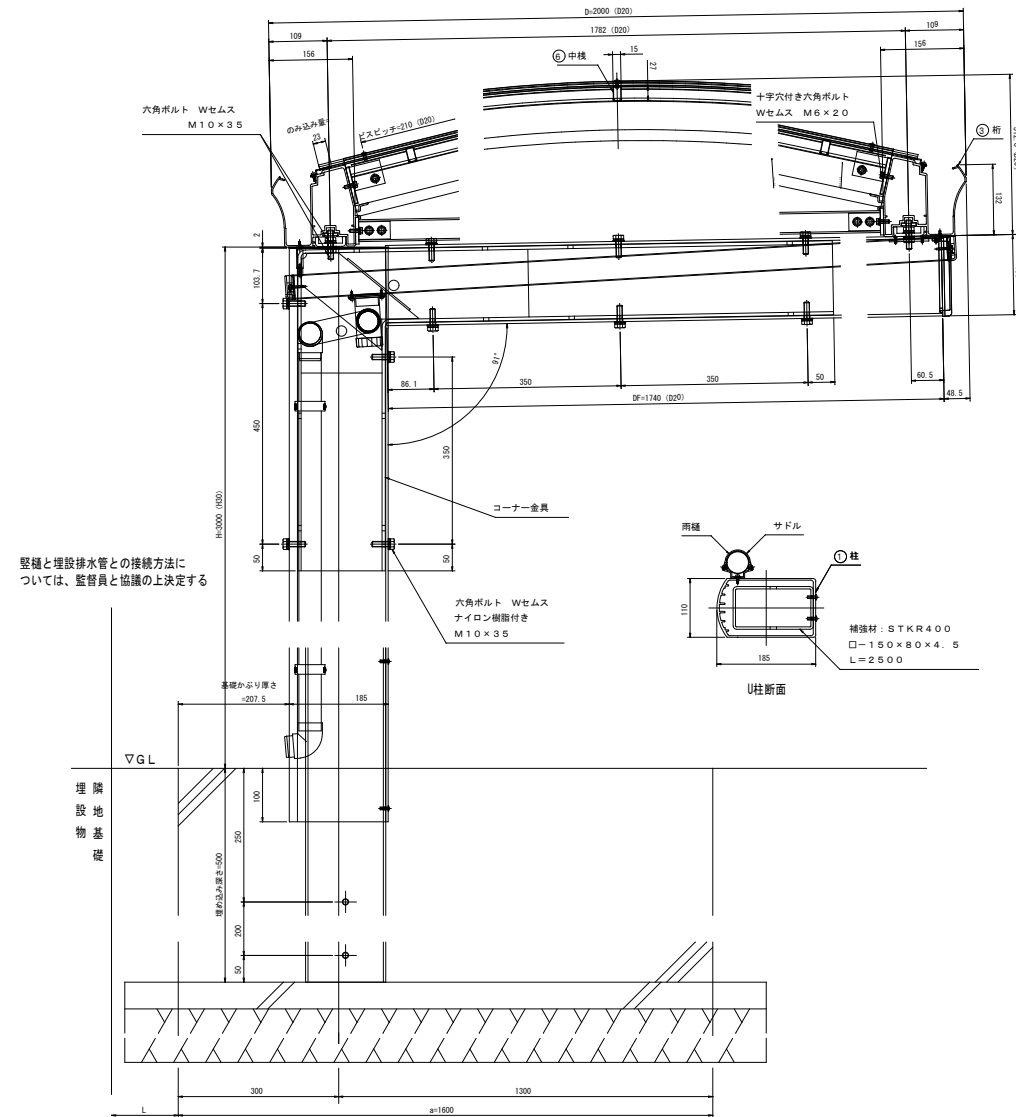


U立面図 (S=1/50)

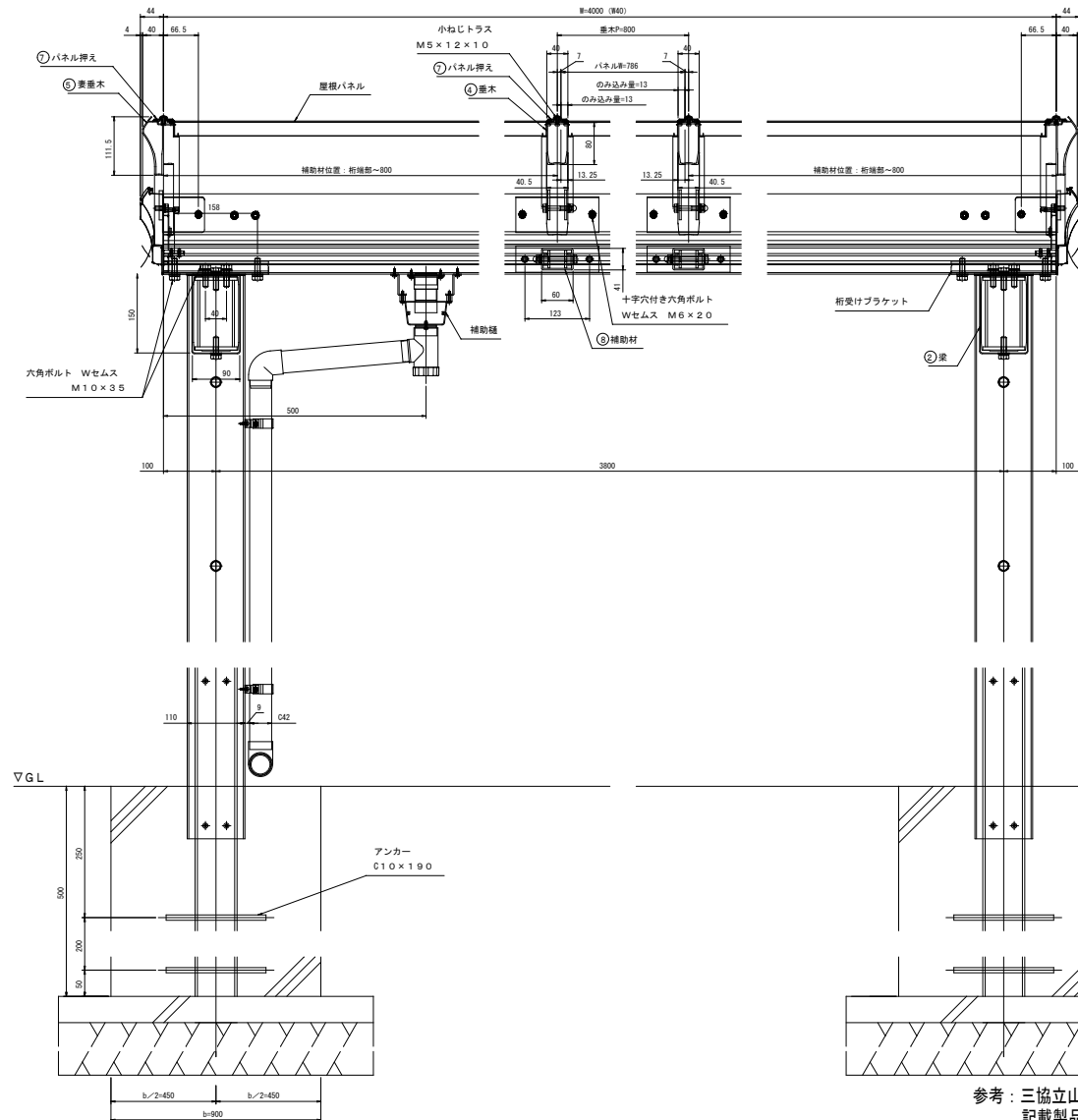


部番	S-1	数量	1	備考
シリーズ	通路シェルター ファインロードS			建築基準法適合商品 (国土交通省告示第408・409・410・411号適合品)
本体	屋根色		新緑型色: 1500 N/m ² (積雪量 75cm, 比重 20 N/m ²)	
仕上	屋根/パネル (材質)		アルミニウム板 t=1.0 (国土交通大臣認定番号: NM-8597)	積雪地域型 R屋根 一本柱タイプ (編成)
取付場所				
主要構造材	柱		アルミニウム合金製柱 (補強材: 一般構造用角形鋼管製)	有効長さ比: 93.9 (R50)
	梁		アルミニウム合金製梁	(補強材: 120.8)
	桁		アルミニウム合金製桁	
	垂木		アルミニウム合金製垂木	

U間口詳細図 (S=1/10)



U奥行詳細図 (S=1/10)



材質仕様書

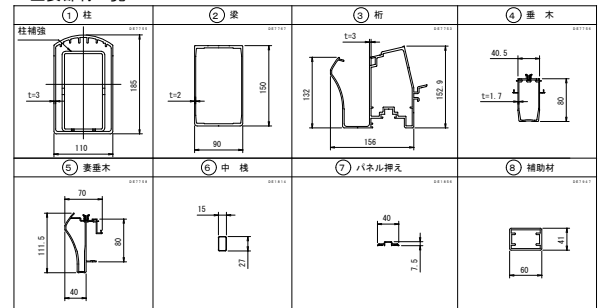
名称	材質	規格
① 柱	アルミニウム合金押出材	A6063S-T6 JIS H4100
② 柱補強	一般構造用圧延鋼材	STKR400 JIS G3466
③ 梁	アルミニウム合金押出材	A6063S-T6 JIS H4100
④ 桁	アルミニウム合金押出材	A6063S-T6 JIS H4100
⑤ 垂木	アルミニウム合金押出材	A6063S-T5 JIS H4100
⑥ 垂木	アルミニウム合金押出材	A6063S-T5 JIS H4100
⑦ 中横	アルミニウム合金押出材	A6063S-T5 JIS H4100
⑧ パネル押え	アルミニウム合金押出材	A6063S-T5 JIS H4100
⑨ 補助材	アルミニウム合金押出材	A6063S-T5 JIS H4100
屋根/パネル	アルミニウム板 t=1.0 (国土交通大臣認定番号: NM-8597)	A1050P-H24 JIS H4000

名称	材質	規格
折受けブラケット	一般構造用圧延鋼材	SS400 JIS G3101
コーナー金具	一般構造用圧延鋼材	SS400 JIS G3101
補助樋	アルミニウム合金押出材	A6063S-T5 JIS H4100
屋根	アルミニウム合金押出材	A6063S-T5 JIS H4100
屋根キャップ	アルミニウム合金押出材	ACSA JIS H5202
アンカー	一般構造用圧延鋼材	SS400 JIS G3101
ボルト等	ステンレス	

項目	内容
アルミニウム合金部材	複合皮膜 (陽極酸化皮膜+透明合成樹脂塗膜)
折受けブラケット	電気亜鉛めっき処理+焼付塗装
コーナー金具	電気亜鉛めっき処理
アンカー	電気亜鉛めっき処理

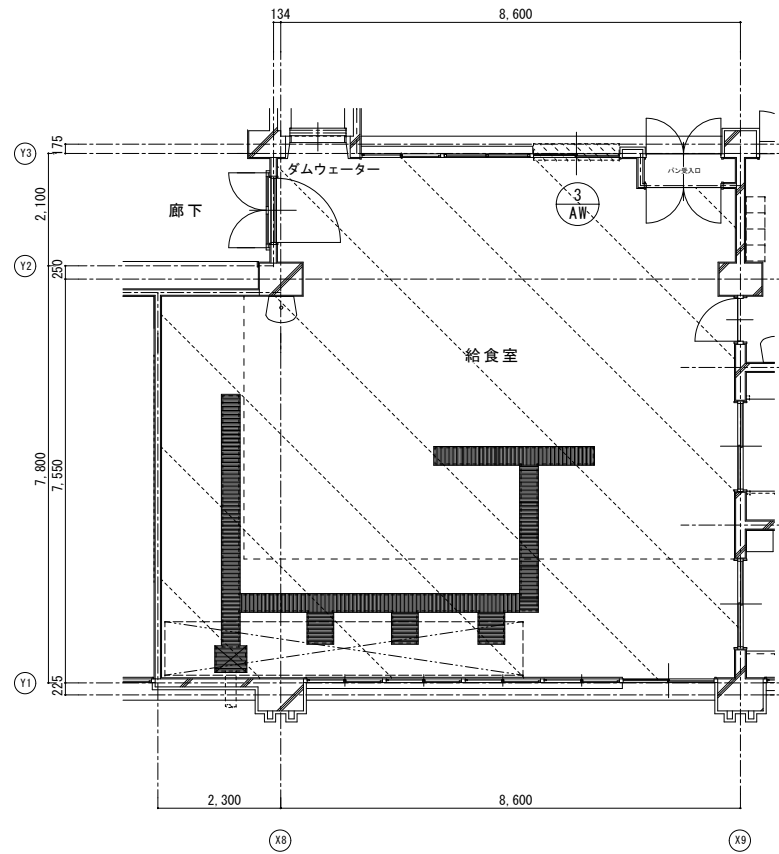
※アルミニウム合金部材表面処理: JIS H 8602 陽極酸化塗装複合皮膜 種類A1「SLC、UC、BD色 (白色は除く)」

主要部材一覧

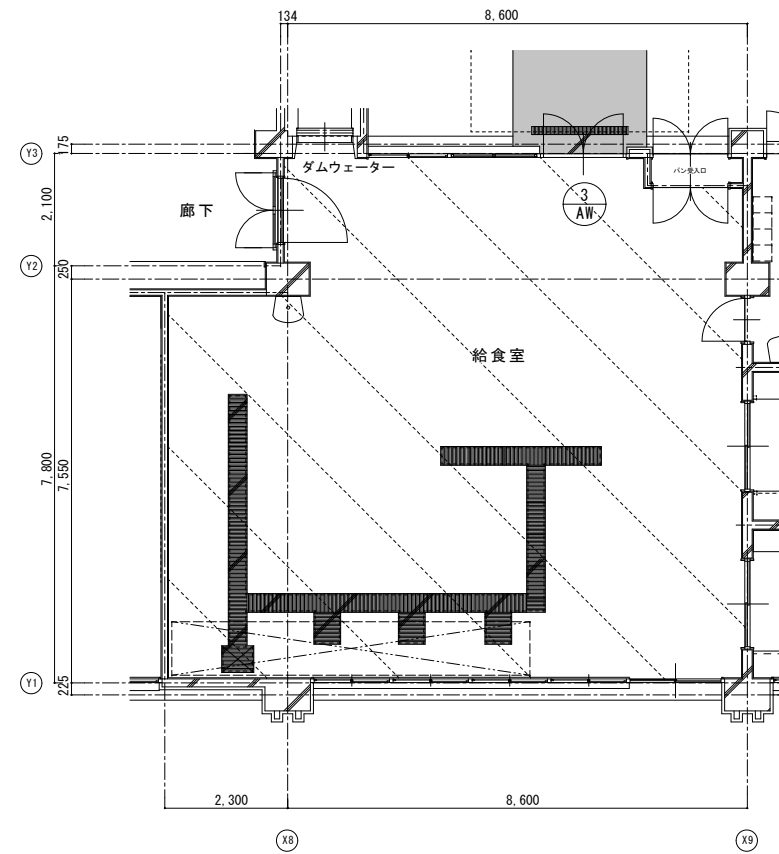


参考: 三協立山㈱三協アルミ社 通路シェルター『ファインロードS』一本柱タイプ 基本ユニット 積雪50cm 記載製品もしくは同等品を使用すること

特記事項	変更事項	日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事 (令和1年夏工事)	図面番号	A-29
		日付		図名	成和東小学校 プラットフォームシェルター参考図	縮尺	A3版 縮小 A2版1/50, 1/10

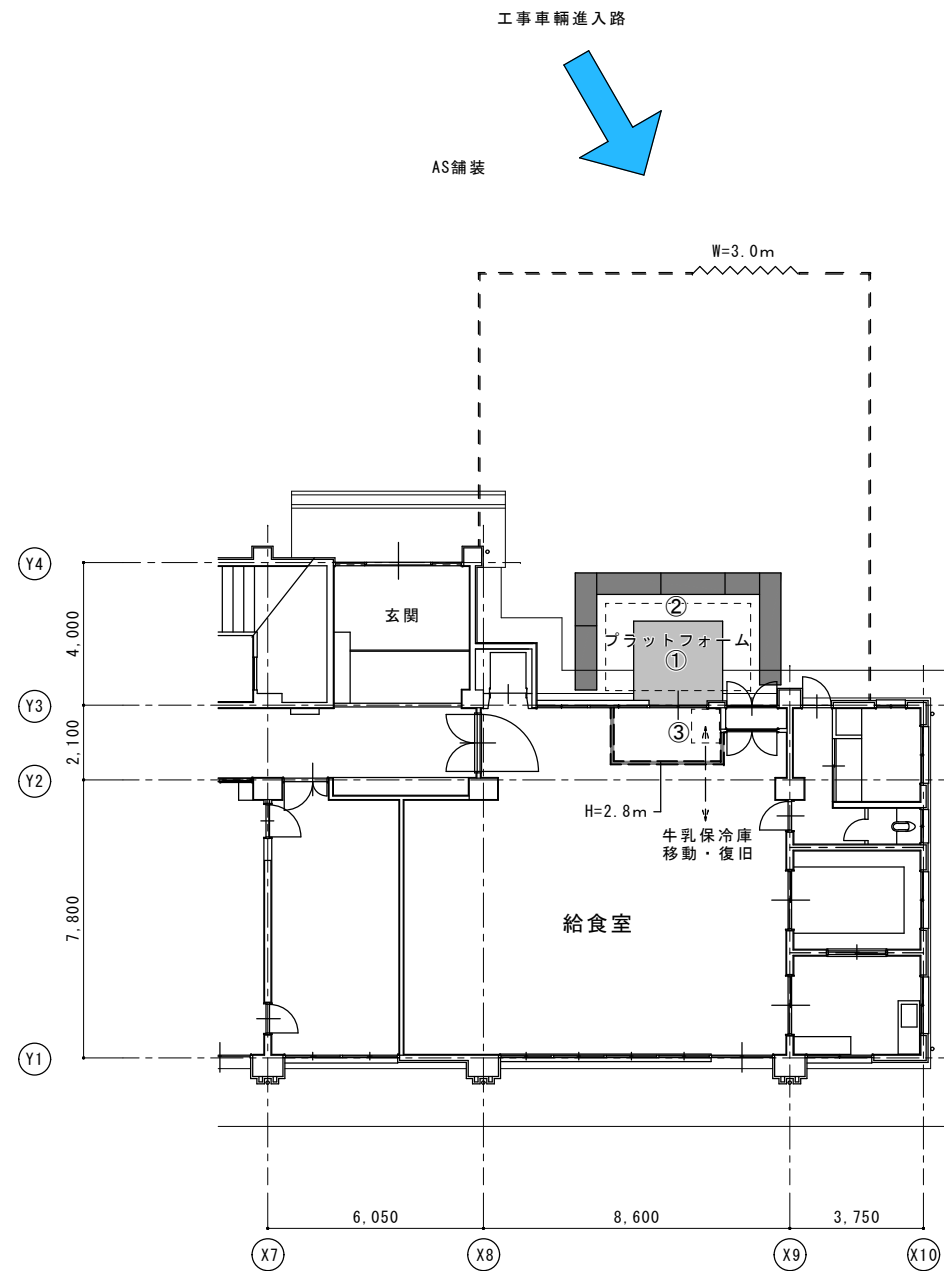


改修前
建具指示図 S=1:100



改修後
建具指示図 S=1:100

記号	数量	場所	3 AW	1	給食室
			(改修)		
姿図 (内観図)					
見込			1FL	撤去	1FL
型式			2段3連引違い・FIX窓		両開き扉戸 (カバー工法)
材質			アルミ押出型材		アルミ押出型材
ガラス			透明ガラス t=3 アルミパネル t=4		扉: アルミパネル t=3
金物			アルミガラリ・アルミ額縁 (内部)・取付金物一式		アルミ額縁 (内部)・SUS丁番・SUS番指・ドアクローザー (2ヶ所) レバーハンドル・シリンダー錠・自動フラッシュボルト・扉下部モヘア・取付金物一式
備考					建具廻りシーリング



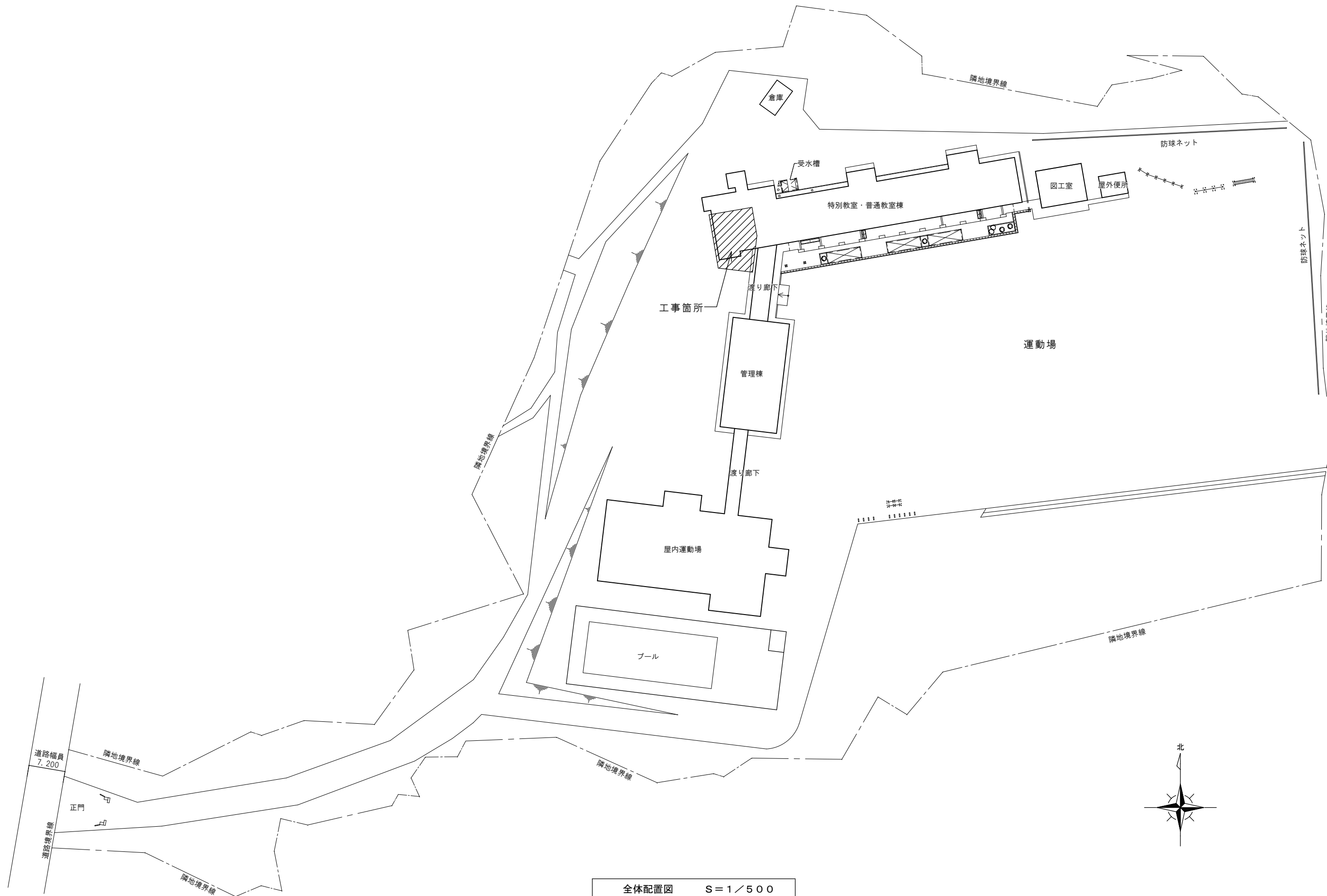
工事内容 凡例	
①	プラットフォーム床新設
②	プラットフォーム上屋新設
③	搬入口建具撤去・新設
④	
⑤	
⑥	
⑦	

凡例		
==	仮囲い シート張り H=2.0mを示す	24.1m
~~~~	キャスターゲート W=3.0m H=2.0m を表す	1ヶ所
■	外部足場 (くさび緊結式足場) W=600 手摺先行型 (メッシュシート共) (参考)	
—	仮設間仕切 PB12.5 (片面) LGS65下地 を表す	

※埋戻しに使用する掘削土の仮置き場の位置は、学校と協議し決定する。

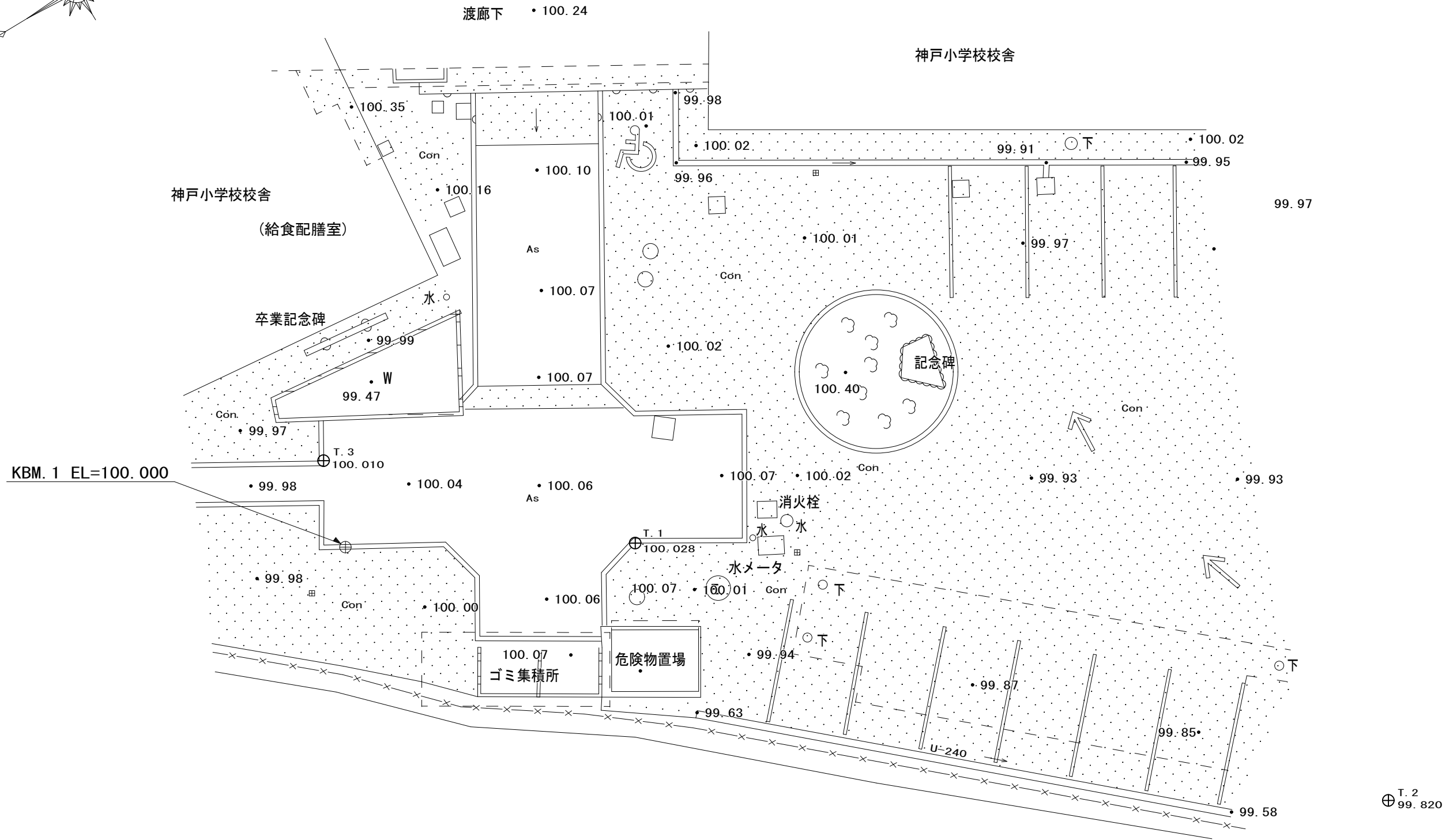
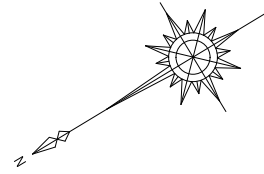
仮設計画図 (2019年夏休み) S = 1 / 150





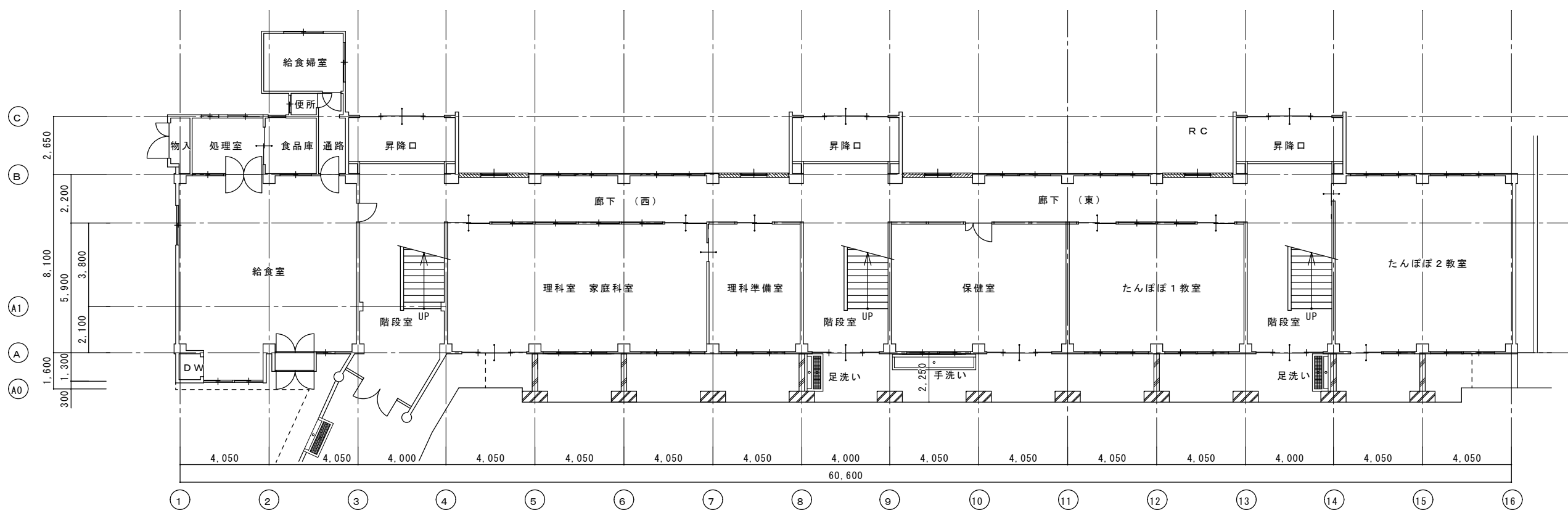
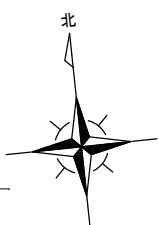
全体配置図 S=1/500

特記事項	変更事項		日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和1年夏工事)	図面番号	A-32
	日付		縮尺		原尺	縮尺 A3版 縮小 A2版 1/500	積印	

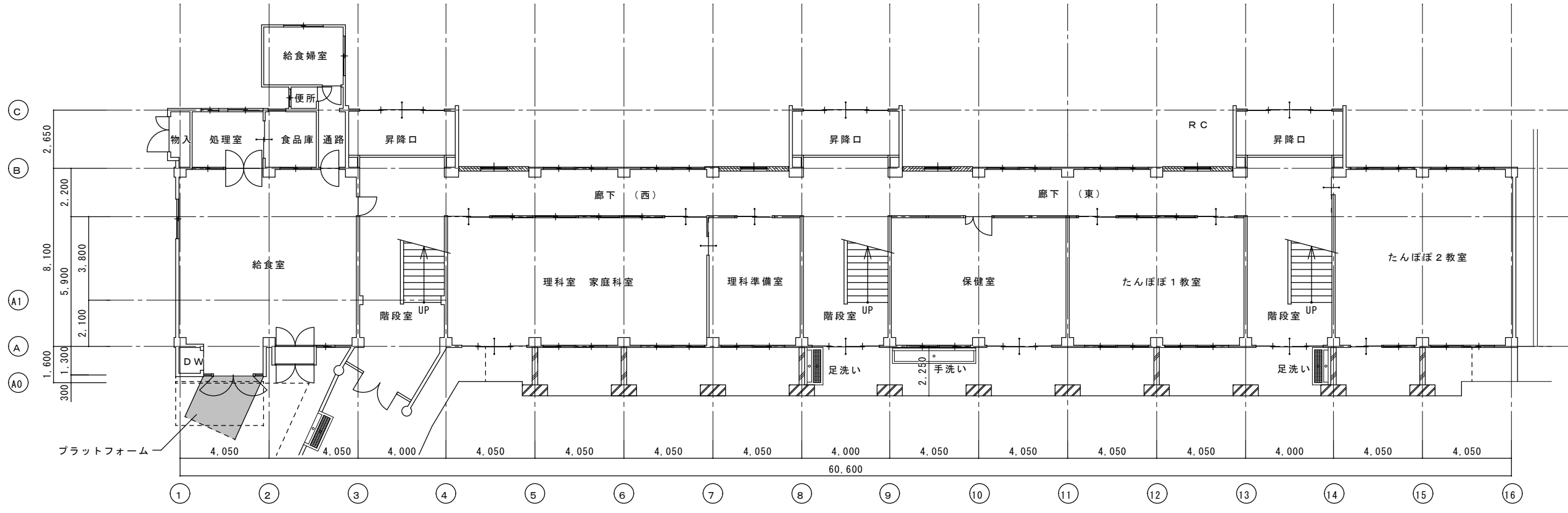


現況部分配置図 S = 1 / 100

特記事項	変更事項		日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和1年夏工事)	図面番号	A-33
			検閲		図名	神戸小学校 現況部分配置図	縮尺	A3版 NONE A2版 1/100
			日付		検印			

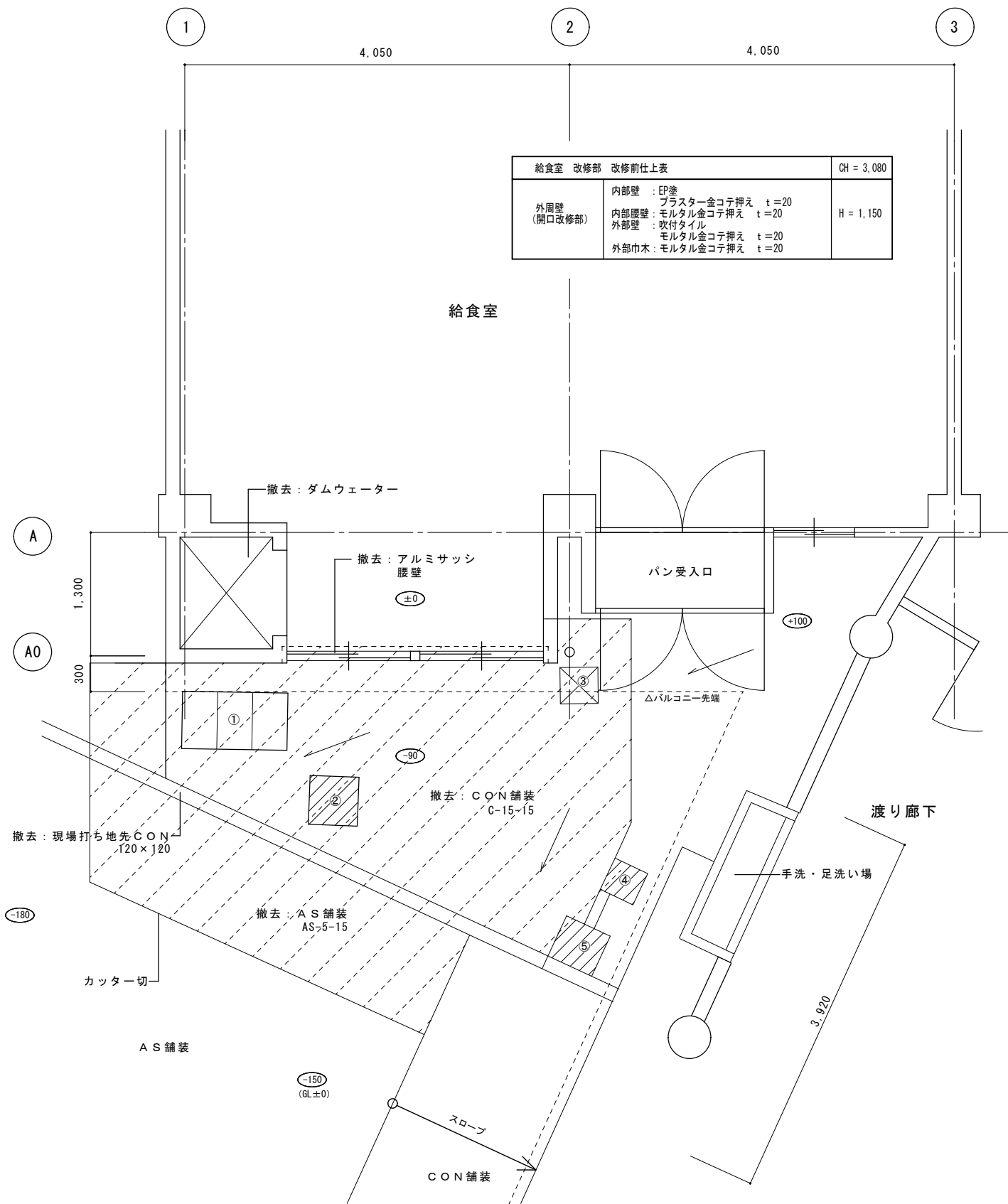


改修前 1階平面図 S=1/150



改修後 1階平面図 S=1/150

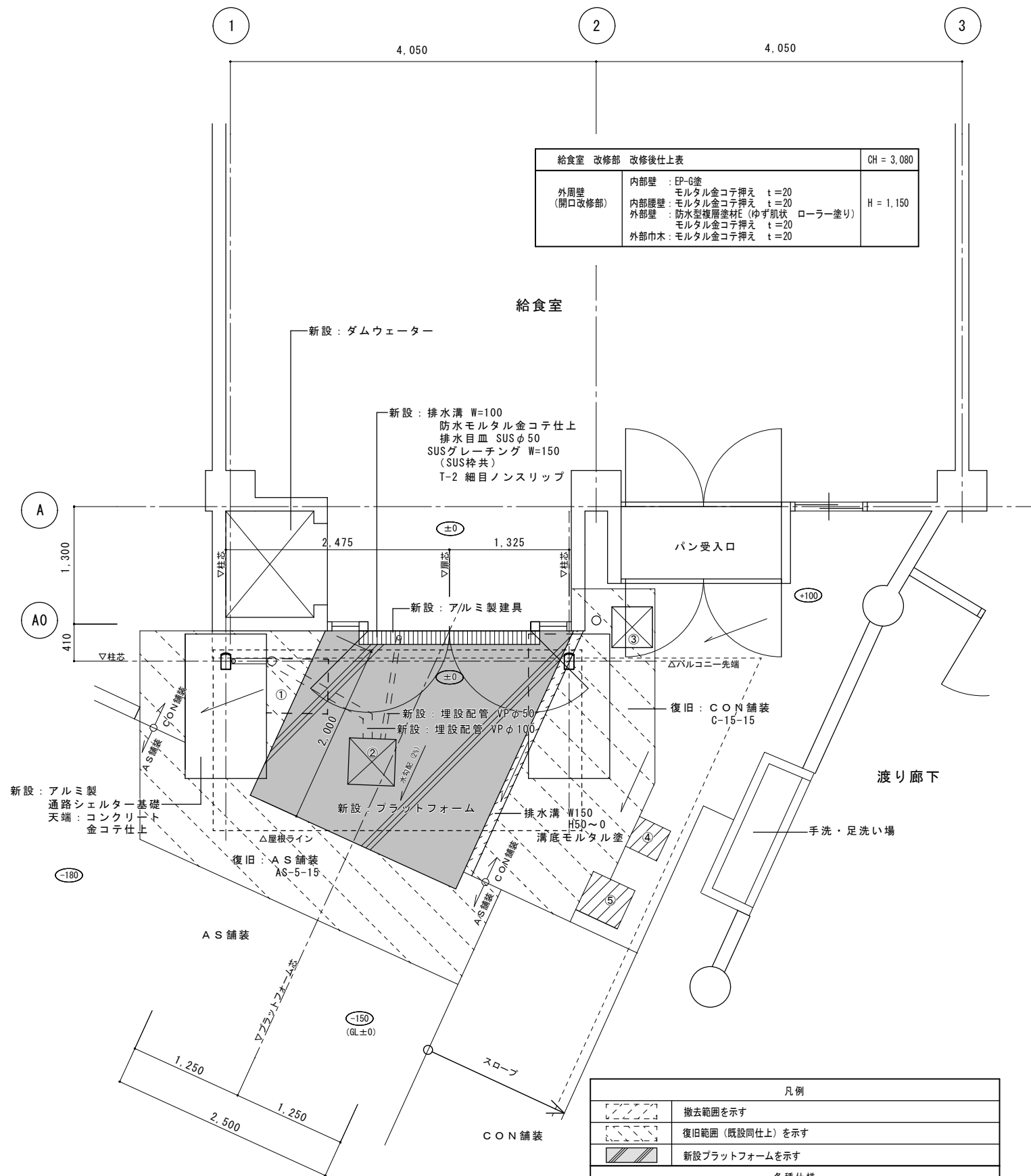
特記事項	変更事項	日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和1年夏工事)	図番	A-34
		棟名		図名	神戸小学校 改修前・改修後平面図	縮尺	A3版縮小 A2版1/150
		日付		製図		校印	



改修前 1階平面図 S=1/40

給食室 改修部 改修前仕上表		CH = 3,080
外周壁 (開口改修部)	内部壁	EP塗
	内部壁	モルタル金コテ押え t=20
	外部壁	吹付タイル
	外部壁	モルタル金コテ押え t=20
	外部巾木	モルタル金コテ押え t=20
	内部壁	EP塗
	内部壁	モルタル金コテ押え t=20
	外部壁	吹付タイル
	外部壁	モルタル金コテ押え t=20
	外部巾木	モルタル金コテ押え t=20
		H = 1,150

記号	W	D	H	品目	改修内容
①	1000	500	600	グリストラップ 鉄板蓋	撤去・埋戻し・配管埋戻し 土間CON t=150 RC40-0 t=150
②	450	450	600	雨水樹 鉄板蓋	既設鉄板蓋撤去処分 既設排水管分岐 新設鉄板蓋 (450x450 H600 CON蓋)
③	300	300	450	雨水樹 CON蓋	既設CON蓋撤去処分 既設排水管分岐 新設鉄板蓋 (450x450 H600 CON蓋)
④	300	300	450	雨水樹 鉄板蓋	既設のまま
⑤	450	450	600	雨水樹 鉄板蓋	既設のまま

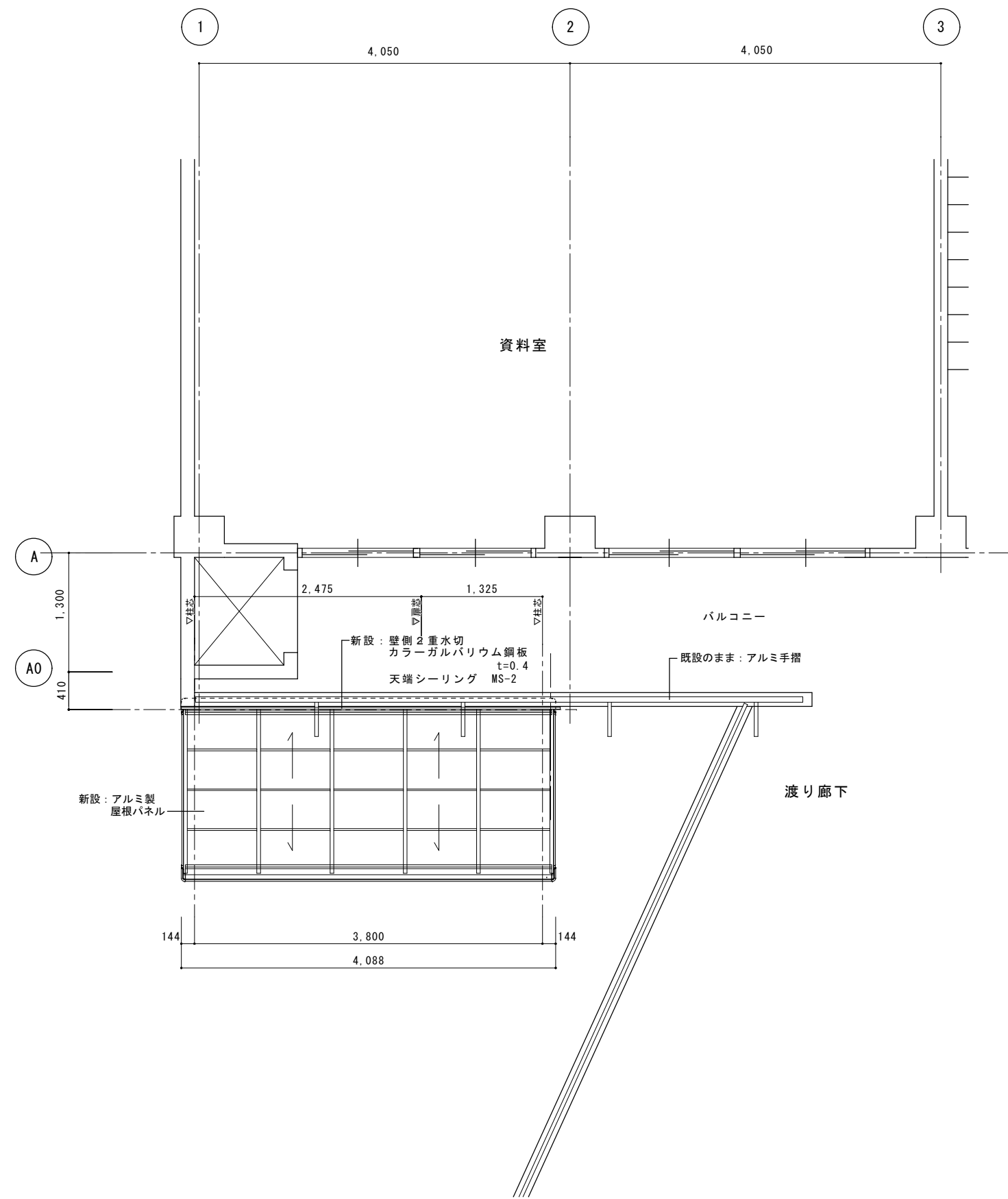
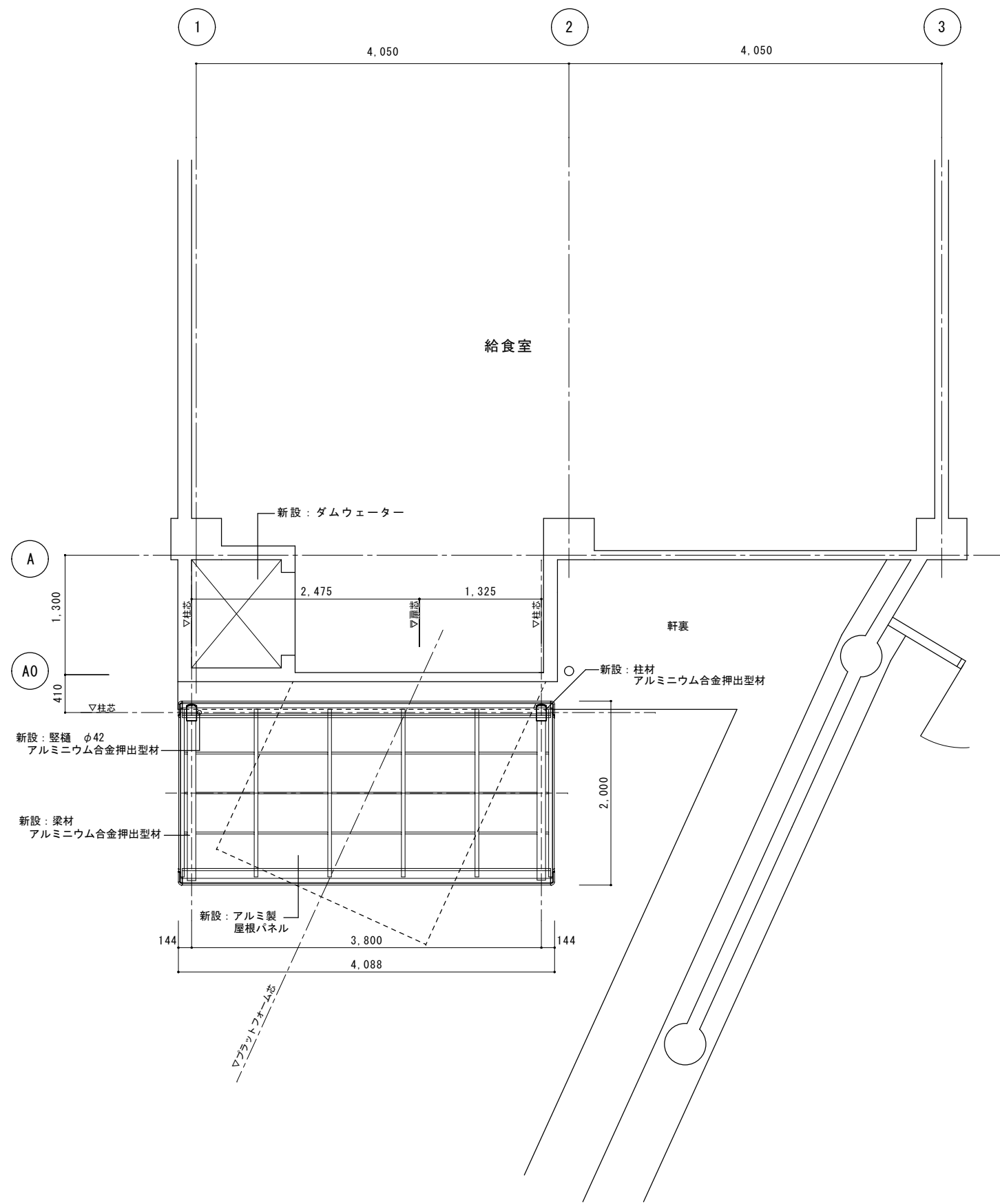


改修後 1階平面図 S=1/40

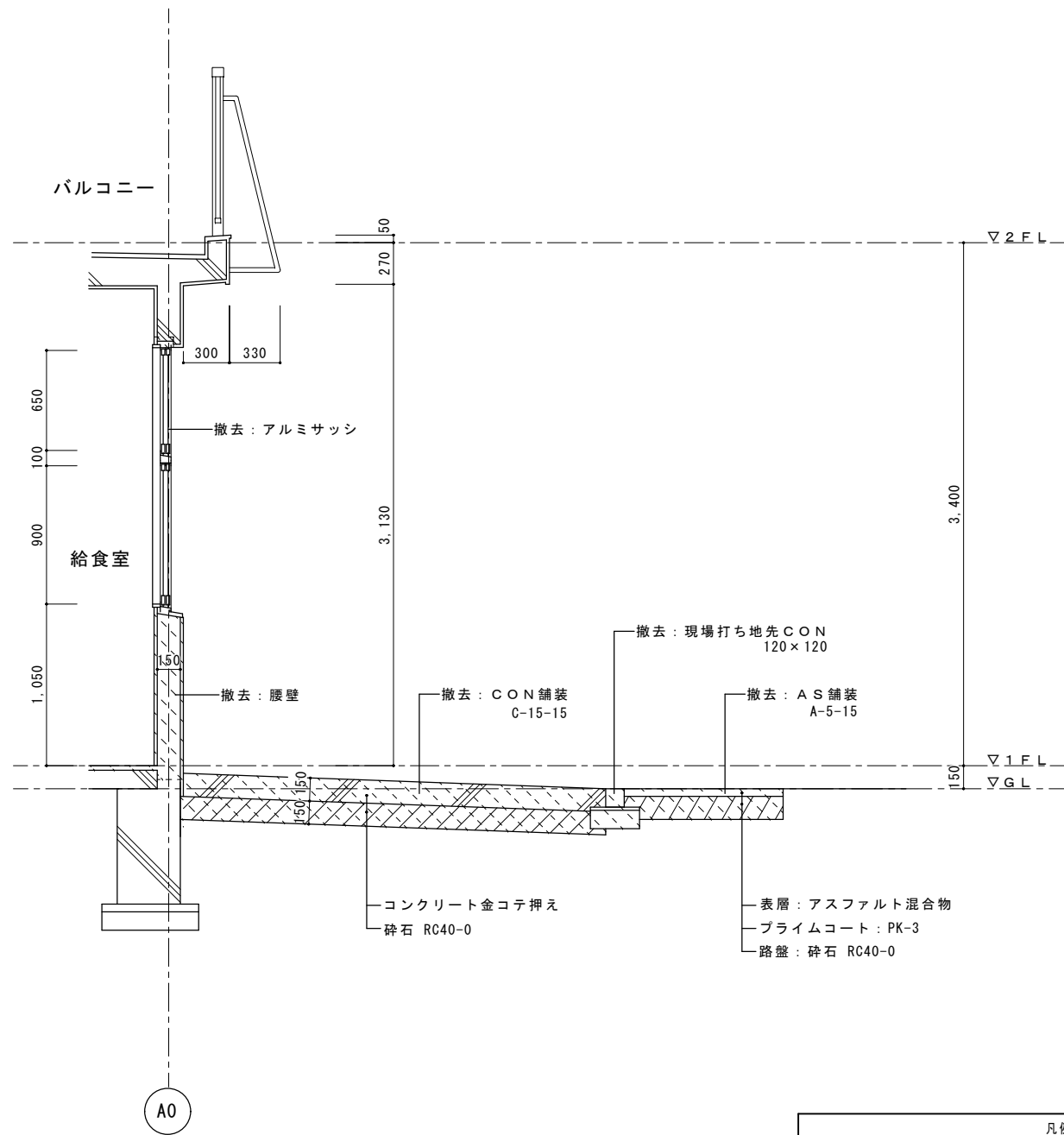
給食室 改修部 改修後仕上表		CH = 3,080
外周壁 (開口改修部)	内部壁	EP-G塗
	内部壁	モルタル金コテ押え t=20
	外部壁	防水型複層塗材E (ゆず肌状 ローラー塗り)
	外部壁	モルタル金コテ押え t=20
	外部巾木	モルタル金コテ押え t=20
	内部壁	EP-G塗
	内部壁	モルタル金コテ押え t=20
	外部壁	防水型複層塗材E (ゆず肌状 ローラー塗り)
	外部壁	モルタル金コテ押え t=20
	外部巾木	モルタル金コテ押え t=20
		H = 1,150

凡例	
	撤去範囲を示す
	復旧範囲(既設同仕上)を示す
	新設プラットフォームを示す
各種仕様	
プラットフォーム	コンクリート：Fc27-15 (N) 金コテ押え 配筋：D13 #150 タテヨコ (シングル) 壁取り合部 差し筋アンカー-D13#150
C O N 舗装	コンクリート：Fc24-8 (N) t=150 配筋：溶接金網 φ6-150x150 路盤：RC40-0 t=150

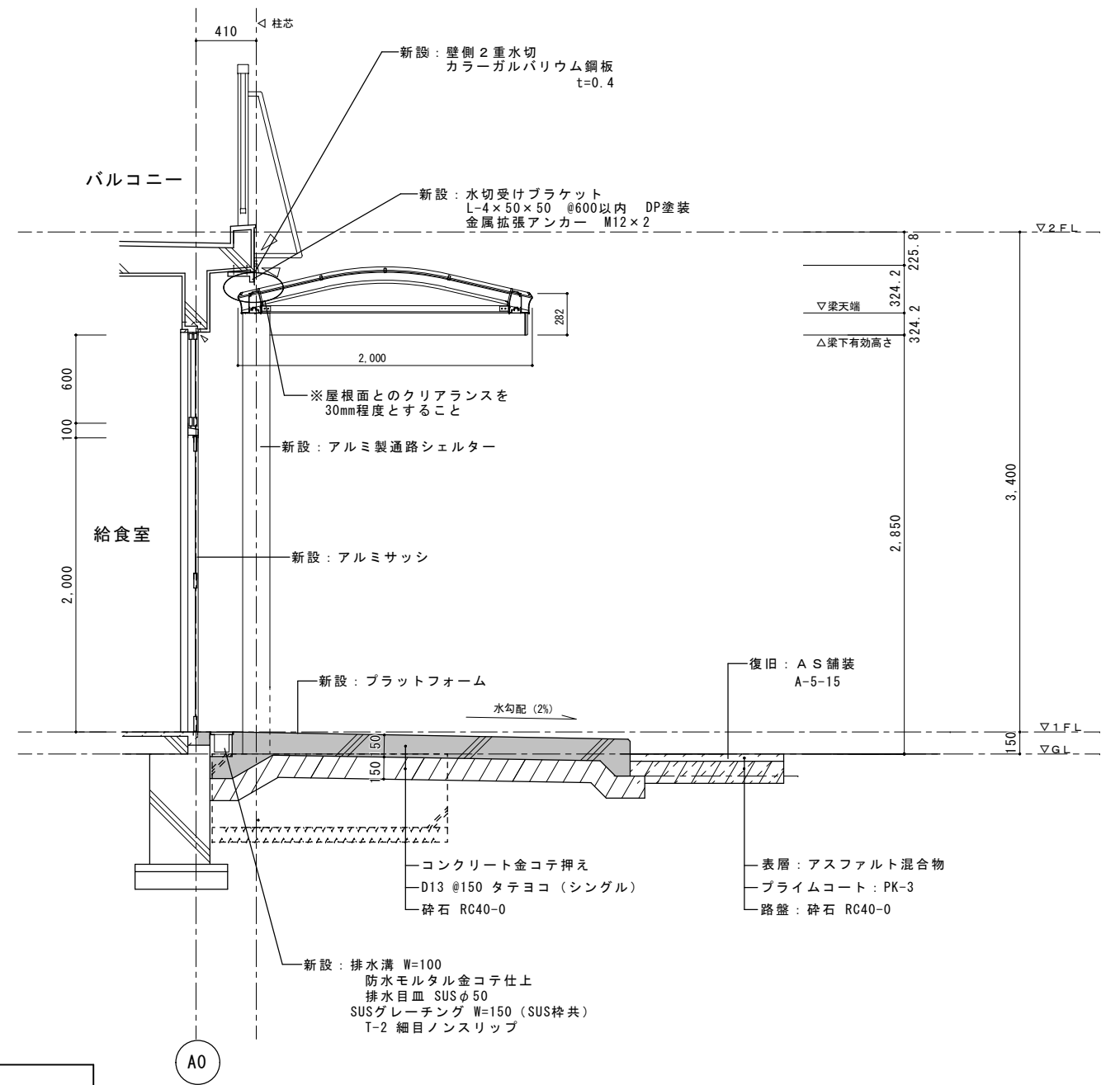
工事着手前に、既設物の高さ関係を確認の上、仮ベンチマークを作成し、監督員の承認を得ること  
 ※次回工事(令和2年春)の床仕上げ高さがFL±0となるので、監督員の現場立会いにて決定すること  
 プラットフォームおよび上屋の位置、寸法、角度についても、現況確認の上、施工図を作成し  
 監督員の現場立会いにて承認を得ること  
 地中埋設物により位置変更が生じる場合も同様とする



特記事項	変更事項	日付	19.05.07	名称	成和西小学校他3校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和1年夏工事)	図番	A-36
		日付		図名	神戸小学校 プラットフォーム計画図(2)	縮尺	A3版 縮小 A2版 1/40
				製図		検印	



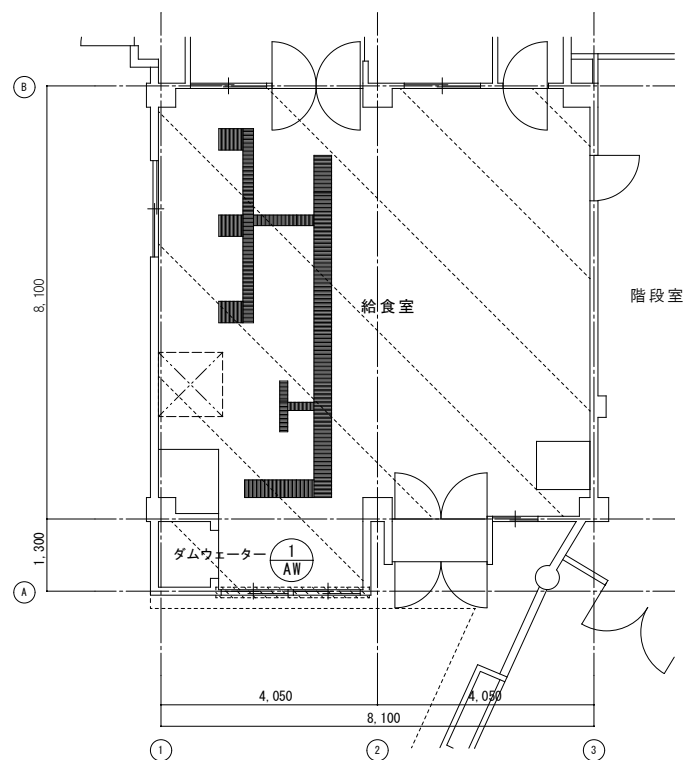
改修前 プラットフォーム断面図 S=1/30



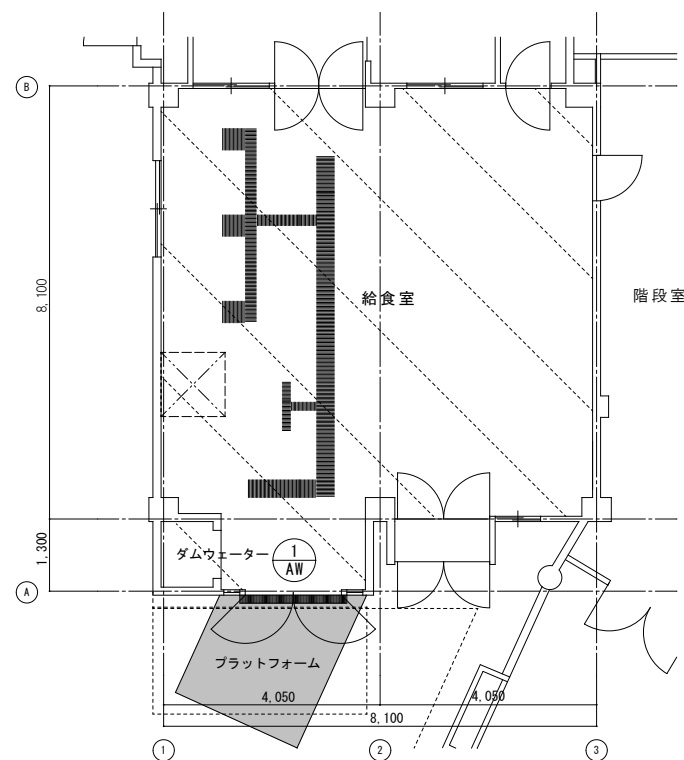
改修後 プラットフォーム断面図 S=1/30

凡例	
	撤去範囲を示す
	復旧範囲 (既設同仕上) を示す
	新設プラットフォームを示す
	シーリング MS-2 15mm巾 を示す
各種仕様	
プラットフォーム	コンクリート: Fc27-15 (N) 金コテ押え 配筋: D13 @150 タテヨコ (シングル) 壁取り合い部 差し筋アンカー-D13@150





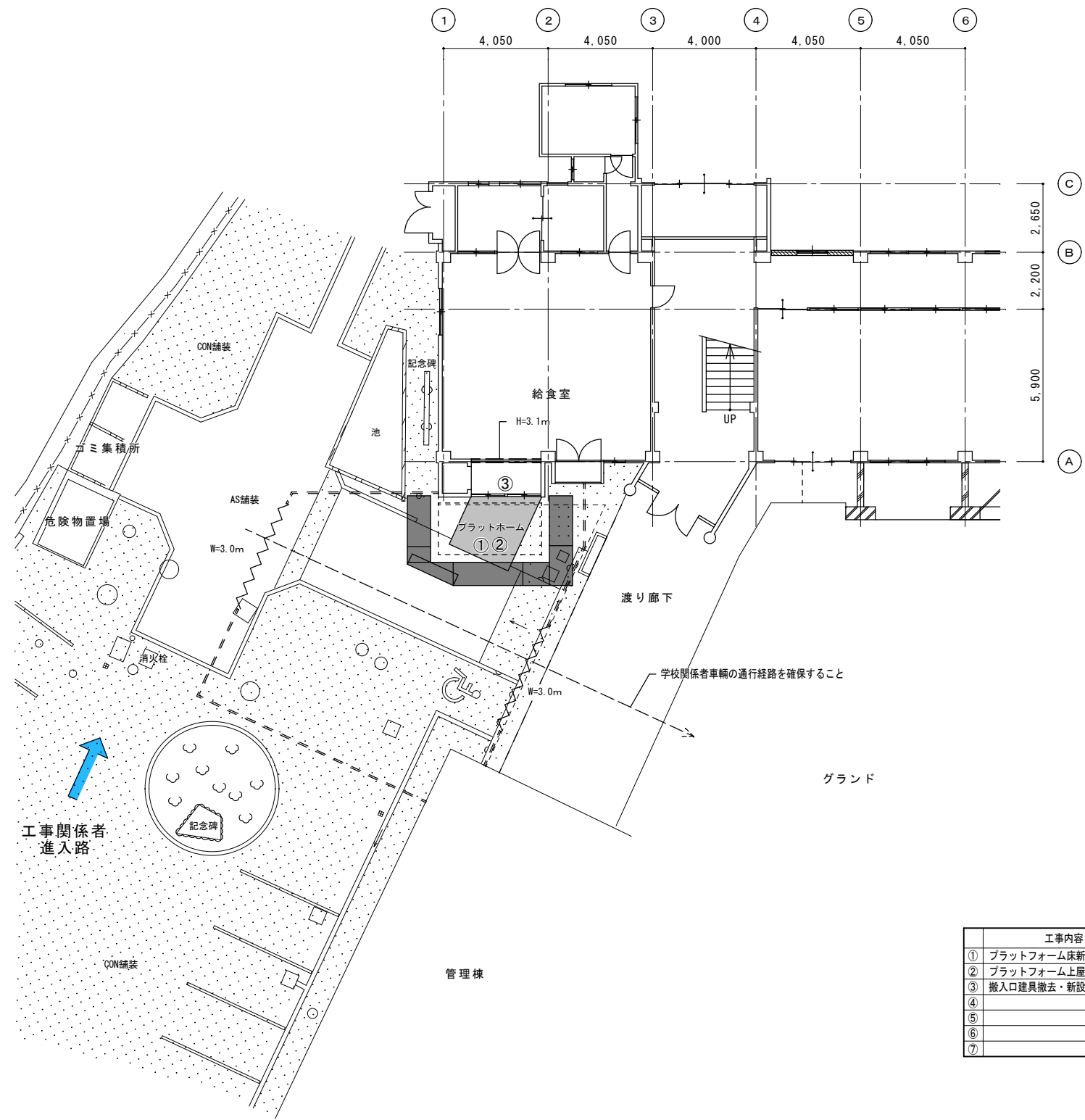
改修前  
建具指示図 S=1:100



改修後  
建具指示図 S=1:100

記号	数量	場所	1	給食室/配膳室
姿図 (内観図)		見込	<p>〈撤去・新設〉</p> <p>2.610 1.270 70 1.270</p> <p>1.650 100 650</p> <p>1FL ▽</p> <p>換気扇</p> <p>網戸付き</p> <p>網戸付き</p> <p>網戸付き</p> <p>網戸付き</p> <p>カッター切 (内外共)</p> <p>外壁 (RC) t=150</p> <p>外部仕上: 吹付タイル</p> <p>モルタル下地 t=20</p> <p>内部仕上: EP-G塗</p> <p>壁: プラスター下地 t=20</p> <p>腰: モルタル下地 t=20</p>	<p>2.610 1.270 70 1.270</p> <p>2.700 100 600</p> <p>1FL ▽</p> <p>網戸付き</p> <p>網戸付き</p> <p>網戸付き</p> <p>網戸付き</p> <p>目地シーリング 15×10 (内外共)</p> <p>外壁 (RC) 現況復旧 (内外共)</p> <p>(有効開口 1,500) 425 70 1,620 70 425</p>
型式		2段2連引違い窓		ランマ付両開き窓戸
材質		アルミ押出型材		アルミ押出型材
ガラス		透明ガラス t=3 アルミパネル t=4		欄間: 学校用強化ガラス (透明) t=4 扉: アルミパネル t=3
金物		アルミ水切・アルミ額縁 (内部)・取付金物一式		アルミ額縁 (内部)・SUS丁番・SUS沓摺・ドアクローザー (2ヶ所) レバーハンドル・シリンドラ錠・自動フラッシュボルト・扉下部モヘア・SUS網戸 (欄間)・取付金物一式
備考		建具廻りシーリング		建具廻りシーリング





工事内容 凡例	
①	プラットフォーム床新設
②	プラットフォーム上層新設
③	搬入口建具撤去・新設
④	
⑤	
⑥	
⑦	

凡例		
---	仮囲い シート張り H=2.0mを示す	29.8m
~~~~~	キャストゲート W=3.0m H=2.0m を表す	2ヶ所
	外部足場 (くさび緊結式足場) W=600 手摺先行型 (メッシュシート共) (参考)	
==	仮設間仕切 PB12.5 (片面) LGS65下地 を表す	

※埋戻しに使用する掘削土の仮置き場の位置は、学校と協議し決定する。

仮設計画図 (2019年夏休み) S = 1 / 150